

3. 奥日光の植生調査結果

3-1. 既往保護林調査箇所の経年変化

平成24年度に実施された保護林モニタリング調査（平成24年度関東森林管理局）箇所において、今年度、同じ場所にて低木層（S層）、草本層（H層）の植生調査を行い、2年前との比較を行い、経年変化を把握した。保護林の位置を図6-35、調査箇所を図6-36、調査結果を表6-1～表6-10に示す。

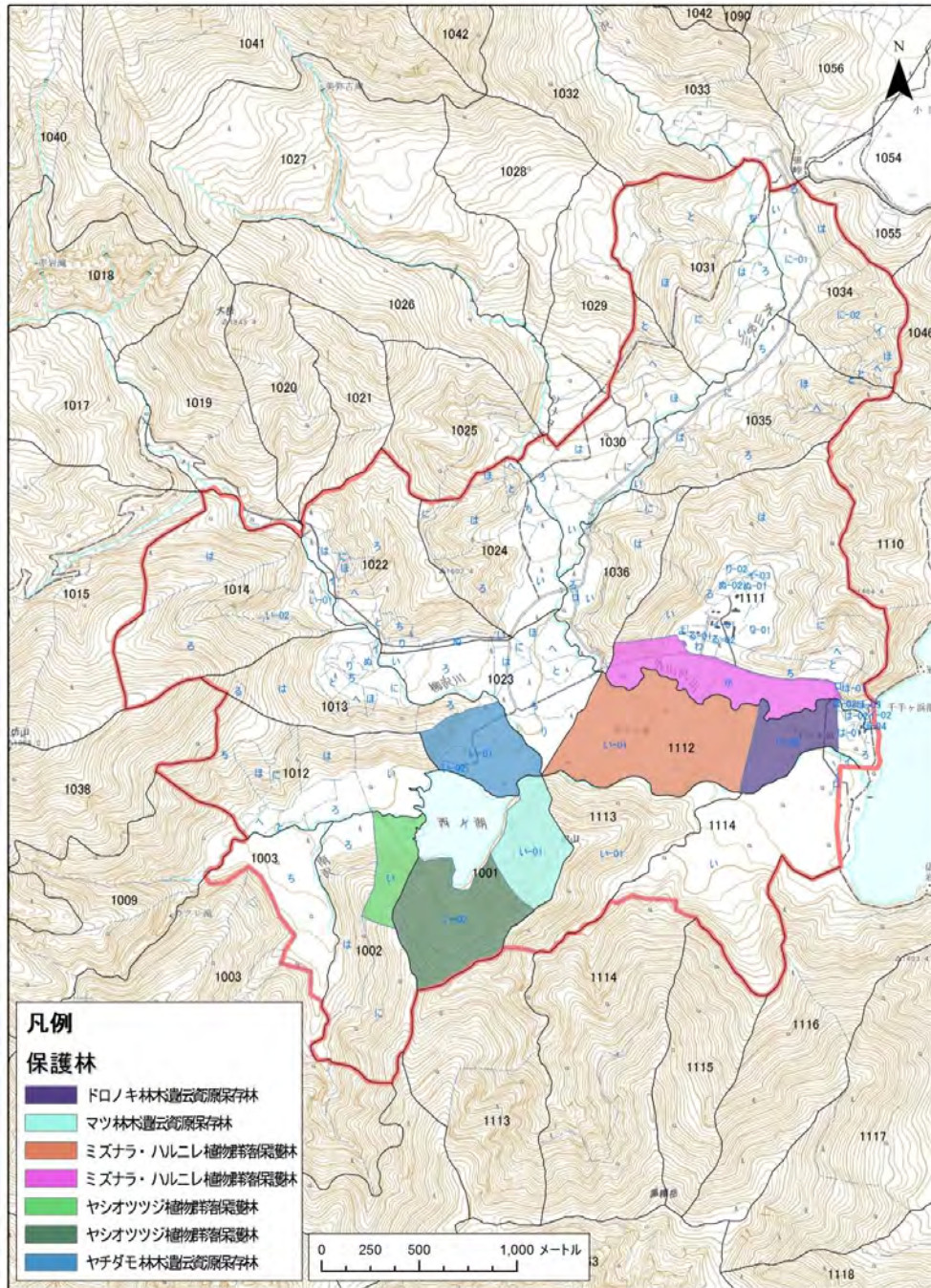


図6-35 保護林の位置

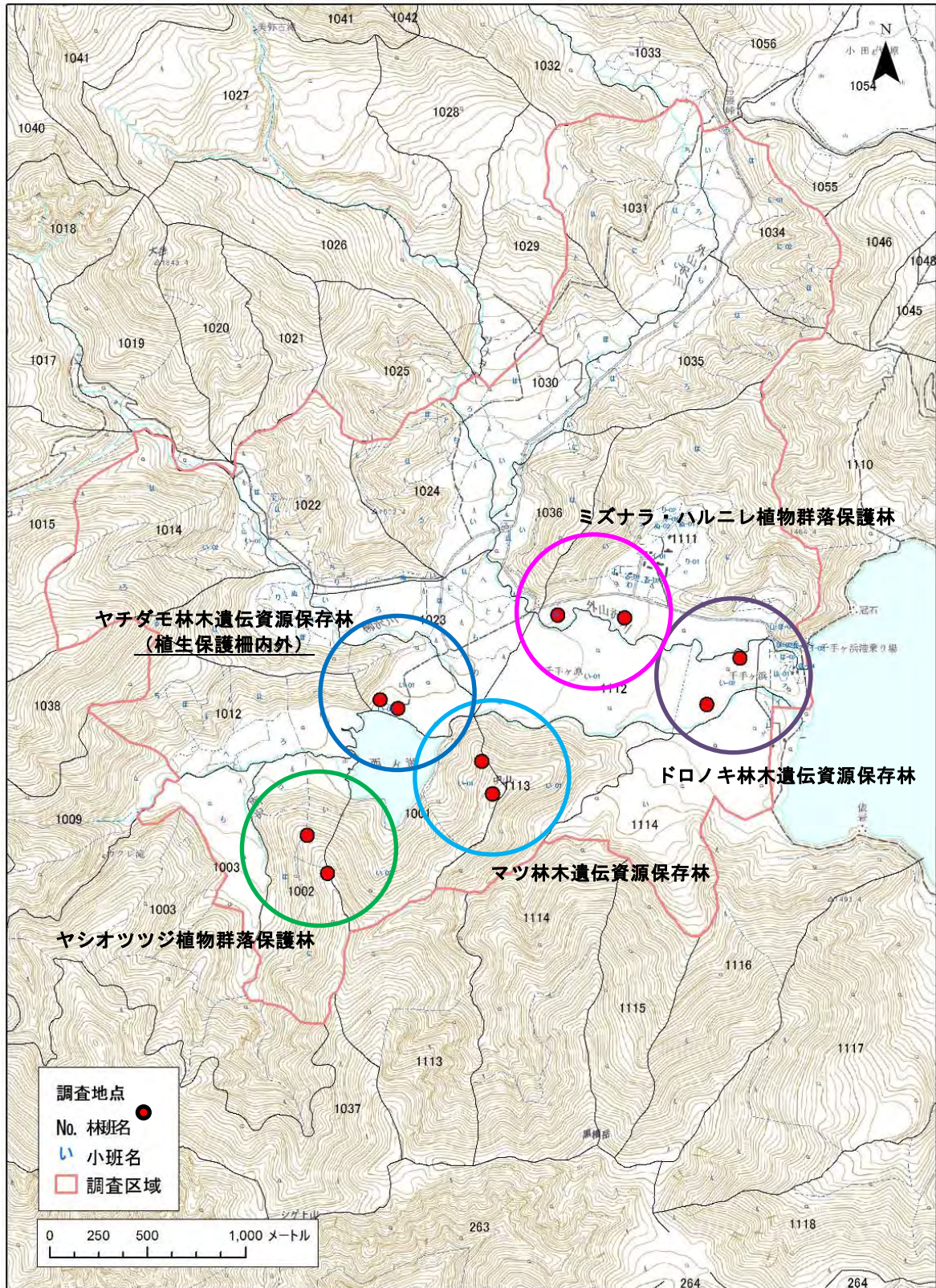


図 6-36 保護林モニタリング調査地点

1) 千手ヶ原ドロノキ林木遺伝資源保存林

表 6-1 千手ヶ原ドロノキ林木遺伝資源保存林

場所：1112 林班い小班 (GPSNo.219)

階層	植物名	H24. 8/11		H26. 9/14		備考
		被度	群度	被度	群度	
H	マルバダケブキ	4	4	+		マルバダケブキがシカの食害でかなり少なくなった。また、ミズナラやサワシバの稚樹がなくなった。
	シロヨメナ	2	2	2	2	
	カラマツソウ	2	2	1	2	
	アオイスミレ	1	2	1	1	
	イワセントウソウ	1	2	1	2	
	ウマノミツバ	1	2	1	2	
	フモトスミレ	1	2	+		
	ヤマカモシグサ	1	2	+		
	キオン	1	1	1	1	
	キツリフネ	+	2	+		
	エナシヒコグサ	+	2	+		
	クリソウ	+		+		
	ミスミタマソウ	+		+		
	シロバナノハビィイコ	+		+		
	カリカネソウ	+		+		
	ツルマサキ	+		+		
	イヌトウバナ	+		+		
	オオイタヤメイゲツ	+		+		
	サワギク	+		+		
	オオハノヤエムクゲラ	+		+		
オオカモメヅル	+		+			
ミスナラ	+					
オオモシグ	+		+			
サワシバ	+					

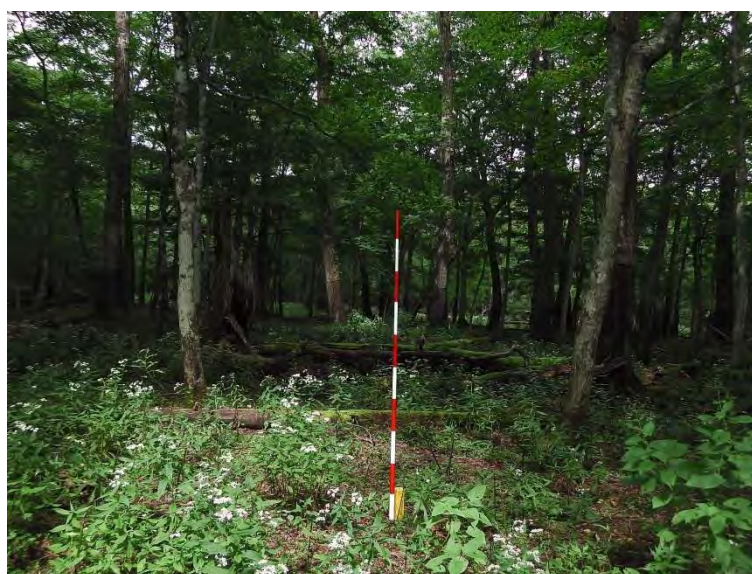


写真 1-① 千手ヶ原ドロノキ林木遺伝資源保存林

表 6-2 千手ヶ原ドロノキ林木遺伝資源保存林

場所：1112 林班い小班 (GPSNo.222)

階層	植物名	H24. 8/11		H26. 9/14		備考
		被度	群度	被度	群度	
H	ヤマカモジグサ	3	3	3	3	シカの忌避植物のシロヨメナが旺盛に繁茂しはじめ、キオンが少なくなった。
	カマツソウ	3	3	2	2	
	キオン	2	2	+		
	エナシヒコクサ	2	2	1	1	
	シロヨメナ	1	2	4	4	
	ヤマヌカホ	1	2	+		
	ダイコンソウ	1	2	+		
	イヌトウバナ	1	2	2	2	
	エゾシロネ	1	1	+		
	タニシバ	+	2	+		
	ミヤマタニシバ	+	2	+		
	ミス	+	2	+		
	クリソウ	+		+		
	サワギク	+		+		
	オオハノヤエムグサ	+		+		
	イワセントウソウ	+		+		
	イワカラミ	+		+		
	ミヤマイボタ	+		+		
	シロバナノヒイコ	+		+		
	ヒメチトメ	+		+		
	ハナタテ	+		+		
エゾタツナミソウ	+		+			
アオイシレ	+		+			
テンナンショウ属の一種	+					



写真 1-② 千手ヶ原ドロノキ林木遺伝資源保存林

【コメント】

シカの忌避植物のシロヨメナが旺盛に繁茂しはじめ、かつては忌避植物であったマルバダケブキもシカ食害を受けるようになった。また、ミズナラやサワシバの稚樹がなくなった。

2) 西ノ湖マツ林木遺伝資源保存林

表 6-3 西ノ湖マツ林木遺伝資源保存林

場所：1001 林班い小班 (GPSNo.237)

階層	植物名	H24. 8/22		H26. 9/15		備考
		被度	群度	被度	群度	
S	アスマジャクナゲ	3	3	3	3	マルバアオダモ、コシアブラ、オオカメノキ、ナナカマド、タカノツメの稚樹がなくなった。シカの食害によるものと思われる。
	シロヤシオ	1	2	1	2	
	オオカメノキ	1	1	+		
H	アスマジャクナゲ	1	1	1	2	
	シノブカグマ	+		+		
	コメツガ	+		+		
	シロヤシオ	+		1	1	
	コミネカエテ	+		+		
	マルバアオダモ	+				
	コシアブラ	+				
	オオカメノキ	+				
	ナナカマド	+				
	ウリミスザクラ	+		+		
	ミヤマザクラ	+		+		
	マイヅルソウ	+		+		
コケシノブ	+		+			
タカノツメ	+					
ハウチワカエテ	+		+			



写真 2-① 西ノ湖マツ林木遺伝資源保存林

表 6-4 西ノ湖マツ林木遺伝資源保存林

場所：1001 林班い小班 (GPSNo.239)

階層	植物名	H24. 8/22		H26. 9/15		備考
		被度	群度	被度	群度	
S	コメツガ	2	2	1	1	オカメノキ、コシアブラ、ヒメコマツ、ナナカマドの稚樹がなくなった。シカの食害によるものと思われる。
	シロヤシオ	2	2	1	1	
	アズマシャクナゲ	1	1	2	2	
	オオカメノキ	+				
	コシアブラ	+				
H	コメツガ	2	2	+		
	アズマシャクナゲ	1	2	2	2	
	ハリウツギ	1	1	+		
	シノブカグマ	1	1	1	1	
	アブラツツジ	+		+		
	コケシノブ	+		+		
	ヒメコマツ	+				
	コミネカエデ	+		+		
	トウコクミツハツツジ	+		+		
	ナナカマド	+				
ウラジロモミ	+		+			
マイヅルソウ	+		+			



写真 2-② 西ノ湖マツ林木遺伝資源保存林

【コメント】

マルバアオダモ、コシアブラ、オオカメノキ、ナナカマド、タカノツメ、コシアブラの稚樹がなくなった。シカの食害によるものと思われる。また、周辺のヒメコマツ、コメツガへの剥皮被害が目立つ。剥皮被害の多くは、クマの爪研ぎ跡から剥皮されていた。

3) 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ植物群落保護林

表 6-5 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ植物群落保護林

場所：1111 林班か小班 (GPSNo.429)

階層	植物名	H24. 8/20		H26. 11/2		備考
		被度	群度	被度	群度	
S	オオモミジ	2	3	2	3	もともとシカの忌避植物が旺盛に生育している箇所であり、特にシロヨメナの繁茂が著しい。スズタケ、ノリウツギがなくなった。
H	シロヨメナ	4	4	4	4	
	オオイトスゲ	3	3	3	3	
	ホソバヒカズスゲ	2	3	2	3	
	ヒメチドウ	2	2	2	2	
	セントウソウ	2	2	2	2	
	ヒナスミレ	1	2	+		
	エナシヒゴクサ	1	2	1	2	
	マルバネコノメ	1	2	+		
	ムカゴイラクサ	1	1	+		
	ミゾホオズキ	1	1	+		
	イヌトウバナ	1	1	+		
	ヤマカモジグサ	+	2	+		
	サワギク	+	2	+		
	アオミズ	+	2	+		
	エチゴキジムシロ	+	2	+		
	タチツボスミレ	+		+		
	コナスビ	+		+		
	スズダケ	+				
	ケマルバスミレ	+		+		
	キオン	+		+		
	オオバコ	+		+		
	ノリウツギ	+				
	ヘビノネゴサ	+		+		
	オウレンシダ	+		+		
	ヨツバムグラ	+		+		
	ツルウメモドキ	+		+		
	カラマツソウ	+		+		
	ダイコンソウ	+		+		
	ミヤマタニソバ	+		+		
	イケマ	+		+		
	ヘビイチゴ	+		+		
	オオバノヤエムグラ	+		+		

【コメント】

もともとシカの忌避植物が旺盛に生育している箇所であり、特にシロヨメナの繁茂が著しい。スズタケ、ノリウツギがなくなり、キオンやツルニガクサ等がシロヨメナに被圧されていた。

表 6-6 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ植物群落保護林

場所：1111 林班か小班 (GPSNo.428)

階層	植物名	H24. 8/20		H26. 11/2		備考
		被度	群度	被度	群度	
S	タンナサワフタギ	1	2	1	2	もともとシカの忌避植物が旺盛に生育している箇所であり、特にシロヨメナの繁茂が著しい。キオンやツルニガクサ等がシロヨメナに被圧されている。
H	シロヨメナ	4	4	4	4	
	エナシヒゴグサ	3	3	3	3	
	ヒメシラスゲ	3	3	3	3	
	イケマ	2	2	1	1	
	ヤマカモジグサ	2	2	2	2	
	ヘビイチゴ	2	2	2	2	
	ヌカボ	1	2	1	1	
	ヒメチドメ	1	2	1	1	
	キオン	1	2	+		
	アオミズ	1	2			
	ツルニガクサ	1	2	+		
	ヤマクワガタ	1	1	+		
	シロバナノヘビイチゴ	+	2	1	2	
	ダイコンソウ	+		+		
	ポタンヅル	+		+		
	ヨツバムグラ	+		+		
	セントウソウ	+		+		
	カラマツソウ	+		+		
	タチツボスミレ	+		+		
	オオバノヤエムグラ	+		+		
	キツネノボタン	+		+		
	ウマノミツバ	+		1	1	
	タニソバ	+				
	ミヤマイボタ	+				
	サワギク	+		+		
	ヒカゲスゲ	+		+		
	ハナイカリ	+		+		
	ウリハダカエデ	+		1	2	
	ケマルバスミレ	+		+		
	コナスビ	+				



写真 3-① (左)・3-② (右) 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ植物群落保護林

4) 西ノ湖ヤシオツツジ植物群落保護林

表 6-7 西ノ湖ヤシオツツジ植物群落保護林

場所：1002 林班に小班 (GPSNo.264)

階層	植物名	H24. 8/21		H26. 9/20		備考
		被度	群度	被度	群度	
S	アズマシクナゲ	3	3	3	3	コシアブラ、ナナカマドの稚樹がなくなった。シカの食害によるものと思われる。
	コメツカ	1	1	+		
H	アズマシクナゲ	2	2	2	3	
	ウリハダカエテ	2	2	2	3	
	ヒメチトメ	1	1	1	2	
	マイヅルソウ	1	1	+		
	イワガラミ	1	1	+		
	ナナカマド	+				
	ハウチワカエテ	+		1	2	
	サルナシ	+				
	シノブカゲマ	+		+		
	シロヤシオ	+		+		
	ヘビノネコサ	+		+		
	ミヤマイチシダ	+		+		
	コシアブラ	+				
	コメツカ	+		+		
	ウワミスサクラ	+				
	コミネカエテ	+		+		



写真 4-① 西ノ湖ヤシオツツジ植物群落保護林

表 6-8 西ノ湖ヤシオツツジ植物群落保護林

場所：1002 林班い小班 (GPSNo.263)

階層	植物名	H24. 8/21		H26. 9/20		備考
		被度	群度	被度	群度	
S	シロヤシオ	2	2	2	2	マルバアオダモ、コシアブラ、ナナカマドの稚樹がなくなった。シカの食害によるものと思われる。
	シナノキ	+		+		
	ハウチワカエデ	+		+		
H	アズマシャクナゲ			+		
	アズマシャクナゲ	1	2	2	2	
	マルバアオモダ	+				
	ミヤマイタチシダ	+		+		
	イヌガヤ	+		+		
	イワガラミ	+		+		
	コハウチワカエデ	+		+		
	コミネカエデ	+		+		
	シノブカグマ	+		+		
	コシアブラ	+				
	ブナ	+		+		
	コケシノブ	+		+		
	コメツガ	+		+		
	ナナカマド	+				
	マイヅルソウ	+				
	シロヤシオ	+		+		
	タケシマラン	+		+		
シロヨメナ	1	1	1	2		



写真 4-② 西ノ湖ヤシオツツジ植物群落保護林

【コメント】

コシアブラ、ナナカマド、マルバアオダモの稚樹がなくなった。シカの食害によるものと思われる。アズマシャクナゲやシロヤシオ等のシカの忌避植物には被害は見られない。また、高木性樹種の稚樹であるブナにも被害は見られなかった。

(2) 既往保護林の植生保護柵内外における経年変化

○ 西ノ湖畔ヤチダモ林木遺伝資源保存林

表 6-9 西ノ湖畔ヤチダモ林木遺伝資源保存林（柵外）

場所：1113 林班い小班（GPSNo.281）

階層	植物名	H24. 8/20		H26. 9/21		備考
		被度	群度	被度	群度	
H	シロヨナメ	3	3	4	4	オサワグルミ、ミズナラの稚樹がなくなった。シカの食害によるものと思われる。また忌避植物のシロヨメナが旺盛に繁茂しはじめている。
	クサイ	3	3	2	2	
	ミズ	2	2	1	1	
	オオバコ	2	2	+		
	エナシヒゴグサ	2	2	2	2	
	カタバミ	1	1	1	1	
	セントウソウ	1	1	1	1	
	サワグルミ	+				
	ツボスミレ	+		1	1	
	ヒメチドメ	+		1	1	
	クルマバナ	+		+		
	ミズナラ	+				
	イワウメヅル	+		+		
	キツネノボタン	+		+		



写真 5-① 西ノ湖畔ヤチダモ林木遺伝資源保存林（柵外）

【コメント】

柵外では、サワグルミ、ミズナラの稚樹がなくなった。シカの食害によるものと思われる。また忌避植物のシロヨメナが旺盛に繁茂しはじめている。

一方柵内では、アオダモ、サワグルミ、ズミの低木が成長しつつある。またホオノキなどの稚樹も新たに生育していた。シカの影響を排除した効果と思える。

柵内外の調査結果を比較すると、前回から今回の経過年月は僅かに2年と1箇月であったが、稚樹の生育の効果は顕著に出ていた。

表 6-10 西ノ湖畔ヤチダモ林木遺伝資源保存林（柵内）

場所：1113 林班い小班（GPSNo.279）

階層	植物名	H24. 8/20		H26. 9/21		備考
		被度	群度	被度	群度	
S	アオダモ	+		1	1	アオダモ、サワグルミ、ズミの低木が成長しつつある。またホオノキ、アオダモ、ミズナラの稚樹が生育していた。シカの影響を排除した効果と思える。
	サワグルミ			1	2	
	ズミ			1	1	
H	エゾシロネ	4	4	3	3	
	オオヨモギ	2	2	1	1	
	ツボスミレ	2	2	1	1	
	エナシヒゴクサ	2	2	1	1	
	オオバコ	2	2	1	1	
	ヤマカモジグサ	2	2	1	1	
	サワグルミ	1	2	1	2	
	ズミ	1	2	1	1	
	ヒメヘビイチゴ	1	2	+		
	シロヨメナ	1	2	1	2	
	コイトスゲ	1	2	2	2	
	ボタンヅル	1	1	+		
	イネ科の一種	1	1	+		
	クマイチゴ	+		+		
	ケイタドリ	+		+		
	ホオノキ	+		+		
	トモエソウ	+		+		
	ニッコウザサ	+		+		
ヤチダモ	+		+			
シラスゲ	+		+			
ヌカボ	+		+			
クルマバナ	+		+			
テンナンショウ属	+					
アオダモ			+			
ミズナラ			+			



写真 5 - ② 西ノ湖畔ヤチダモ林木遺伝資源保存林（柵内）

(2) 植生、毎木調査方法

調査区 (10m×10m=100 m²) 及び隣接する対照区 (10m×10m=100 m²) において、毎木調査、植生調査、植生被害調査、写真撮影を実施した。

植生調査

植生調査は、樹高 3m未満の下層植生を対象に、種名、被度、群度をブラウン・ブランケ法により実施した。

表 6-11 被度、群度の調査内容

項目	調査内容
被度	プロット内において、その植物がその階層でどれだけの面積を占めているか種別の植被率の階級で示した。 被度 5 (植被率 75~100%)、被度 4 (植被率 50-75%)、被度 3 (植被率 25~50%)、被度 2 (植被率 10~25%)、被度 1 (1~10%)、+ (植被率 1%以下)。
群度	プロット内において、その植物がどのような状態で群落をつくっているか、あるいは単独で存在するかを示した。 群度 5 (大きなマット状で全域を覆う)、群度 4 (パッチ状または切れ切れのマット状)、群度 3 (大きな群を作る)、群度 2 (小さな群を作る)、群度 1 (単独で生育する)
木本実生	木本実生について、プロット内に生育する種の平均的な高さを記録した。 また、個体数が多い種はその旨記録した。
ササ類	プロット内にササ類が生育している場合は平均的な高さを記録した。

毎木調査

毎木調査は、樹高 3m以上の樹木を対象に、種名、胸高直径 (DBH)、樹高 (H)、位置を調査した。また、プロット内の生育位置を概括的に図示した。

表 6-12 毎木調査内容

項目	調査内容
胸高直径 (DBH)	直径巻尺を用いて 0.1cm 単位で測定した。測定位置にガンタッカーを用いてタグナンバーをつけた。
樹高 (H)	バーテックスを用いて 0.1m 単位で測定した。
樹木位置	剥皮や採食により将来樹木が消失した時、どこに何があったという記録を残すため、方眼野帳に樹木位置 (1m精度) と樹木No.を記載した。それを基に、立木位置図を作成した。

植生調査時にシカによる採食が確認された種については、その状況を植生調査野帳に記録した。また、毎木調査時に、シカによる剥皮が確認されたものについては、その状況を毎木調査野帳に記録した。

また、調査プロット毎に、一方向のプロット外からプロット全体が入る全景写真とプロット中心付近の下層植生が写る近景写真とを 1 枚ずつ撮影した。その際、撮影地点を位置図に記録した。また将来、プロットが林内かギャップかの相違により、柵内の植生回復のスピードや構成種が異なってくる可能性がある。そこで、プロットが林内なのかギャップなのか、その中間なのかをメモするとともに、プロット中心から真上の写真を 1 枚撮影し記録した。

3-2. 毎木調査、植生調査結果

1002 林班 (No. 1 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-13 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-37 に示す。

カラマツ 8 本がプロット内に確認された。

表 6-13

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
1	57	カラマツ	19.1	17.4	
2	58	カラマツ	44.1	26.1	
3	59	カラマツ	26.5	23.3	
4	60	カラマツ	26.0	21.3	
5	61	カラマツ	36.7	23.7	
6	62	カラマツ	27.9	22.5	
7	63	カラマツ	37.7	23.6	
8	64	カラマツ	26.0	22.5	

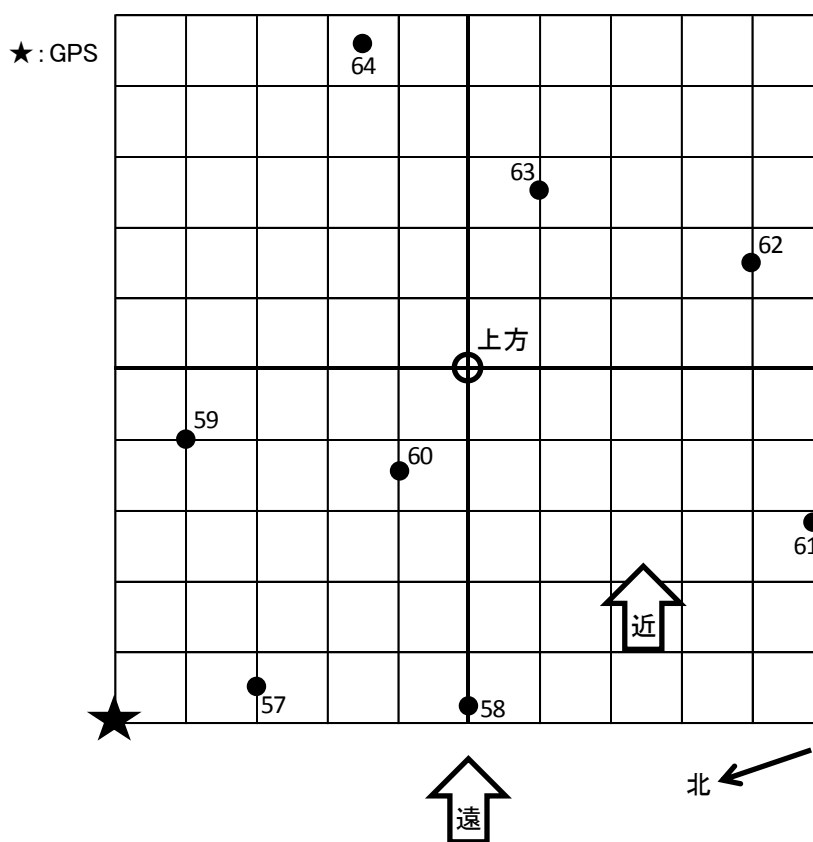


図 6-37

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではカラマツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では31種の植物が確認された。

木本実生は、キハダ、オオイタヤメイゲツ、ズミ等4種が確認された。

表 6-14

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
カラマツ植林	高木層	カラマツ	17~26	80
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	80

備考：林内。亜高木層、低木層を欠く。

表 6-15

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	2	2	エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
3	1	2	イワガラミ	ユキシタ	
4	1	2	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
5	1	1	イネ科の一種	イネ	
6	+		キハダ	ミカン	3
7	+		オオイタヤメイゲツ	カエデ	3
8	+		ズミ	バラ	3
9	+		コミネカエデ	カエデ	3
10	+		ミズ	イラクサ	
11	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
12	+		ズダヤクシュ	ユキシタ	
13	+		コガネネコノメソウ	ユキシタ	
14	+		コナスビ	サクラソウ	
15	+		ミヤマタニソバ	タデ	
16	+		コミヤマカタバミ	カタバミ	
17	+		ミヤマスマレ	スマレ	
18	+		コフウロ	フウロソウ	
19	+		ミツバツチグリ	バラ	
20	+		ダイコンソウ	バラ	
21	+		タニタデ	アカバナ	
22	+		サワギク	キク	
23	+		ツルマサキ	ニシキギ	
24	+		コチャルメルソウ	ユキシタ	
25	+		ムカゴイラクサ	イラクサ	
26	+		オオバナノヤエムグラ	アカネ	
27	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
28	+		ミヤマワラビ	ヒメシダ	
29	+		ヤマブドウ	ブドウ	
30	+		イケマ	ガガイト	
31	+		ヘビノネゴザ	イワデソウ	

1002 林班 (No. 1 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-16 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-38 に示す。カラマツ 8 本がプロット内に確認された。

表 6-16

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	65	カラマツ	22.7	23.7	
2	66	カラマツ	28.5	23.3	
3	67	カラマツ	32.8	24.6	
4	68	カラマツ	30.3	24.6	
5	69	カラマツ	26.1	25.3	
6	70	カラマツ	43.8	27.8	
7	71	カラマツ	20.8	20.8	
8	72	カラマツ	34.5	25.1	

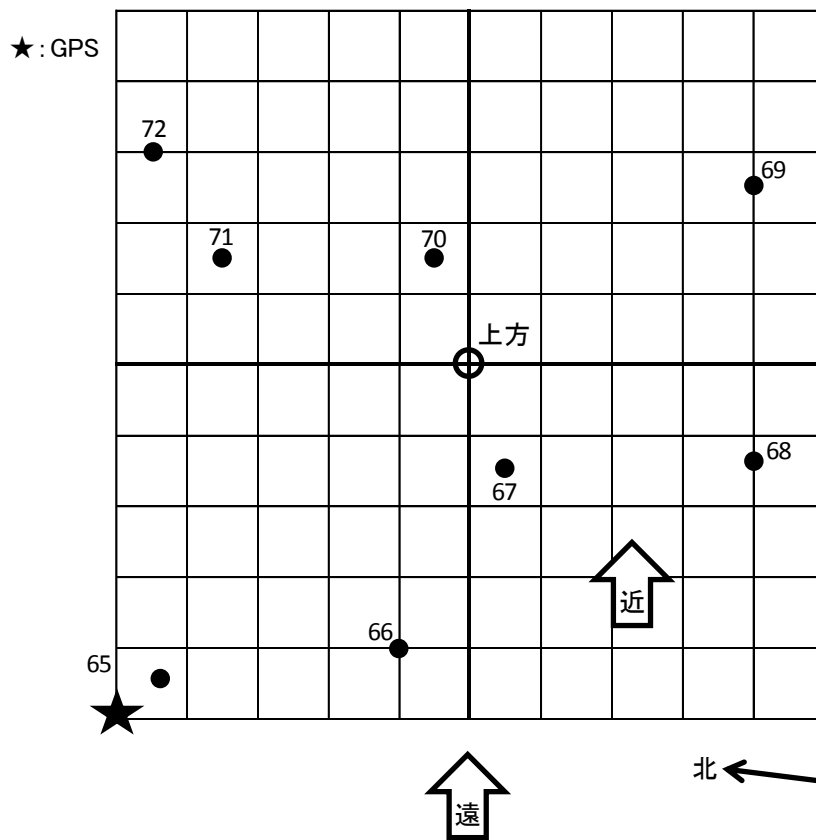


図 6-38

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではカラマツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では28種の植物が確認された。

木本実生は確認されなかった。

表 6-17

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
カラマツ植林	高木層	カラマツ	20~28	75
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	80

備考：林内。亜高木層、低木層を欠く。

表 6-18

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	5	5	シロヨメナ	キク	
2	2	2	イワガラミ	ユキノシタ	
3	2	2	エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
4	2	2	ズダヤクシュ	ユキノシタ	
5	1	1	ミズ	イラクサ	
6	+		コフウロ	フウロソウ	
7	+		ミヤマタニタデ	アカバナ	
8	+		オオバノヤエムグラ	アカネ	
9	+		ツルニガクサ	シソ	
10	+		ネコノメソウ	ユキノシタ	
11	+		サワハコベ	ナデシコ	
12	+		ヤマクワガタ	ゴマノハグサ	
13	+		コミヤマカタバミ	カタバミ	
14	+		ダイコンソウ	バラ	
15	+		ミヤマスマレ	スマレ	
16	+		ミヤマワラビ	ヒメシダ	
17	+		ミツバツチグリ	バラ	
18	+		イケマ	ガガイト	
19	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
20	+		イヌトウバナ	シソ	
21	+		サルナシ	マタヒ	
22	+		コナスビ	サクラソウ	
23	+		オニツルウメモドキ	ニシキギ	
24	+		サワギク	キク	
25	+		タニタデ	アカバナ	
26	+		キツリフネ	ツリフネソウ	
27	+		ムカゴイラクサ	イラクサ	
28	+		シロバナノヘビイチゴ	バラ	

■ 写真

• 1002 林班



遠景



近景



中心部上方

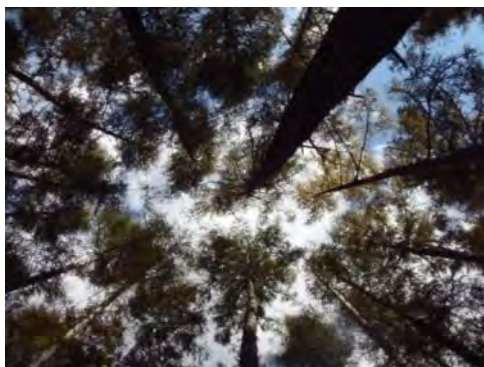
• 1002 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1012 林班 (No. 2 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-19 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-39 に示す。

オオイタヤメイゲツ 4 本、イタヤカエデ 1 本、カツラ 1 本、サワグルミ 1 本の合計 7 本がプロット内に確認された。

表 6-19

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
1	73	オオイタヤメイゲツ	7.3	8.7	
2	74	イタヤカエデ	7.3	6.5	
3	75	カツラ	19.8	17.6	
4	76	オオイタヤメイゲツ	5.8	5.0	
5	77	オオイタヤメイゲツ	7.7	6.3	
6	78	オオイタヤメイゲツ	6.7	6.2	
7	79	サワグルミ	25.3	21.2	クマの剥皮新しい

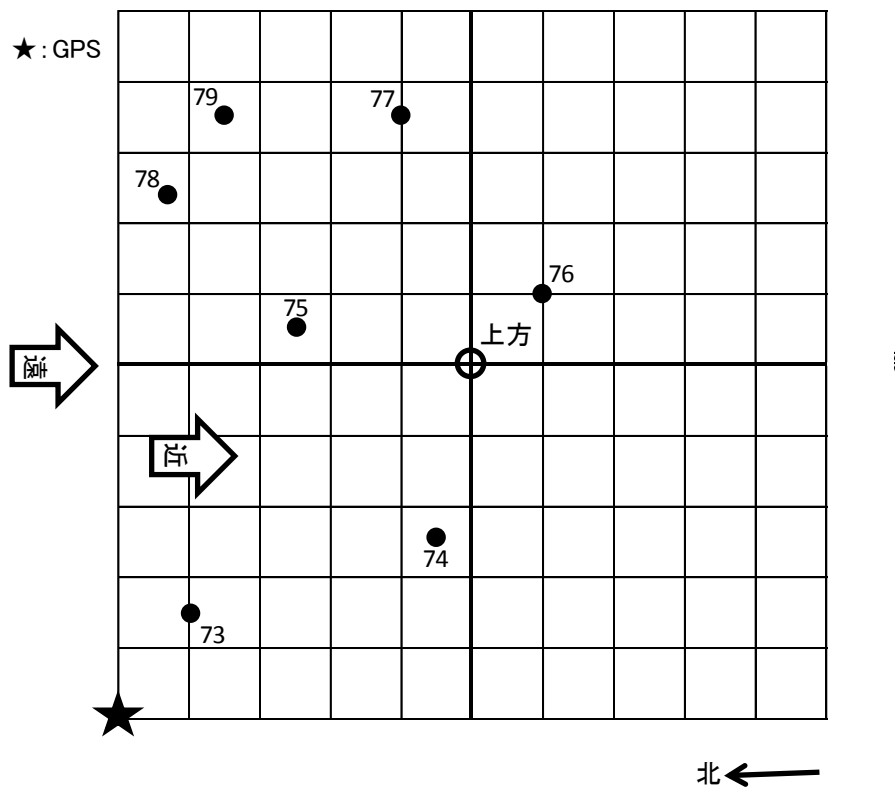


図 6-39

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではカツラ、低木層ではオオイタヤメイゲツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では25種の植物が確認された。

木本実生は、サワグルミ、オオイタヤメイゲツ、ミズキ等4種が確認された。

表 6-20

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
落葉広葉樹林群落	高木層	カツラ	17~22	20
	亜高木層	-	-	-
	低木層	オオイタヤメイゲツ	5~9	40
	草本層	シロヨメナ	0~0.7	60

備考：林内。亜高木層を欠く。

表 6-21

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	1	1	エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
3	+	2	サワグルミ	クルミ	3
4	+		オオイタヤメイゲツ	カエデ	5
5	+		ミズキ	ミズキ	5
6	+		ウラジロモミ	マツ	3
7	+		サワハコベ	ナデシコ	
8	+		イヌトウバナ	シソ	
9	+		ヒメチドメ	セリ	
10	+		セントウソウ	セリ	
11	+		ヨツバムグラ	アカネ	
12	+		ミズ	イラクサ	
13	+		ツルマサキ	ニシキギ	
14	+		タニギキョウ	キキョウ	
15	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
16	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
17	+		コナスビ	サクラソウ	
18	+		ネコノメソウ	ユキノシタ	
19	+		イトスゲ	カヤツリグサ	
20	+		ダイコンソウ	バラ	
21	+		ヘビノネゴザ	イワテンダ	
22	+		サワギク	キク	
23	+		コガネネコノメソウ	ユキノシタ	
24	+		ニシキギ	ニシキギ	
25	+		フモトスミレ	スミレ	

サワグルミ、オオイタヤメイゲツの実生が多かった。

1012 林班 (No. 2 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果表 6-22 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-40 に示す。
 キハダ 3 本、イタヤカエデ 1 本、オオモミジ 1 本、サワグルミ 1 本の合計 6 本がプロット内に確認された。

表 6-22

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	80	イタヤカエデ	10.5	12.1	
2	81	キハダ	25.1	18.1	
3	82	オオモミジ	7.9	6.2	
4	83	キハダ	16.0	18.1	
5	84	サワグルミ	9.8	10.8	
6	85	キハダ	35.7	22.5	

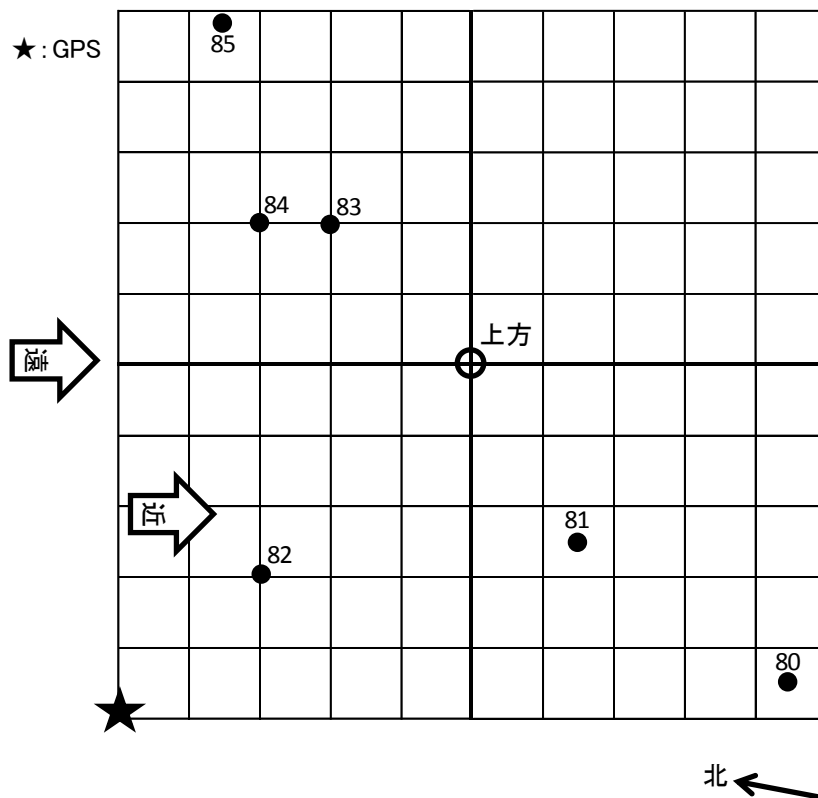


図 6-40

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではキハダ、亜高木層ではモトゲイタヤ、低木層ではオオモミジ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では31種の植物が確認された。

木本実生は、サワグルミ、オオイタヤメイゲツ、ウラジロモミ等5種が確認された。

表 6-23

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
落葉広葉樹林群落	高木層	キハダ	18~23	7
	亜高木層	イタヤカエデ	10~12	15
	低木層	オオモミジ	6~6	10
	草本層	シロヨメナ	0~0.7	70

備考：林内。

表 6-24

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	2	2	ネコノメソウ	ユキノシタ	
3	1	2	イワガラミ	ユキノシタ	
4	1	2	ヒメチドメ	セリ	
5	+	2	サワグルミ	クルミ	3
6	+	2	オオイタヤメイゲツ	カエデ	3
7	+		ウラジロモミ	マツ	3
8	+		ニシキギ	ニシキギ	3
9	+		キハダ	ミカン	3
10	+		セントウソウ	セリ	
11	+		ヨツバムグラ	アカネ	
12	+		ツルマサキ	ニシキギ	
13	+		コナスビ	サクラソウ	
14	+		サワハコベ	ナデシコ	
15	+		イヌトウバナ	シソ	
16	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
17	+		フモトスミレ	スミレ	
18	+		オクノカンスゲ	カヤツリグサ	
19	+		タニタデ	アハナ	
20	+		フタリシズカ	センリョウ	
21	+		サワギク	キク	
22	+		オオバコ	オオバコ	
23	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
24	+		サルナシ	マタヒ	
25	+		ミズ	イラクサ	
26	+		コフウロ	フウソウ	
27	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
28	+		オトギリソウ	オトギリソウ	
29	+		イワウメヅル	ニシキギ	
30	+		アオスゲ	カヤツリグサ	
31	+		イタヤカエデ	カエデ	

サワグルミ、オオイタヤメイゲツの実生が多かった。

■ 写真

• 1012 林班



遠景



近景



中心部上方

• 1012 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1013 林班 (No. 3 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-25 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-41 に示す。

ミズメ 3 本、シナノキ 1 本、ウダイカンバ 1 本の合計 5 本がプロット内に確認された。

表 6-25

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	98	ミズメ	11.0	14.6	
2	99	ミズメ	17.5	20.4	
3	100	シナノキ	40.8	22.8	二又
			12.8	13.8	
4	101	ミズメ	16.0	22.1	
5	102	ウダイカンバ	28.3	23.7	

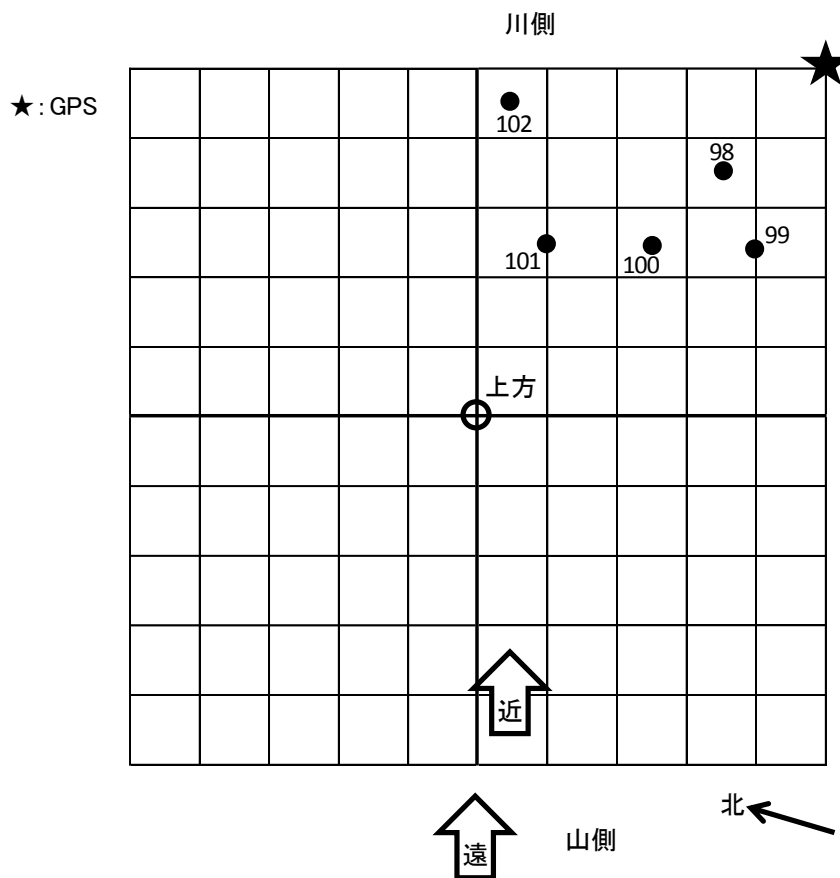


図 6-41

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではシナノキ、亜高木層ではミズメ、草本層ではウリハダカエデだった。

植生調査では30種の植物が確認された。

木本実生は、ウリハダカエデ、オオイタヤメイゲツ、ウワミズザクラ等17種が確認された。

表 6-26

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ウリハダカエデ低木群落	高木層	シナノキ	20~24	80
	亜高木層	ミズメ	14~14	10
	低木層	-	-	-
	草本層	ウリハダカエデ	0~1.0	20

備考：林内。多様な木本実生が生育。ウリハダカエデの実生・低木が多い。草本層の植被率が低い（ウリハダカエデが無ければ5%）。低木層を欠く。

表 6-27

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	3	3	ウリハダカエデ	カエデ [°]	100
2	2	2	シロヨメナ	キク	
3	1	1	オオイタヤメイゲツ	カエデ [°]	5
4	+		ウワミズザクラ	バラ	20
5	+		オオカメノキ	スイカス [°] ラ	20
6	+		ミズナラ	ブナ	20
7	+		ウラジロモミ	マツ	10
8	+		ミズメ	カハ [°] ノキ	10
9	+		オオヤマザクラ	バラ	10
10	+		アオダモ	モクセイ	5
11	+		イタヤカエデ	カエデ [°]	5
12	+		コシアブラ	ウコギ [°]	5
13	+		コメツガ	マツ	5
14	+		コミネカエデ	カエデ [°]	5
15	+		シナノキ	シナノキ	5
16	+		ニシキギ	ニシキギ [°]	5
17	+		サワグルミ	クルミ	3
18	+		タラノキ	ウコギ [°]	3
19	+		コナスビ	サクラソウ	
20	+		イヌトウバナ	シソ	
21	+		タニギキョウ	キョウ	
22	+		サルナシ	マタビ [°]	
23	+		ツルマサキ	ニシキギ [°]	
24	+		イワガラミ	ユキシタ	
25	+		アザミ属の一種	キク	
26	+		タチツボスミレ	スミレ	
27	+		ツルウメモドキ	ニシキギ [°]	
28	+		ミヤマスミレ	スミレ	
29	+		コミヤマカタバミ	カタバミ	
30	+		ヘビノネゴザ	イデ [°] ソウ	

ウリハダカエデの実生が多かった。

1013 林班 (No. 3 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-28 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-42 に示す。

ダケカンバ 1 本がプロット内に確認された。

表 6-28

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	103	ダケカンバ	42.8	24.0	

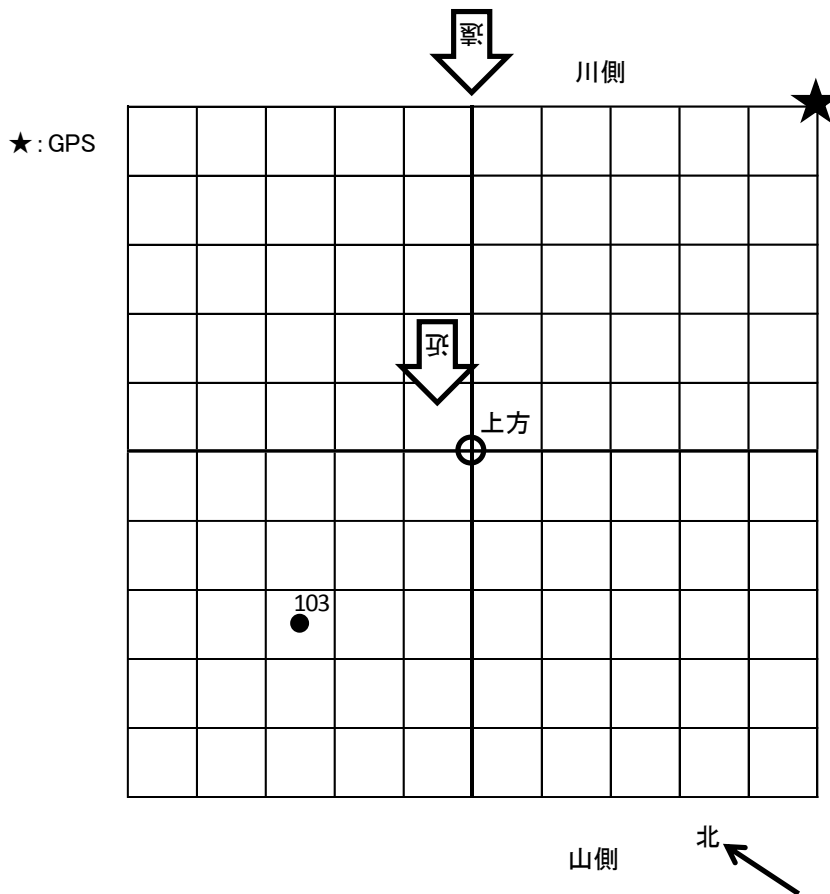


図 2- 42

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではダケカンバ、草本層ではウリハダカエデだった。

植生調査では30種の植物が確認された。

木本実生は、ウリハダカエデ、シナノキ、コメツガ等13種が確認された。

表 6-29

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ウリハダカエデ低木群落	高木層	ダケカンバ	24~24	80
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	ウリハダカエデ	0~1.2	30

備考：林内。多様な木本実生が生育。ウリハダカエデの実生・低木が多い。草本層の植被率が低い（ウリハダカエデが無ければ5%）。亜高木層、低木層を欠く。

表 6-30

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	3	3	ウリハダカエデ	カエデ	100
2	2	2	シロヨメナ	キ	
3	+	2	タニギキョウ	キョウ	
4	+		シナノキ	シノキ	20
5	+		コメツガ	マツ	10
6	+		ミズメ	カノキ	10
7	+		ウラジロモミ	マツ	5
8	+		オオイタヤメイゲツ	カエデ	5
9	+		コシアブラ	ウコギ	5
10	+		コミネカエデ	カエデ	5
11	+		ニワトコ	スイズラ	5
12	+		ミズナラ	ブナ	5
13	+		ミヤコザサ	イネ	5
14	+		モミジイチゴ	バラ	5
15	+		サワグルミ	クルミ	3
16	+		タラノキ	ウコギ	3
17	+		ヒメチドメ	セリ	
18	+		イワガラミ	エキノタ	
19	+		ツルニガクサ	シ	
20	+		コミヤマカタバミ	カタバミ	
21	+		コナスビ	サクラソウ	
22	+		イヌトウバナ	シ	
23	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
24	+		サワギク	キ	
25	+		サルナシ	マタヒ	
26	+		スゲ属の一種	カヤツリグサ	
27	+		セントウソウ	セリ	
28	+		タチツボスミレ	スミレ	
29	+		オオバコ	オオバコ	
30	+		アザミ属の一種	キ	

■ 写真

• 1013 林班



遠景



近景



中心部上方

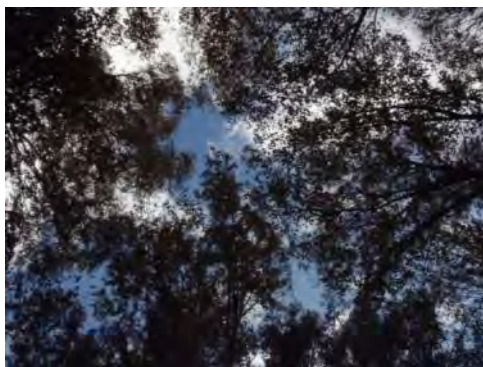
• 1013 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1014 林班 (No. 4 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-31 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-43 に示す。

カラマツ 4 本、ハルニレ 1 本の合計 5 本がプロット内に確認された。

表 6-31

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	88	カラマツ	24.6	26.4	
2	89	カラマツ	33.0	27.4	
3	90	カラマツ	23.9	25.1	
4	91	カラマツ	38.9	27.8	
5	92	ハルニレ	39.8	29.7	

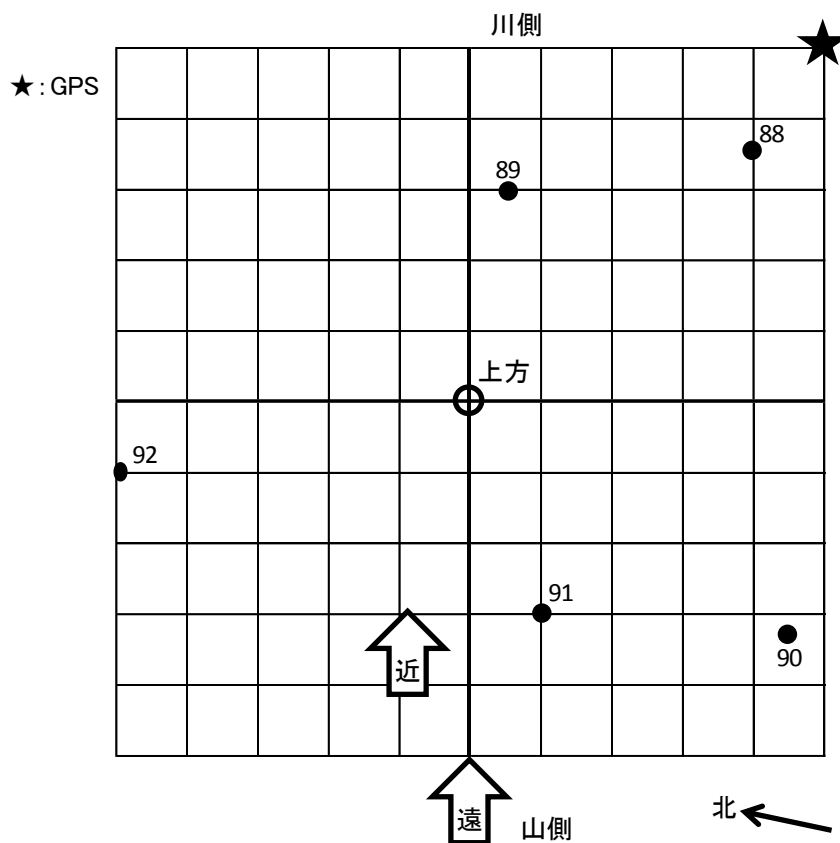


図 6-43

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではカラマツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では36種の植物が確認された。

木本実生は、ウリハダカエデ、トウヒ、ニシキギ等15種が確認された。

表 6-32

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
カラマツ植林	高木層	カラマツ	25~30	80
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	80

備考：林内。多様な木本実生が生育。亜高木層・低木層を欠く。

表 6-33

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	5	5	シロヨメナ	キク	
2	3	3	フタリシズカ	セリョウ	
3	1	2	イワガラミ	ユキノシタ	
4	1	1	ツルニガクサ	シソ	
5	+		ウリハダカエデ	カエデ ^o	130
6	+		トウヒ	マツ	15
7	+		ニシキギ	ニシキギ ^o	10
8	+		ミズナラ	ブナ	10
9	+		ミズメ	カバノキ	10
10	+		イタヤカエデ	カエデ ^o	5
11	+		イロハモミジ	カエデ ^o	5
12	+		ウラジロモミ	マツ	5
13	+		サワシバ	カバノキ	5
14	+		クマイチゴ	バラ	5
15	+		コメツガ	マツ	3
16	+		サワグルミ	クルミ	3
17	+		ミズキ	ミズキ	3
18	+		ニシキウツギ	スズカサ	3
19	+		モミジイチゴ	バラ	3
20	+		タニタデ	アカバナ	
21	+		ミヤマワラビ	ヒメシダ ^o	
22	+		タニギキョウ	キキョウ	
23	+		サワギク	キク	
24	+		カラマツソウ	キンポウゲ ^o	
25	+		イヌトウバナ	シソ	
26	+		ミヤマスマレ	スミレ	
27	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
28	+		ヒメチドメ	セリ	
29	+		イチヤクソウ	イチヤクソウ	
30	+		オオバコ	オオバコ	
31	+		タマガワホトトギス	ユリ	
32	+		オオバノヤエムグラ	アカネ	
33	+		ヘビノネゴザ	イワタバコ ^o	
34	+		ミヤマタニタデ	アカバナ	
35	+		ムカゴイラクサ	イラクサ	
36	+		シロバナノヘビイチゴ	バラ	

トウヒ、ウラジロモミ、コメツガは切株上に生育していた。

1014 林班 (No. 4 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-34 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-44 に示す。

カラマツ 5 本がプロット内に確認された。

表 6-34

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	93	カラマツ	28.0	28.5	
2	94	カラマツ	39.0	30.6	
3	95	カラマツ	36.5	29.0	
4	96	カラマツ	35.3	31.1	
5	97	カラマツ	35.8	28.7	

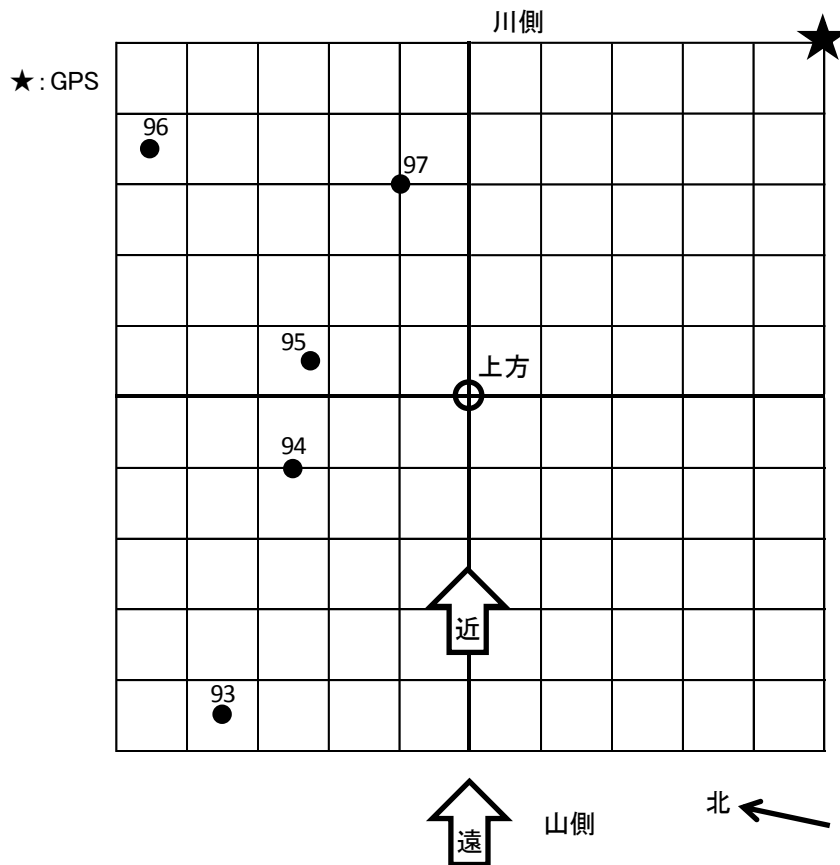


図 6-44

■ 植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではカラマツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では 36 種の植物が確認された。

木本実生は、ウリハダカエデ、ミヤマイボタ、ニワトコ等 10 種が確認された。

表 6-35

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
カラマツ植林	高木層	カラマツ	28~31	80
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.7	80

備考：林内。多様な木本実生が多い。亜高木層・低木層を欠く。

表 6-36

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	5	5	シロヨメナ	キク	
2	1	2	イワガラミ	ユキノシタ	
3	1	1	フタリシズカ	センリョウ	
4	1	1	ツルニガクサ	シソ	
5	+		ウリハダカエデ	カエデ	50
6	+		ミヤマイボタ	モクセイ	30
7	+		ニワトコ	スイカズラ	10
8	+		イタヤカエデ	カエデ	5
9	+		イロハモミジ	カエデ	5
10	+		シラビソ	マツ	5
11	+		ミズメ	カハノキ	5
12	+		ウラジロモミ	マツ	5
13	+		カラマツ	マツ	5
14	+		クマイチゴ	バラ	5
15	+		オオバノヤエムグラ	アカネ	
16	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
17	+		イヌトウバナ	シソ	
18	+		ヘビノネゴザ	イワタバコ	
19	+		サワギク	キク	
20	+		タニギキョウ	キキョウ	
21	+		ミヤマスマレ	スマレ	
22	+		ミズ	イラクサ	
23	+		シロバナノヘビイチゴ	バラ	
24	+		ミヤマタニタデ	アカバナ	
25	+		イトスゲ	カヤツリグサ	
26	+		フジスマレ	スマレ	
27	+		フモトスマレ	スマレ	
28	+		サルナシ	マタビ	
29	+		オニタビラコ	キク	
30	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
31	+		オニツルウメモドキ	ニシキギ	
32	+		ヒメチドメ	セリ	
33	+		ヨツバムグラ	アカネ	
34	+		ミツバツチグリ	バラ	
35	+		タニタデ	アカバナ	
36	+		イワハタザオ	アブラナ	

シラビソは倒木上に生育していた。

■ 写真

• 1014 林班



遠景



近景



中心部上方

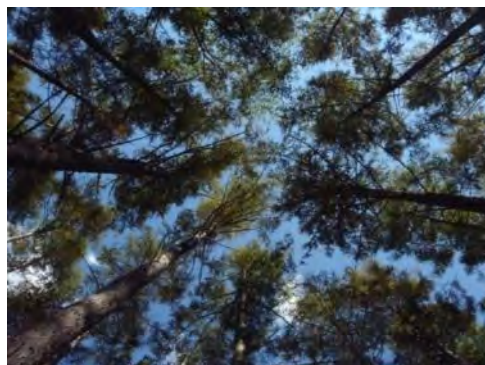
• 1014 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1022 林班 (No. 5 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-37 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-45 に示す。

カラマツ 2 本がプロット内に確認された。

表 6-37

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	86	カラマツ	24.9	18.3	
2	87	カラマツ	24.7	20.3	

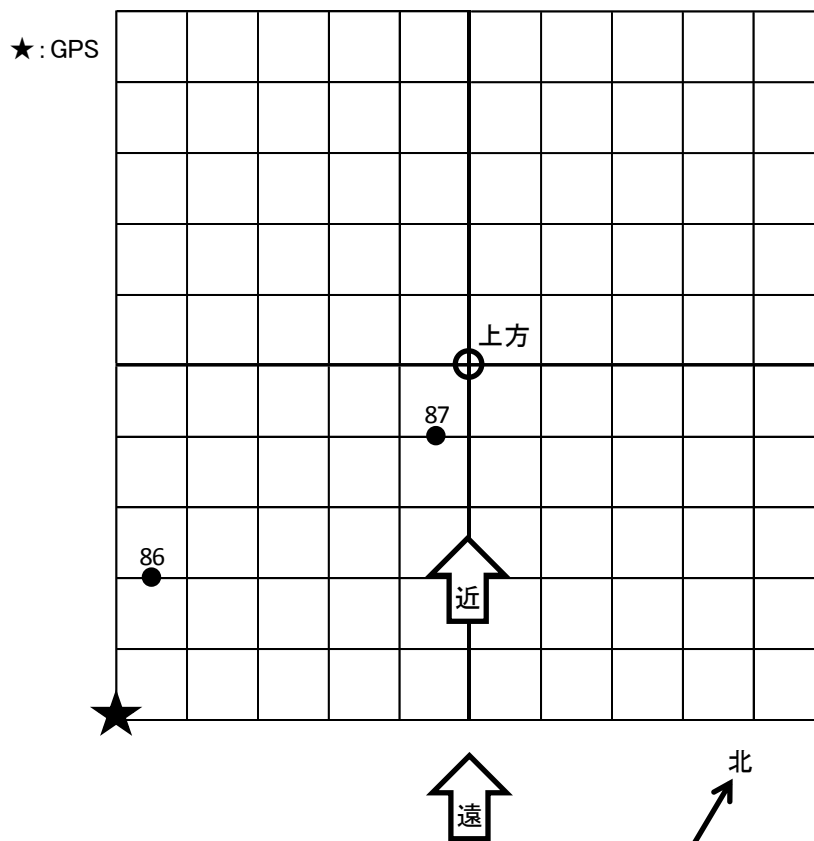


図 2-45

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではカラマツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では33種の植物が確認された。

木本実生は、ウリハダカエデ、カラマツ、ミズキ等11種が確認された。

表 6-38

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
カラマツ植林	高木層	カラマツ	18~20	20
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.6	35

備考：ギャップ。作業道含まれる。亜高木層、低木層を欠く。

表 6-39

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	2	2	シロヨメナ	キ	
2	1	2	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
3	1	2	イネ科の一種	イネ	
4	+		ウリハダカエデ	カエデ	20
5	+		カラマツ	マツ	5
6	+		ミズキ	ミズキ	5
7	+		ミヤコザサ	イネ	5
8	+		ミズメ	カノキ	3
9	+		サワグルミ	クルミ	3
10	+		ウラジロモミ	マツ	3
11	+		クマイチゴ	バラ	3
12	+		イロハモミジ	カエデ	3
13	+		タラノキ	ウコギ	3
14	+		イタヤカエデ	カエデ	3
15	+		ハリギリ	ウコギ	3
16	+		タチツボスミレ	スミレ	
17	+		コナスビ	サクラソウ	
18	+		ミズ	イラクサ	
19	+		タマガワホトトギス	ユリ	
20	+		ヂシバリ	キ	
21	+		ミツバツチグリ	バラ	
22	+		ヘビノネゴザ	ワデンタ	
23	+		タニタデ	アカバナ	
24	+		イタドリ	タデ	
25	+		アオスゲ	カヤツリグサ	
26	+		オオバコ	オオバコ	
27	+		オニタビラコ	キ	
28	+		ミヤマタニタデ	アカバナ	
29	+		ヒメチドメ	セリ	
30	+		イワガラミ	ユキノシタ	
31	+		イヌトウバナ	シ	
32	+		ミヤマスミレ	スミレ	
33	+		サルナシ	マタヒ	

1022 林班 (No. 5 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査対象の樹木はなかった。

写真撮影位置 (遠景、近景、上方) 等を図 2-46 に示す。

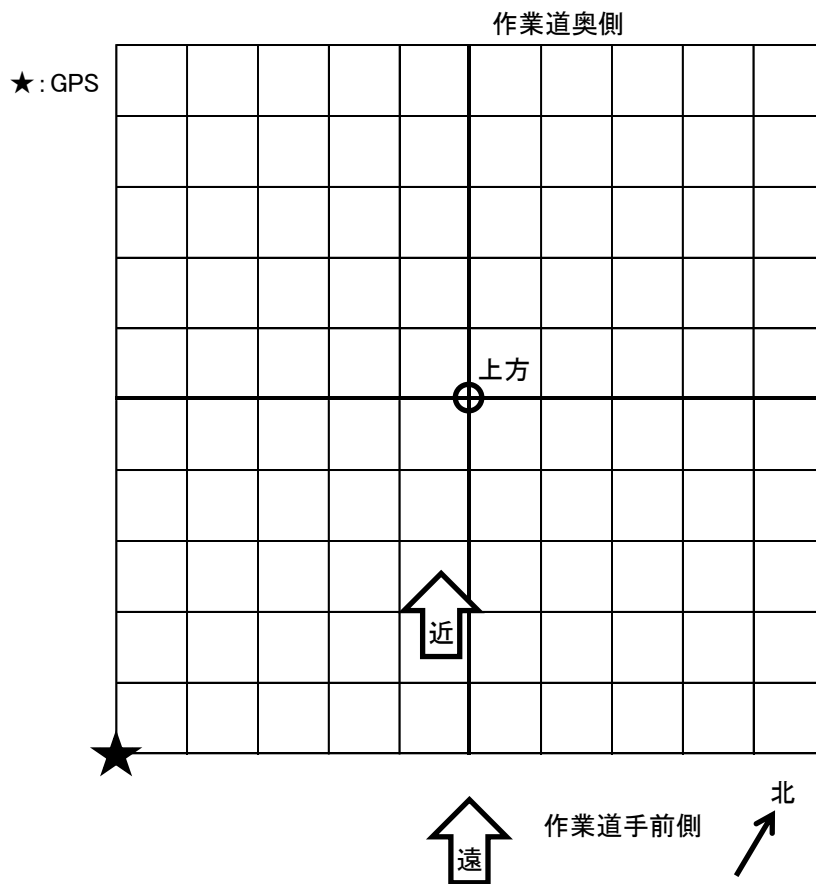


図 6-46

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では37種の植物が確認された。

木本実生は、クマイチゴ、ウラジロモミ、カラマツ等13種が確認された。

表 6-40

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
カラマツ植林地のギャップ	高木層	-	-	-
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.5	30

備考：ギャップ。作業道含まれる。高木層、亜高木層、低木層を欠く。

表 6-41

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	2	2	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
2	2	2	シロヨメナ	キク	
3	1	2	イケマ	ガガ任	
4	1	1	クマイチゴ	バラ	10
5	1	1	タチツボスミレ	スミレ	
6	1	1	イネ科の一種	イネ	
7	+		ミヤコザサ	イネ	10
8	+		ウラジロモミ	マツ	5
9	+		カラマツ	マツ	5
10	+		ヤマツツジ	ツツジ	5
11	+		サワフタギ	ハイノキ	5
12	+		イタヤカエデ	カエデ	3
13	+		ウリハダカエデ	カエデ	3
14	+		オノエヤナギ	ヤナギ	3
15	+		キハダ	ミカン	3
16	+		ミズメ	カバノキ	3
17	+		ズミ	バラ	3
18	+		タラノキ	ウコギ	3
19	+		モミジイチゴ	バラ	3
20	+		ミズ	イラクサ	
21	+		ヘビノネゴザ	イワナンタ	
22	+		コナスビ	サクラソウ	
23	+		タニソバ	タデ	
24	+		ミヤマワラビ	ヒメシダ	
25	+		サルナシ	マタヒ	
26	+		ムラサキネズミノオ	イネ	
27	+		ツボスミレ	スミレ	
28	+		イ	イグサ	
29	+		オニタビラコ	キク	
30	+		オオバノヤエムグラ	アカネ	
31	+		オオバコ	オオバコ	
32	+		チドメグサ	セリ	
33	+		ミツバツチグリ	バラ	
34	+		ミヤマカンスゲ	カヤツリグサ	
35	+		ノミノフスマ	ナデシコ	
36	+		ヒメチドメ	セリ	
37	+		イワガラミ	ユキナンタ	

カラマツの実生が多かった。

■ 写真

• 1022 林班



遠景



近景



中心部上方

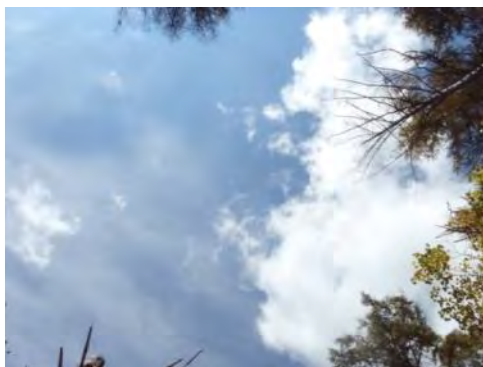
• 1022 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1023 林班 (No. 6 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-42 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-47 に示す。オオイタヤメイゲツ 2 本、ドロノキ 1 本、ハルニレ 1 本、カツラ 1 本、オオモミジ 1 本の合計 6 本がプロット内に確認された。

表 6-42

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	104	ドロノキ	65.0	28.3	
2	105	ハルニレ	37.7	18.7	
3	106	カツラ	23.0	18.0	二又
			20.2	17.7	
4	107	オオモミジ	6.8	3.9	先折れ
5	108	オオイタヤメイゲツ	18.5	12.5	
6	109	オオイタヤメイゲツ	6.0	5.6	

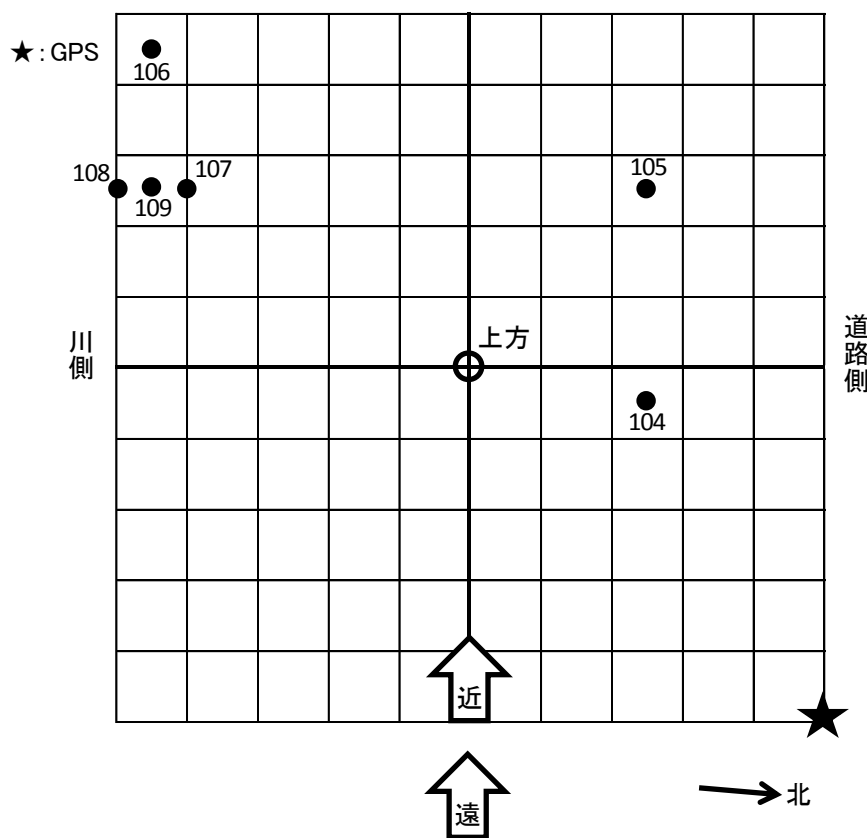


図 6-47

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではドロノキ、亜高木層ではオオイタヤメイゲツ、低木層ではオオモミジ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では30種の植物が確認された。

木本実生は、ウリハダカエデ、コシアブラ、キハダ等5種が確認された。

表 6-43

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ドロノキ群落	高木層	ドロノキ	17~28	70
	亜高木層	オオイタヤメイゲツ	12~12	10
	低木層	オオモミジ	4~6	5
	草本層	シロヨメナ	0~0.7	80

備考：林内。

表 6-44

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	5	5	シロヨメナ	キ	
2	2	2	セントウソウ	セリ	
3	1	1	ツルニガクサ	シ	
4	+		ウリハダカエデ	カエデ	5
5	+		コシアブラ	ウコギ	5
6	+		キハダ	ミカン	5
7	+		ウラジロモミ	マツ	5
8	+		ミズメ	カバノキ	3
9	+		タニギキョウ	キョウ	
10	+		タニタデ	アハナ	
11	+		サワギク	キ	
12	+		ミズ	イラクサ	
13	+		ヒメチドメ	セリ	
14	+		コナスビ	サクラソウ	
15	+		タチツボスミレ	スミレ	
16	+		フジスミレ	スミレ	
17	+		コンロンソウ	アブラナ	
18	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
19	+		ツルマサキ	ニシキギ	
20	+		イワガラミ	ユキノシタ	
21	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
22	+		イヌトウバナ	シ	
23	+		シロバナノヘビイチゴ	バラ	
24	+		ニシキウツギ	スイカズラ	
25	+		サルナシ	マタビ	
26	+		カラマツソウ	キンポウゲ	
27	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
28	+		ムカゴイラクサ	イラクサ	
29	+		ツマトリソウ	サクラソウ	
30	+		ネコノメソウ	ユキノシタ	

1023 林班 (No. 6 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-45 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-48 に示す。イタヤカエデ 2 本、オオモミジ 2 本、ハルニレ 1 本、オオイタヤメイゲツ 1 本、ウリハダカエデ 1 本、ドロノキ 1 本の合計 8 本がプロット内に確認された。

表 6-45

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	110	ハルニレ	34.5	19.3	
2	111	イタヤカエデ	14.0	11.0	
3	112	オオイタヤメイゲツ	7.5	8.5	
4	113	イタヤカエデ	15.6	12.6	
5	114	オオモミジ	17.2	15.6	
6	115	ウリハダカエデ	13.8	15.2	
7	116	オオモミジ	6.5	5.8	
8	117	ドロノキ	57.3	25.8	

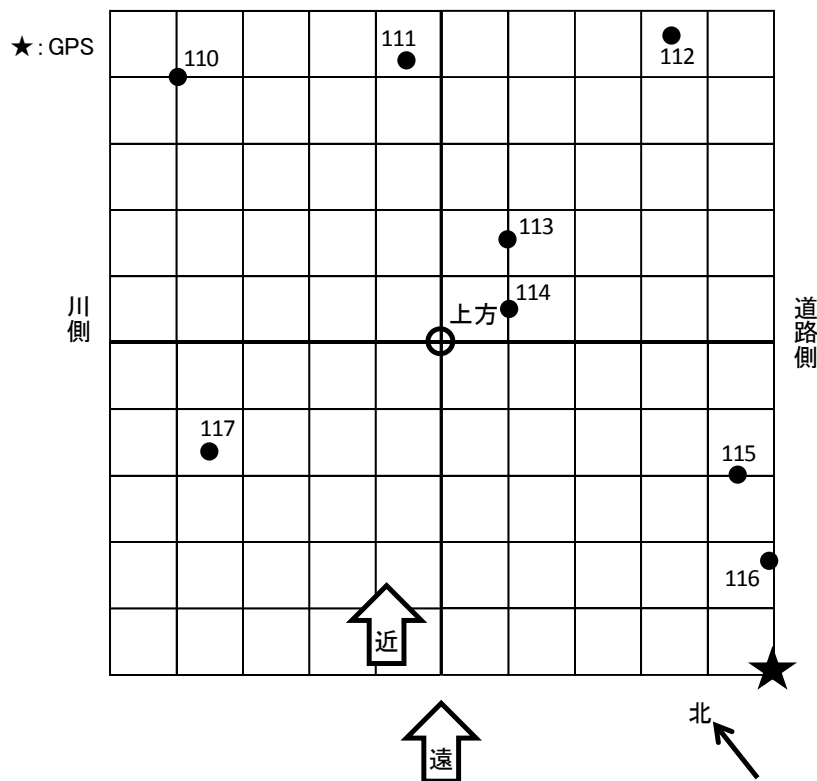


図 6-48

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではドロノキ、亜高木層ではウリハダカエデ、低木層ではオオイタヤメイゲツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では23種の植物が確認された。

木本実生は、オオイタヤメイゲツ、カラマツ、ウラジロモミの3種が確認された。

表 6-46

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ドロノキ群落	高木層	ドロノキ	19~26	40
	亜高木層	ウリハダカエデ	11~16	70
	低木層	オオイタヤメイゲツ	6~8	15
	草本層	シロヨメナ	0~0.6	70

備考：林内。

表 6-47

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	1	2	セントウソウ	セリ	
3	+		オオイタヤメイゲツ	カエデ	5
4	+		カラマツ	マツ	5
5	+		ウラジロモミ	マツ	5
6	+		ミズ	イラクサ	
7	+		イワガラミ	ユキノシタ	
8	+		キツリフネ	ツリフネソウ	
9	+		フジスミレ	スミレ	
10	+		タニギキョウ	キキョウ	
11	+		コンロンソウ	アブラナ	
12	+		ミヤマスミレ	スミレ	
13	+		タニタデ	アカバナ	
14	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
15	+		ネコノメソウ	ユキノシタ	
16	+		ツルニガクサ	シソ	
17	+		サルナシ	マタヒ	
18	+		サワギク	キク	
19	+		ムカゴイラクサ	イラクサ	
20	+		イヌトウバナ	シソ	
21	+		ホソバヒカゲスゲ	カヤツリグサ	
22	+		コナスビ	サクラソウ	
23	+		タチツボスミレ	スミレ	

■ 写真

• 1023 林班



遠景



近景



中心部上方

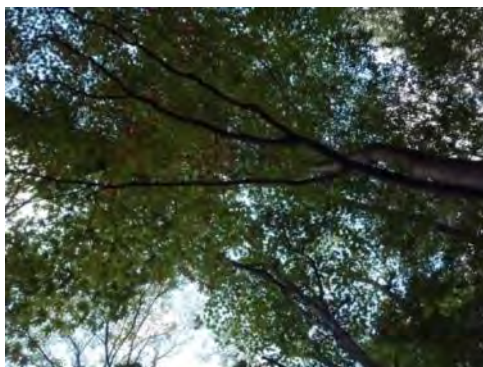
• 1023 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1024 林班 (No. 7 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-48 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-49 に示す。

シラカンバ 6 本、キハダ 2 本、カラマツ 1 本の合計 9 本がプロット内に確認された。

表 6-48

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	1	シラカンバ	20.0	20.1	
2	2	キハダ	23.9	20.1	二又
			14.4	17.5	
3	3	シラカンバ	19.2	21.1	
4	4	キハダ	16.0	11.5	空洞あり
5	5	シラカンバ	16.6	13.4	
6	6	シラカンバ	19.4	20.2	
7	7	シラカンバ	22.1	21.5	
8	8	カラマツ	29.1	21.4	
9	9	シラカンバ	25.5	21.9	

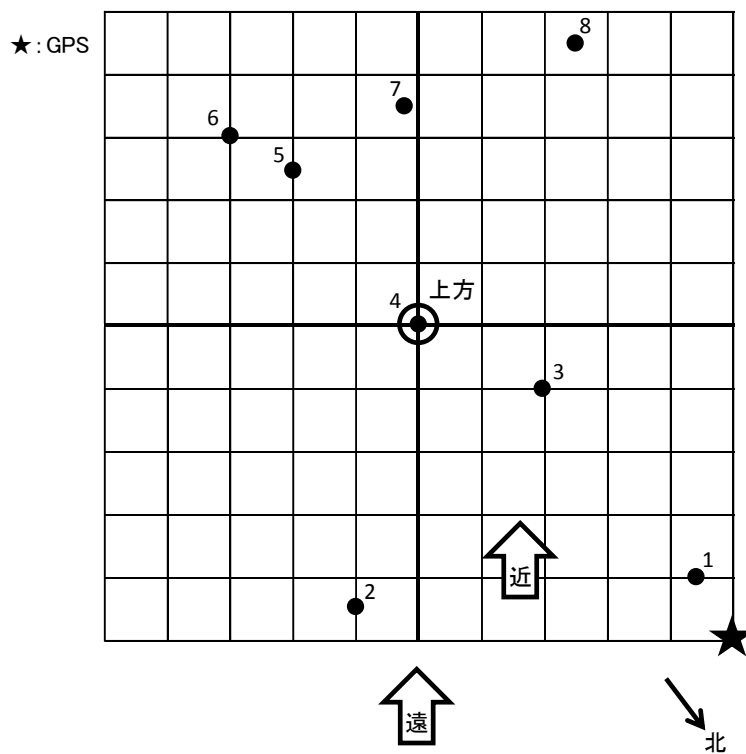


図 6-49

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層、亜高木層ではシラカンバ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では27種の植物が確認された。

木本実生は、ウラジロモミが確認された。

表 6-49

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
シラカンバ群落	高木層	シラカンバ	20~21	75
	亜高木層	シラカンバ	11~14	20
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.7	90

備考：林内。低木層を欠く。

表 6-50

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	1	1	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
3	1	1	ヒメカンスゲ	カヤツリグサ	
4	1	1	ヤマカモジグサ	イネ	
5	+		ウラジロモミ	マツ	5
6	+		サワギク	キク	
7	+		ムカゴイラクサ	イラクサ	
8	+		イワガラミ	ユキノシタ	
9	+		イヌトウバナ	シソ	
10	+		サルナシ	マタビ	
11	+		タチツボスミレ	スミレ	
12	+		ミズタマソウ	アカバナ	
13	+		ノミノフスマ	ナデシコ	
14	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
15	+		ダイコンソウ	バラ	
16	+		ヨツバムグラ	アカネ	
17	+		コナスビ	サクラソウ	
18	+		イワウメヅル	ニシキギ	
19	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
20	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
21	+		ヤブマメ	マメ	
22	+		ミゾシダ	ヒメシダ	
23	+		セントウソウ	セリ	
24	+		サワハコベ	ナデシコ	
25	+		ミゾホオズキ	ゴマノハグサ	
26	+		ミズ	イラクサ	
27	+		コマユミ	ニシキギ	

1024 林班 (No. 7 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-51 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-50 に示す。

キハダ 3 本、シラカンバ 2 本、カラマツ 1 本の合計 6 本がプロット内に確認された。

表 6-51

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	10	キハダ	11.5	8.9	
2	11	シラカンバ	24.0	18.1	
3	12	シラカンバ	19.5	20.1	
4	13	キハダ	51.0	18.2	
5	14	カラマツ	14.6	10.4	
6	15	キハダ	16.5	9.1	

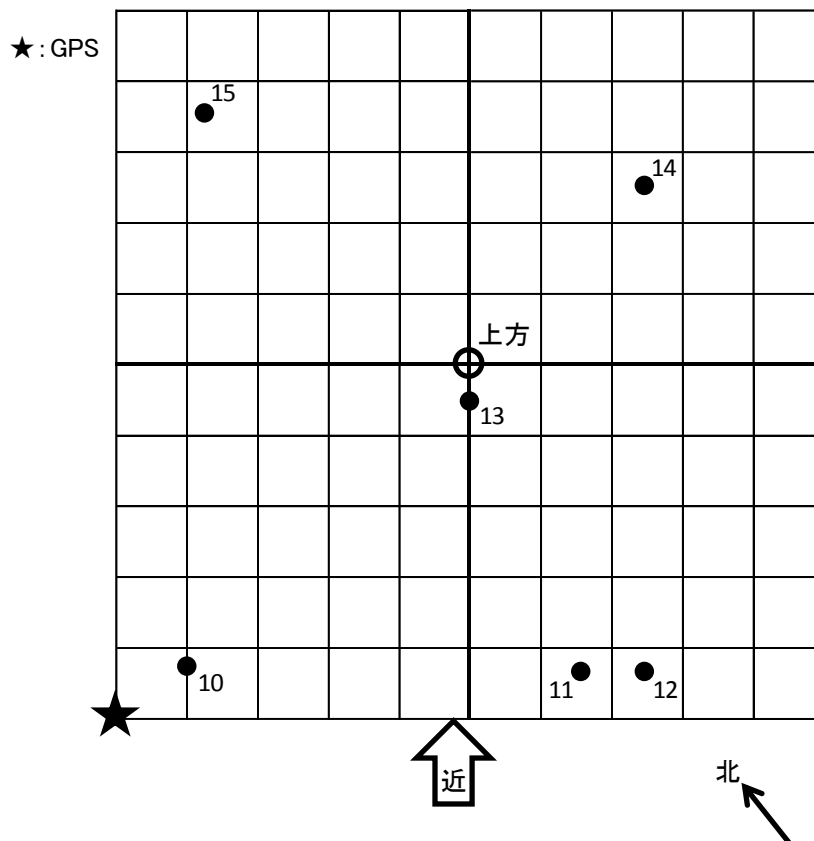


図 6-50

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではシラカンバ、亜高木層ではキハダ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では22種の植物が確認された。

木本実生は、モミジイチゴが確認された。

表 6-52

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
シラカンバ群落	高木層	シラカンバ	18~21	70
	亜高木層	キハダ	10~12	15
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.7	90

備考：林内。低木層を欠く。

表 6-53

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	1	1	エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
3	1	1	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
4	1	1	ダイコンソウ	バラ	
5	1	1	ヒメカンスゲ	カヤツリグサ	
6	+		モミジイチゴ	バラ	3
7	+		ミゾホオズキ	ゴマノハグサ	
8	+		コナスビ	サクラソウ	
9	+		ヒメチドメ	セリ	
10	+		サルナシ	マタビ	
11	+		ノミノフスマ	ナデシコ	
12	+		ミズ	イラクサ	
13	+		タニタデ	アカバナ	
14	+		ヨツバムグラ	アカネ	
15	+		イヌタデ	タデ	
16	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
17	+		イヌトウバナ	シソ	
18	+		クサイ	イグサ	
19	+		アオスゲ	カヤツリグサ	
20	+		ミゾシダ	ヒメシダ	
21	+		ムカゴイラクサ	イラクサ	
22	+		イケマ	ガガ任	

■ 写真

• 1024 林班



遠景



近景



中心部上方

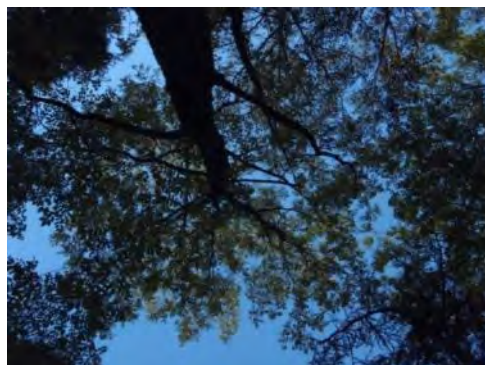
• 1024 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1030 林班 (No. 8 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-54 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-51 に示す。

ミズナラ 3 本がプロット内に確認された。

表 6-54

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	118	ミズナラ	29.2	19.4	
2	119	ミズナラ	26.7	14.6	
3	120	ミズナラ	30.2	23.4	

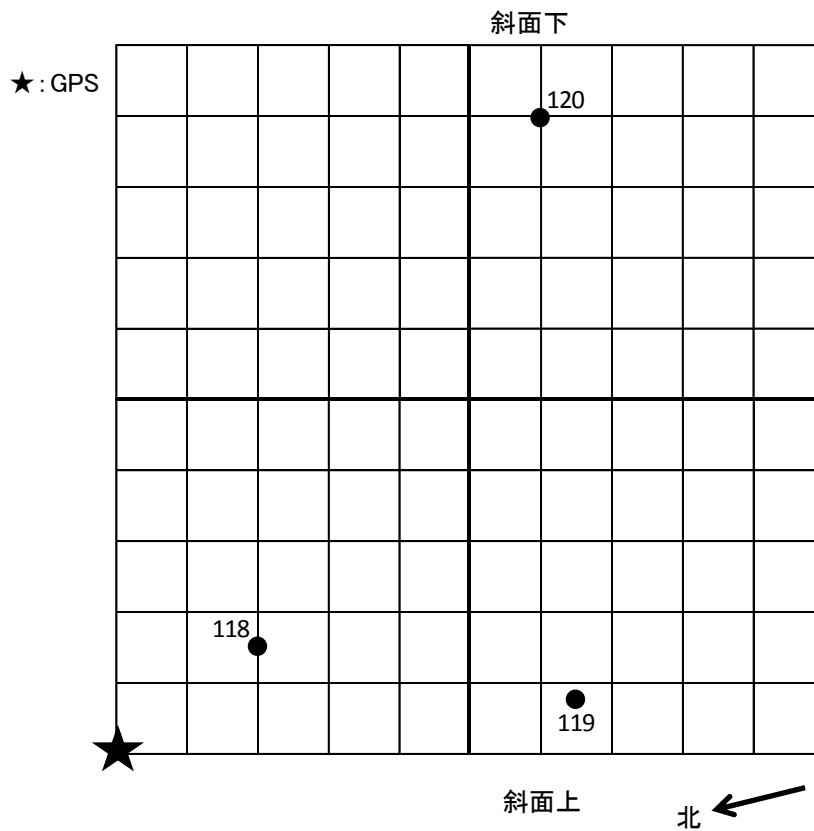


図 6-51

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層、亜高木層ではミズナラ、草本層ではスゲ属の一種だった。

植生調査では 29 種の植物が確認された。

木本実生は、イタヤカエデ、ミズメ、ミズナラ等 9 種が確認された。

表 6-55

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ミズナラ群落	高木層	ミズナラ	19~23	80
	亜高木層	ミズナラ	14~15	15
	低木層	-	-	-
	草本層	スゲ属の一種	0~0.4	30

備考：林内。低木層を欠く。

表 6-56

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	2	2	スゲ属の一種1	カヤツグサ	
2	1	1	シロヨメナ	キク	
3	+		イタヤカエデ	カエデ	5
4	+		ミズメ	カバノキ	5
5	+		ミヤコザサ	イネ	5
6	+		ミズナラ	ブナ	5
7	+		ハリギリ	ウコギ	5
8	+		モミジイチゴ	バラ	5
9	+		ズミ	バラ	5
10	+		ウリハダカエデ	カエデ	5
11	+		ウラジロモミ	マツ	5
12	+		タラノキ	ウコギ	5
13	+		ミズ	イラクサ	
14	+		タニギキョウ	キョウ	
15	+		エナシヒゴクサ	カヤツグサ	
16	+		コナスビ	サクラソウ	
17	+		タチツボスミレ	スミレ	
18	+		シロバナノヘビイチゴ	バラ	
19	+		ヤマカモジグサ	イネ	
20	+		イヌトウバナ	シソ	
21	+		オオバコ	オオバコ	
22	+		サワギク	キク	
23	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
24	+		サルナシ	マタビ	
25	+		ツボスミレ	スミレ	
26	+		イネ科の一種	イネ	
27	+		オトギリソウ	オトギリソウ	
28	+		スゲ属の一種2	カヤツグサ	
29	+		クサイ	イグサ	

1030 林班 (No. 8 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-57 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-52 に示す。ミズナラ 4 本、ハリギリ 1 本の合計 5 本がプロット内に確認された。

表 6-57

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	121	ミズナラ	25.2	18.6	
2	122	ミズナラ	35.8	20.6	
3	123	ミズナラ	37.3	22.6	
4	124	ミズナラ	58.3	18.1	
5	125	ハリギリ	16.0	8.9	

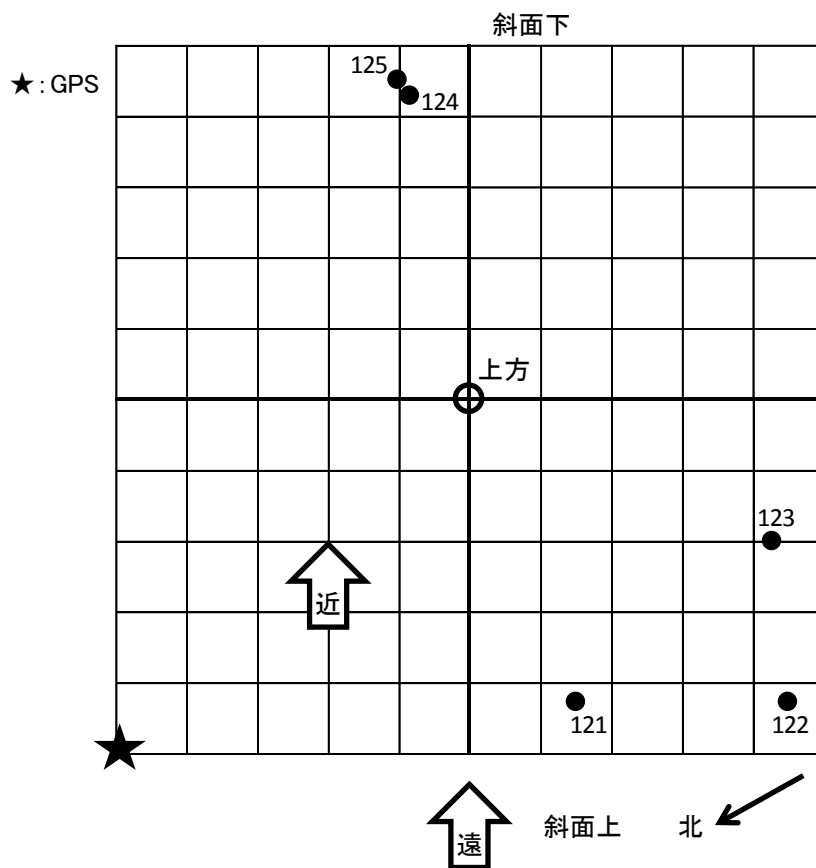


図 6-52

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではミズナラ、低木層ではハリギリ、草本層ではスゲ属の一種だった。

植生調査では24種の植物が確認された。

木本実生は、カラマツ、ウリハダカエデ、ミズナラ等8種が確認された。

表 6-58

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ミズナラ群落	高木層	ミズナラ	18~23	65
	亜高木層	-	-	-
	低木層	ハリギリ	9~9	5
	草本層	スゲ属の一種	0~0.2	30

備考：林内。亜高木層を欠く。

表 6-59

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	2	2	スゲ属の一種	カヤツリグサ	
2	+		カラマツ	マツ	20
3	+		ウリハダカエデ	カエデ	10
4	+		ミズナラ	ブナ	5
5	+		ミヤコザサ	イネ	5
6	+		イロハモミジ	カエデ	5
7	+		ウリハダカエデ	カエデ	5
8	+		ミズメ	カハノキ	5
9	+		モミジイチゴ	バラ	5
10	+		ウラジロモミ	マツ	3
11	+		ミズ	イラクサ	
12	+		シロバナノヘビイチゴ	バラ	
13	+		タニギキョウ	キキョウ	
14	+		イヌトウバナ	ソウ	
15	+		コナスビ	サクラソウ	
16	+		タチツボスミレ	スミレ	
17	+		オオバコ	オオバコ	
18	+		ヤマカモジグサ	イネ	
19	+		サルナシ	マタタビ	
20	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
21	+		クサイ	イグサ	
22	+		ヒメチドメ	セリ	
23	+		イワガラミ	ユキノシタ	
24	+		シロヨメナ	キク	

■ 写真

• 1030 林班



遠景



近景



中心部上方

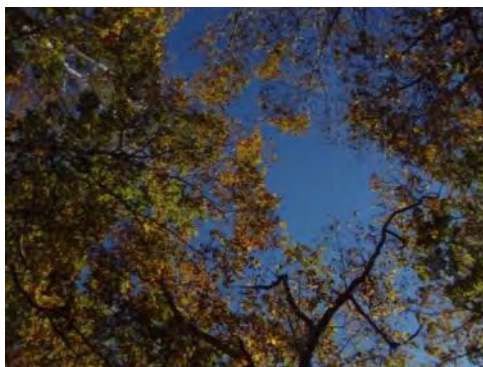
• 1030 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1031 林班 (No. 9 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-60 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-53 に示す。

カラマツ 5 本がプロット内に確認された。

表 6-60

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	126	カラマツ	26.0	25.7	
2	127	カラマツ	34.3	25.4	
3	128	カラマツ	27.0	26.1	
4	129	カラマツ	35.0	26.7	
5	130	カラマツ	23.7	23.6	

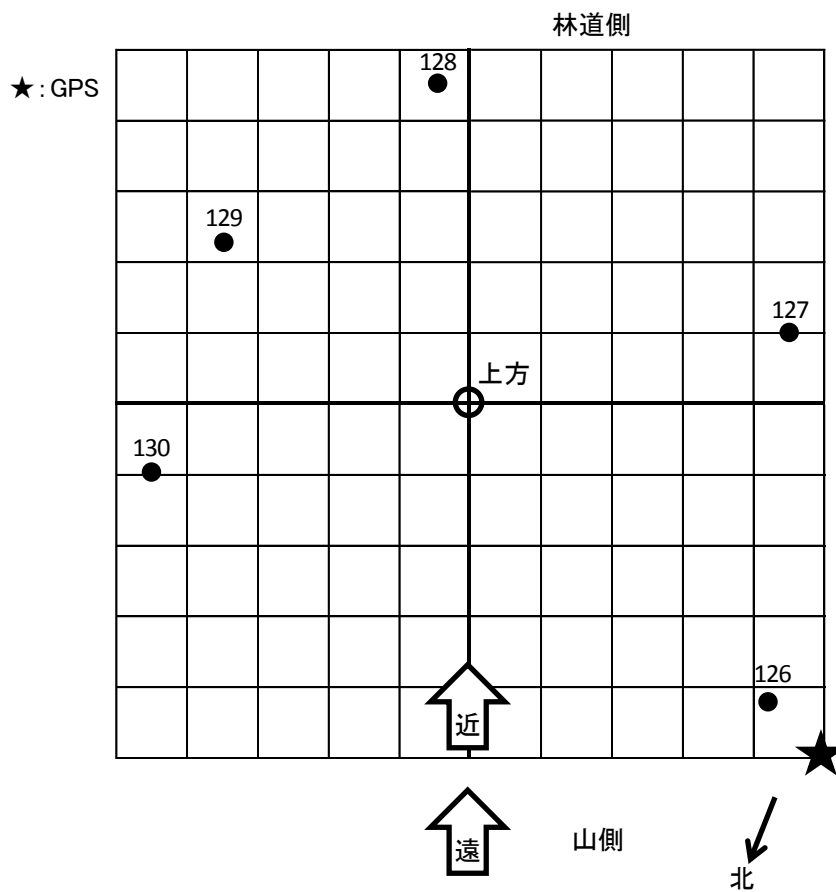


図 6-53

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではカラマツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では 20 種の植物が確認された。

木本実生は、ウリハダカエデ、キハダ、ミヤマザクラ等 4 種が確認された。

表 6-61

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
カラマツ植林	高木層	カラマツ	23~27	60
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	95

備考：林内。カラマツ植林内なので、種子供給源がなく木本実生が殆どない。亜高木層、低木層を欠く。

表 6-62

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	2	2	ミヤコザサ	イネ	10
3	2	2	イネ科の一種	イネ	
4	2	2	スゲ属の一種	カヤツリグサ	
5	1	2	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
6	+		ウリハダカエデ	カエデ	10
7	+		キハダ	ミカン	5
8	+		ミヤマザクラ	バラ	5
9	+		ズミ	バラ	3
10	+		ミヤマタニタデ	アカバナ	
11	+		コミヤマカタバミ	カタバミ	
12	+		ヘビノネゴザ	イワテンダ	
13	+		イワガラミ	ユキノシタ	
14	+		ズダヤクシュ	ユキノシタ	
15	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
16	+		ミヤマワラビ	ヒメシダ	
17	+		ツボスミレ	スミレ	
18	+		コナスビ	サクラソウ	
19	+		ツルニガクサ	シソ	
20	+		タチツボスミレ	スミレ	

1031 林班 (No. 9 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-63 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-54 に示す。

カラマツ 6 本がプロット内に確認された。

表 6-63

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	131	カラマツ	31.7	26.9	
2	132	カラマツ	34.3	27.8	
3	133	カラマツ	30.8	26.2	
4	134	カラマツ	19.8	20.8	
5	135	カラマツ	27.0	25.5	
6	136	カラマツ	22.3	22.6	

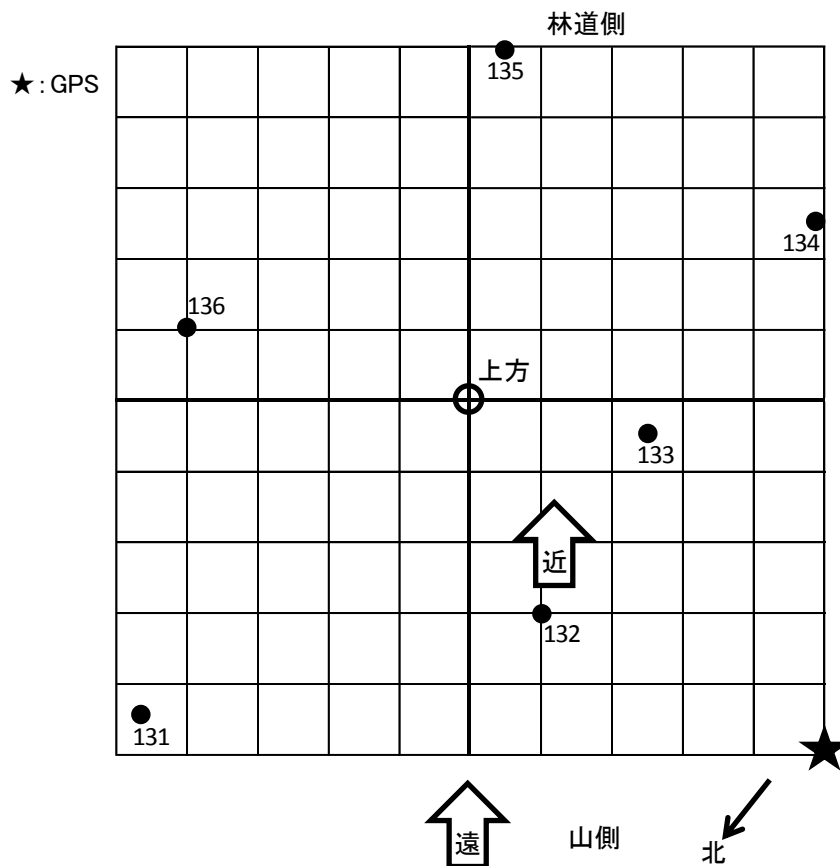


図 6-54

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではカラマツ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では20種の植物が確認された。

木本実生は、カラマツ、ミズメ、モミジイチゴ等4種が確認された。

表 6-64

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
カラマツ植林	高木層	カラマツ	21~28	60
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	95

備考：林内。カラマツ植林内なので、種子供給源がなく木本実生が殆どない。亜高木層、低木層を欠く。

表 6-64

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	2	2	ミヤコザサ	イネ	10
3	2	2	ヤマカモジグサ	イネ	
4	2	2	スゲ属の一種	カヤツリグサ	
5	1	2	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
6	+		カラマツ	マツ	5
7	+		ミズメ	カハノキ	5
8	+		モミジイチゴ	バラ	5
9	+		エビガライチゴ	バラ	5
10	+		ミヤマイボタ	モクセイ	
11	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
12	+		ミツバツチグリ	バラ	
13	+		タチツボスミレ	スミレ	
14	+		ヨツバムグラ	アカネ	
15	+		イワガラミ	ユキノシタ	
16	+		ズダヤクシュ	ユキノシタ	
17	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
18	+		コナスビ	サクラソウ	
19	+		イヌトウバナ	シソ	
20	+		サルナシ	マタヒ	

■ 写真

• 1031 林班



遠景



近景



中心部上方

• 1031 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1034 林班 (No.10 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-65 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-55 に示す。

シラカンバ 7 本がプロット内に確認された。

表 6-65

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	137	シラカンバ	15.6	15.3	二又
			9.8	9.8	
2	138	シラカンバ	14.3	14.2	
3	139	シラカンバ	11.1	8.2	先枯れ
4	140	シラカンバ	20.1	19.4	二又
			9.3	6.6	
5	141	シラカンバ	22.2	18.7	二又
			14.2	15.5	
6	142	シラカンバ	12.7	13.0	
7	143	シラカンバ	9.6	5.1	上部枯れ

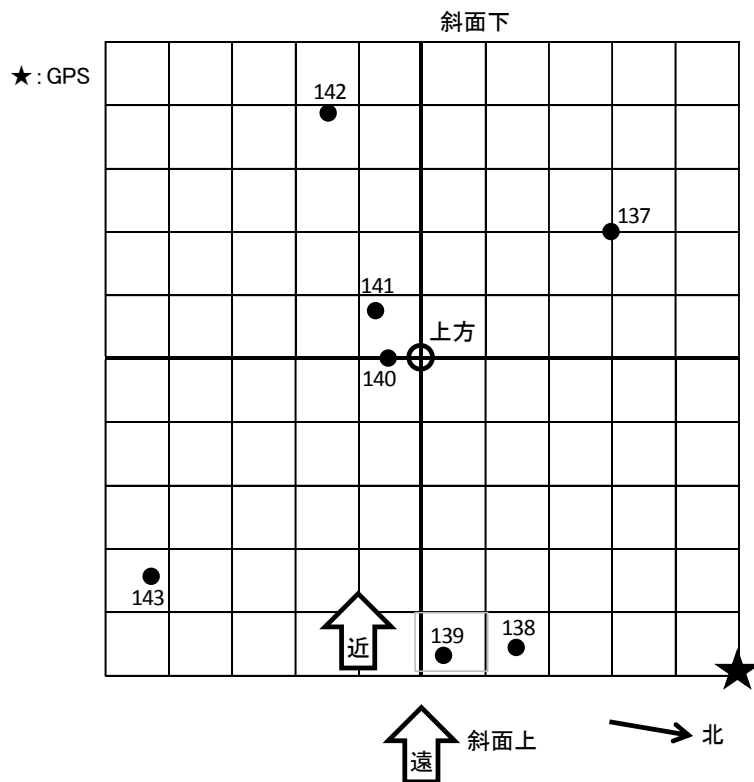


図 6-55

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層、低木層ではシラカンバ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では36種の植物が確認された。

木本実生は、ウリハダカエデ、ハルニレ、ミズ等7種が確認された。

表 6-66

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
シラカンバ群落	高木層	シラカンバ	14~19	60
	亜高木層	-	-	-
	低木層	シラカンバ	5~8	5
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	80

備考：林内。亜高木層を欠く。

表 6-67

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	3	3	ヒカゲスゲ	カヤツリグサ	
3	1	1	イワガラミ	ユキノシタ	
4	1	1	ミヤコザサ	イネ	10
5	+		ウリハダカエデ	カエデ	20
6	+		ハルニレ	ニレ	5
7	+		ミズ	イラクサ	5
8	+		エビガライチゴ	バラ	5
9	+		モミジイチゴ	バラ	5
10	+		カラマツ	マツ	5
11	+		ズミ	バラ	5
12	+		タチツボスミレ	スミレ	
13	+		ヨツバムグラ	アネ	
14	+		ツボスミレ	スミレ	
15	+		サルナシ	マタヒ	
16	+		タマガワホトトギス	ユリ	
17	+		セントウソウ	セリ	
18	+		アザミ属の一種	キク	
19	+		ヤマカモジグサ	イネ	
20	+		イヌトウバナ	シソ	
21	+		タニタデ	アカバナ	
22	+		オオバコ	オオバコ	
23	+		コナスビ	サクラソウ	
24	+		ダイコンソウ	バラ	
25	+		ミツバツチグリ	バラ	
26	+		ヘビノネゴザ	イデノタ	
27	+		クサイ	イグサ	
28	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
29	+		アオスゲ	カヤツリグサ	
30	+		ツルウメモドキ	ニシキ	
31	+		ナギナタコウジュ	シソ	
32	+		タニギキョウ	キキョウ	
33	+		カリガネソウ	クマツヅラ	
34	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
35	+		ミヤマワラビ	ヒメタ	
36	+		シロバナノヘビイチゴ	バラ	

1034 林班 (No.10 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-68 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-56 に示す。

シラカンバ 6 本がプロット内に確認された。

表 6-68

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	144	シラカンバ	15.5	8.1	先折れ
2	145	シラカンバ	14.7	10.5	傾斜木
3	146	シラカンバ	13.9	11.8	
4	147	シラカンバ	14.1	13.4	
5	148	シラカンバ	23.3	21.5	
6	149	シラカンバ	21.8	16.4	
			9.9	9.5	

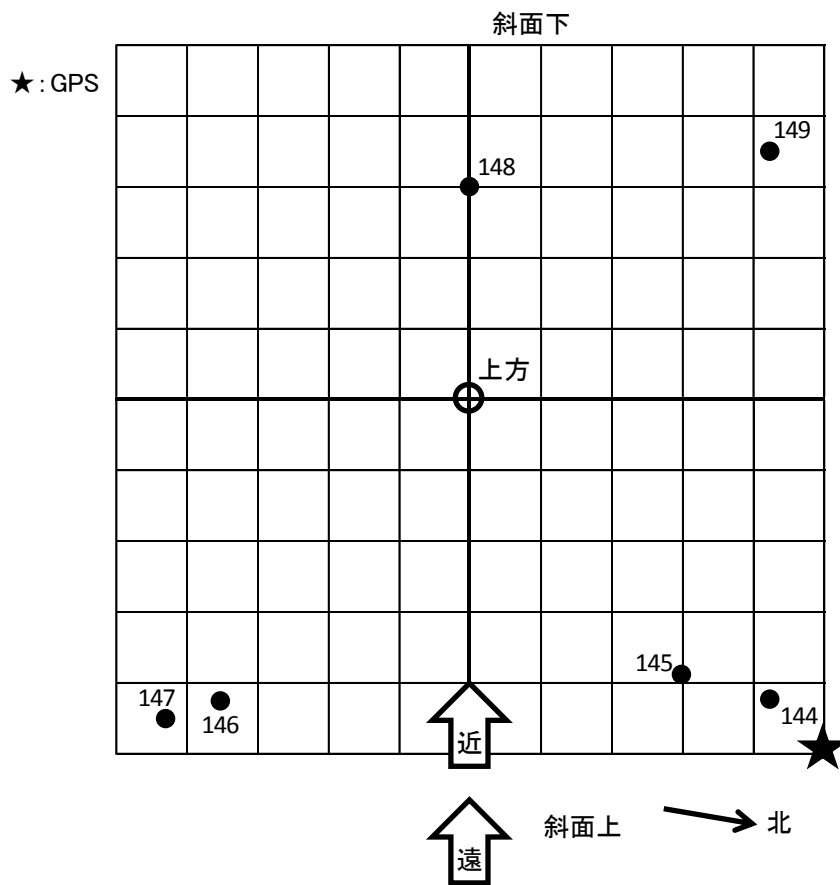


図 6-56

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層、亜高木層ではシラカンバ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では34種の植物が確認された。

木本実生は、カラマツ、ニシキウツギ、シラカンバ等5種が確認された。

表 6-69

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
シラカンバ群落	高木層	シラカンバ	20~23	25
	亜高木層	シラカンバ	14~16	30
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	90

備考：林内。低木層を欠く。

表 6-70

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	4	4	シロヨメナ	キ	
2	3	3	ヒカゲスゲ	カヤツグサ	
3	2	2	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
4	1	1	ヤマカモジグサ	イネ	
5	+		カラマツ	マツ	50
6	+		ニシキウツギ	スズラン	10
7	+		シラカンバ	カバノキ	5
8	+		ハリギリ	ウコギ	5
9	+		エビガライチゴ	バラ	5
10	+		ズダヤクシュ	ユキノシタ	
11	+		タチツボスミレ	スミレ	
12	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
13	+		ヘビノネゴザ	イデノタ	
14	+		イヌトウバナ	シ	
15	+		オオバノヤエムグラ	アカネ	
16	+		ノミノフスマ	ナデシ	
17	+		サルナシ	マタビ	
18	+		クサイ	イグサ	
19	+		イワガラミ	ユキノシタ	
20	+		コナスビ	サクラソウ	
21	+		ヒメチドメ	セリ	
22	+		イタドリ	タデ	
23	+		イワハタザオ	アブラナ	
24	+		ワチガイソウ	ナデシ	
25	+		ダイコンソウ	バラ	
26	+		イ	イグサ	
27	+		ツボスミレ	スミレ	
28	+		ミヤマタニタデ	アカバナ	
29	+		イタドリ	タデ	
30	+		セントウソウ	セリ	
31	+		ヤマヌカボ	イネ	
32	+		ミズ	イグサ	
33	+		ミヤマワラビ	ヒメシタ	
34	+		イヌタデ	タデ	

■ 写真

• 1034 林班



遠景



近景



中心部上方

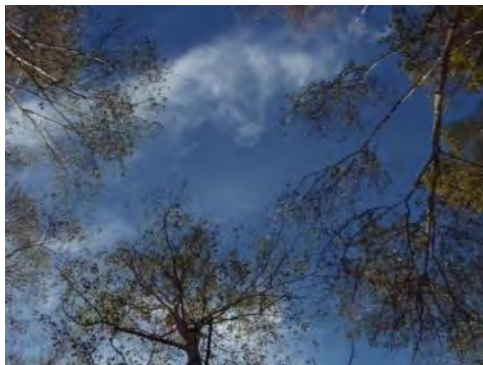
• 1034 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1036 林班 (No.11 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査対象の樹木はなかった。

写真撮影位置 (遠景、近景、上方) 等を図 2-57 に示す。

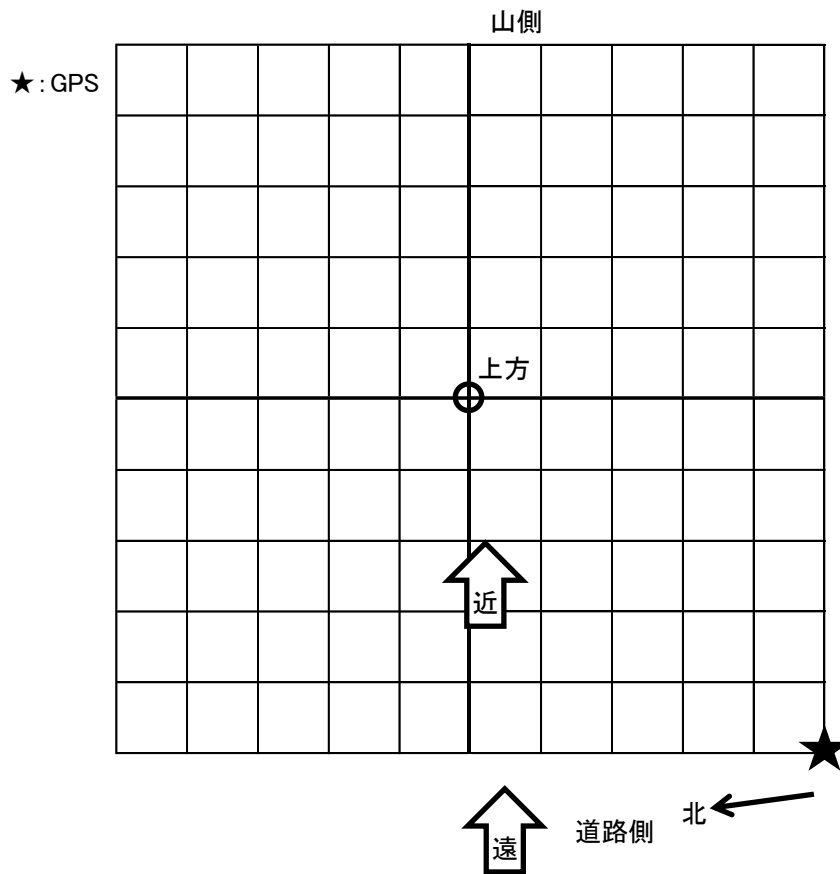


図 6-57

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では 26 種の植物が確認された。

木本実生は、カラマツ、モミジイチゴ、ミヤマイボタの 3 種が確認された。

表 6-71

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
シロヨメナ群落	高木層	-	-	-
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	90

備考：ギャップ、高木層、亜高木層、低木層を欠く。

表 6-72

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	5	5	シロヨメナ	キ	
2	1	1	ヒカゲスゲ	カヤツクゲサ	
3	1	1	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
4	1	1	ナギナタコウジュ	シ	
5	1	1	エナシヒゴクサ	カヤツクゲサ	
6	1	1	コシロネ	シ	
7	+		ミヤコザサ	イネ	10
8	+		カラマツ	マツ	5
9	+		モミジイチゴ	バラ	5
10	+		ミヤマイボタ	モクセイ	5
11	+		ノミノフスマ	ナデシ	
12	+		コナスビ	サクラソウ	
13	+		ヘビノネゴザ	イリテンダ	
14	+		クサイ	イグサ	
15	+		イ	イグサ	
16	+		イヌタデ	タデ	
17	+		ミツモトソウ	バラ	
18	+		ミズ	イラクサ	
19	+		タチツボスミレ	スミレ	
20	+		カタバミ	カタバミ	
21	+		クルマムグラ	アカネ	
22	+		ヨツバムグラ	アカネ	
23	+		アオスゲ	カヤツクゲサ	
24	+		オランダミミナグサ	ナデシ	
25	+		アキノウナギツカミ	タデ	
26	+		ミツバツチグリ	バラ	

1036 林班 (No.11 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査対象の樹木はなかった。

写真撮影位置 (遠景、近景、上方) 等を図 2-58 に示す。

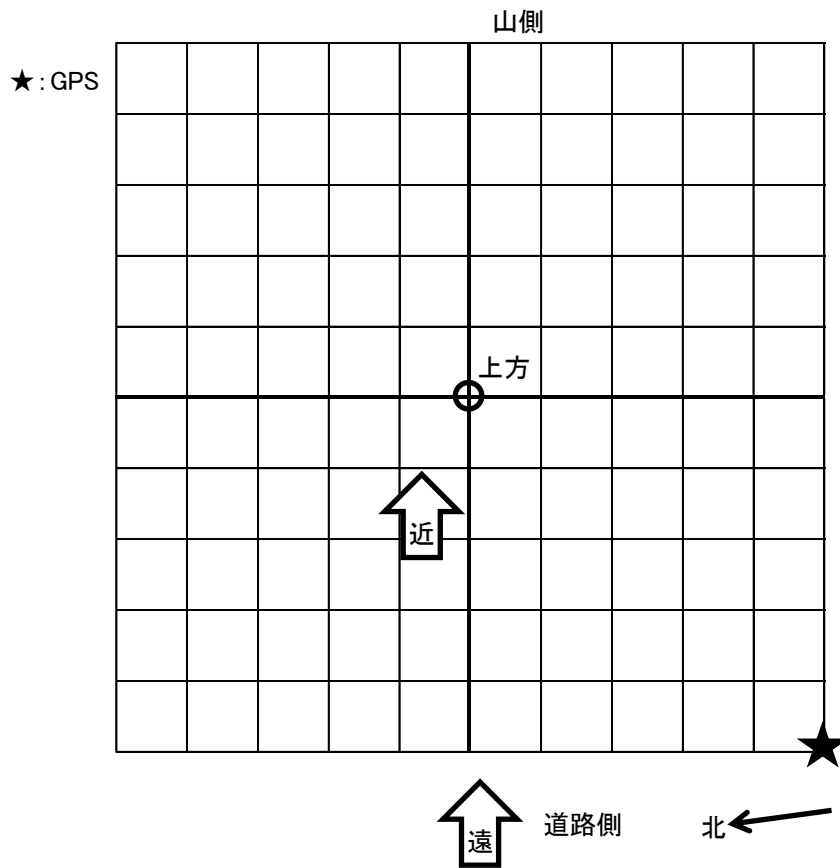


図 6-58

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では20種の植物が確認された。

木本実生は、カラマツ、ツクバネウツギ、ニシキギの3種が確認された。

表 6-73

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
シロヨメナ群落	高木層	-	-	-
	亜高木層	-	-	-
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.7	95

備考：ギャップ。高木層、亜高木層、低木層を欠く。

表 6-74

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	2	2	エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
3	2	2	コシロネ	シソ	
4	2	2	トボシガラ	イネ	
5	1	1	イ	イグサ	
6	1	1	カラマツソウ	キンポウゲ	
7	1	1	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
8	+		カラマツ	マツ	50
9	+		ツクバネウツギ	スイカスラ	20
10	+		ミヤコザサ	イネ	10
11	+		ニシキギ	ニシキギ	5
12	+		クサイ	イグサ	
13	+		ミツバツチグリ	バラ	
14	+		ミツモトソウ	バラ	
15	+		イヌトウバナ	シソ	
16	+		オランダミミナグサ	ナデシコ	
17	+		コナスビ	サクラソウ	
18	+		ヨツバムグラ	アカネ	
19	+		シバ	イネ	
20	+		イケマ	ガガイト	

■ 写真

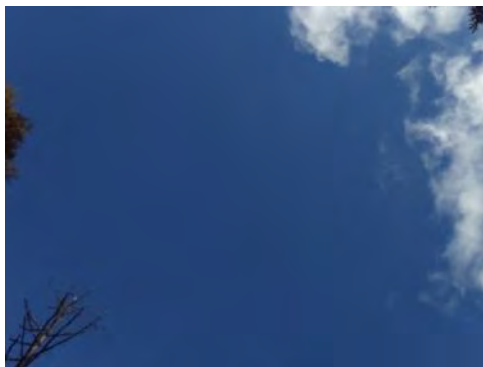
• 1036 林班



遠景



近景



中心部上方

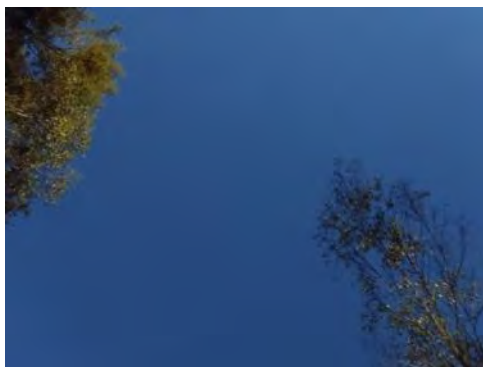
• 1036 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1111 林班 (No.12 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-75 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-59 に示す。

ハルニレ 3 本、ミズナラ 1 本、キハダ 1 本、ズミ 1 本の合計 6 本がプロット内に確認された。

表 6-75

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	45	ハルニレ	45.8	27.3	
2	46	ミズナラ	20.8	12.6	二又
			16.4	7.5	
3	47	ハルニレ	33.0	20.8	
4	48	キハダ	17.9	8.8	
5	49	ハルニレ	84.0	31.3	
6	50	ズミ	24.5	10.7	

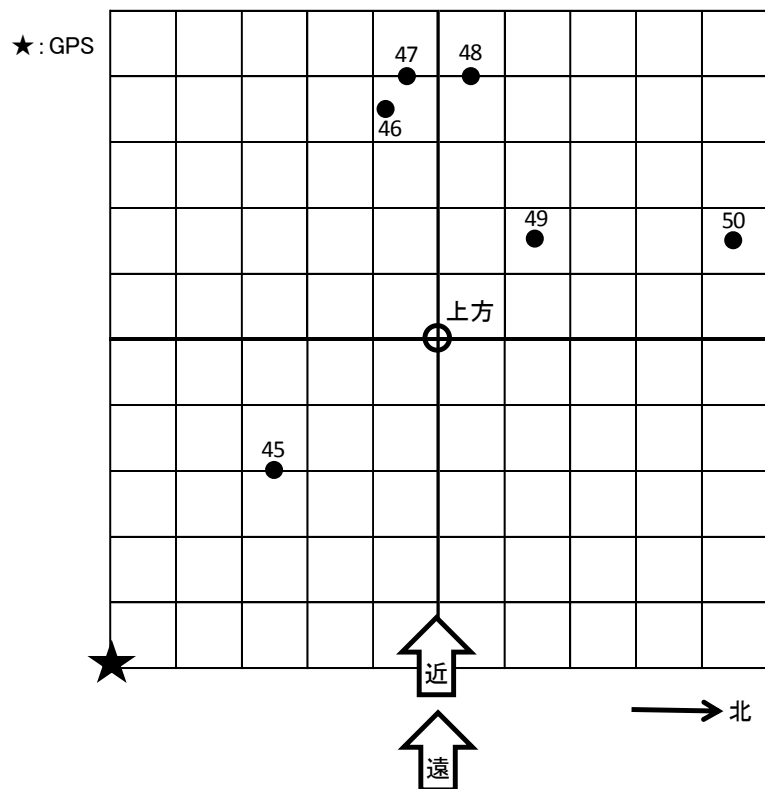


図 6-59

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではハルニレ、亜高木層ではミズナラ、低木層ではズミ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では28種の植物が確認された。

木本実生は、ニシキギ、ミヤマイボタ、ミズキ等6種が確認された。

表 6-76

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ハルニレ群落	高木層	ハルニレ	20~31	85
	亜高木層	ミズナラ	10~13	35
	低木層	ズミ	8~11	15
	草本層	シロヨメナ	0~0.7	65

備考：林内。

表 6-77

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	2	2	ナギナタコウジュ	シソ	
3	1	2	セントウソウ	セリ	
4	1	1	シロバナノヘビイチゴ	バラ	
5	+	2	ヒメチドメ	セリ	
6	+		ニシキギ	ニシキギ	5
7	+		ミヤマイボタ	モクセイ	5
8	+		ミズキ	ミズキ	5
9	+		サワフタギ	ハイノキ	5
10	+		イロハモミジ	カエデ	3
11	+		コシアブラ	ウコギ	3
12	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
13	+		コナスビ	サクラソウ	
14	+		オオバノヤエムグラ	アカネ	
15	+		コチャルメルソウ	エキノシタ	
16	+		サワギク	キク	
17	+		タチツボスミレ	スミレ	
18	+		ミツバツチグリ	バラ	
19	+		ヤマカモジグサ	イネ	
20	+		ネコノメソウ	エキノシタ	
21	+		ミズ	イラクサ	
22	+		オトギリソウ	オトギリソウ	
23	+		フモトスミレ	スミレ	
24	+		カラマツソウ	キンポウゲ	
25	+		ヤマルリソウ	ムラサキ	
26	+		タニタデ	アカバナ	
27	+		イヌトウバナ	シソ	
28	+		ヨツバムグラ	アカネ	

1111 林班 (No.12 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-78 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-60 に示す。

ハルニレ 4 本、シラカンバ 1 本、サワフタギ 1 本の合計 6 本がプロット内に確認された。

表 6-78

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	51	ハルニレ	38.3	20.1	
2	52	ハルニレ	25.6	14.9	
3	53	ハルニレ	47.2	25.6	
4	54	シラカンバ	45.5	20.6	8m 位にキツツキの巣跡
5	55	サワフタギ	23.3	6.9	
6	56	ハルニレ	38.7	20.3	

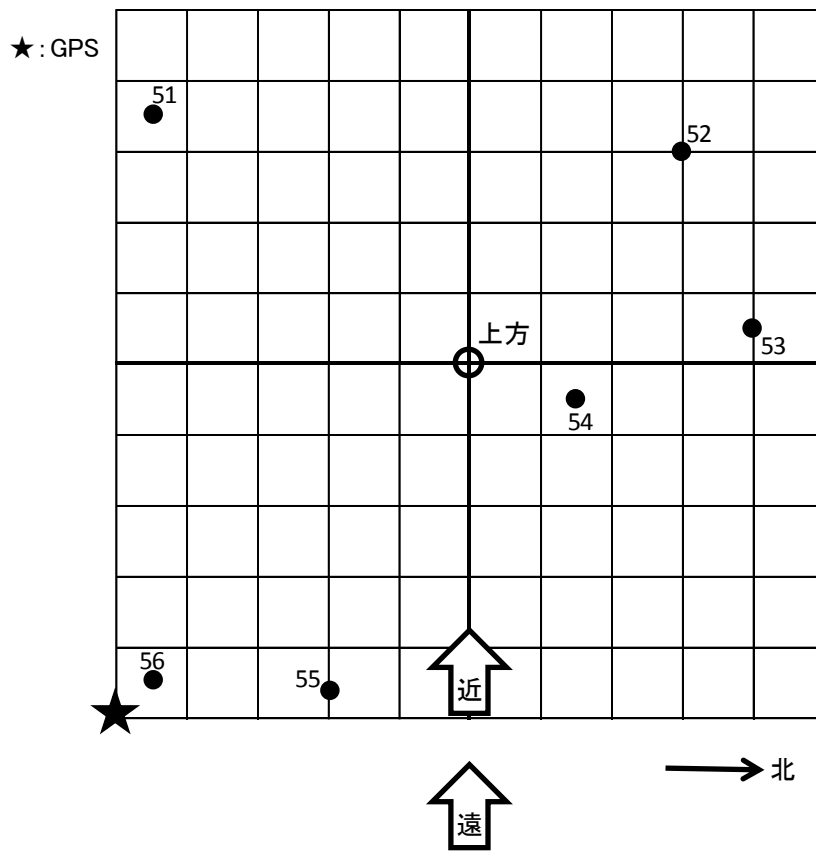


図 6-60

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層、亜高木層ではハルニレ、低木層ではサワフタギ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では33種の植物が確認された。

木本実生は、サワフタギ、ミヤマイボタ、ニシキギ等5種が確認された。

表 6-79

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ハルニレ群落	高木層	ハルニレ	20~26	70
	亜高木層	ハルニレ	15~15	20
	低木層	サワフタギ	7~7	10
	草本層	シロヨメナ	0~0.6	70

備考：林内。

表 6-80

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	4	4	シロヨメナ	キク	
2	2	2	ナギナタコウジュ	シソ	
3	1	2	ヒメチドメ	セリ	
4	1	1	セントウソウ	セリ	
5	+		サワフタギ	ハイキ	5
6	+		ミヤマイボタ	モクセイ	5
7	+		ニシキギ	ニシキギ	5
8	+		ズミ	バラ	3
9	+		イロハモミジ	カエデ	3
10	+		ミズ	イラクサ	
11	+		イヌトウバナ	シソ	
12	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
13	+		タニギキョウ	キキョウ	
14	+		サワギク	キク	
15	+		イワウメヅル	ニシキギ	
16	+		ヨツバムグラ	アカネ	
17	+		フモトスミレ	スミレ	
18	+		ネコノメソウ	ユキノシタ	
19	+		ツメクサ	ナデシコ	
20	+		タチツボスミレ	スミレ	
21	+		コナスビ	サクラソウ	
22	+		ヘビイチゴ	バラ	
23	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
24	+		オトギリソウ	オトギリソウ	
25	+		ヤマカモジグサ	イネ	
26	+		ヨツバムグラ	アカネ	
27	+		ツボスミレ	スミレ	
28	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
29	+		スゲ属の一種	カヤツリグサ	
30	+		ワチガイソウ	ナデシコ	
31	+		ヘビノネゴザ	イワタバコ	
32	+		タニタデ	アカバナ	
33	+		イヌタデ	タデ	

■ 写真

• 1111 林班



遠景



近景



中心部上方

• 1111 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1112 林班 (No.13 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-81 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-61 に示す。

ミズナラ 3 本、イロハモミジ 2 本、ハリギリ 1 本、オオモミジ 1 本、アズキナシ 1 本の合計 8 本がプロット内に確認された。

表 6-81

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	22	ミズナラ	23.0	22.2	
2	23	ミズナラ	21.0	15.6	
3	24	ハリギリ	29.2	20.8	
4	25	オオモミジ	11.8	9.1	
			6.5	5.8	
5	26	ミズナラ	104.5	29.6	
6	27	イロハモミジ	19.9	9.6	斜立木
7	28	アズキナシ	20.2	15.8	
8	29	イロハモミジ	10.1	13.1	

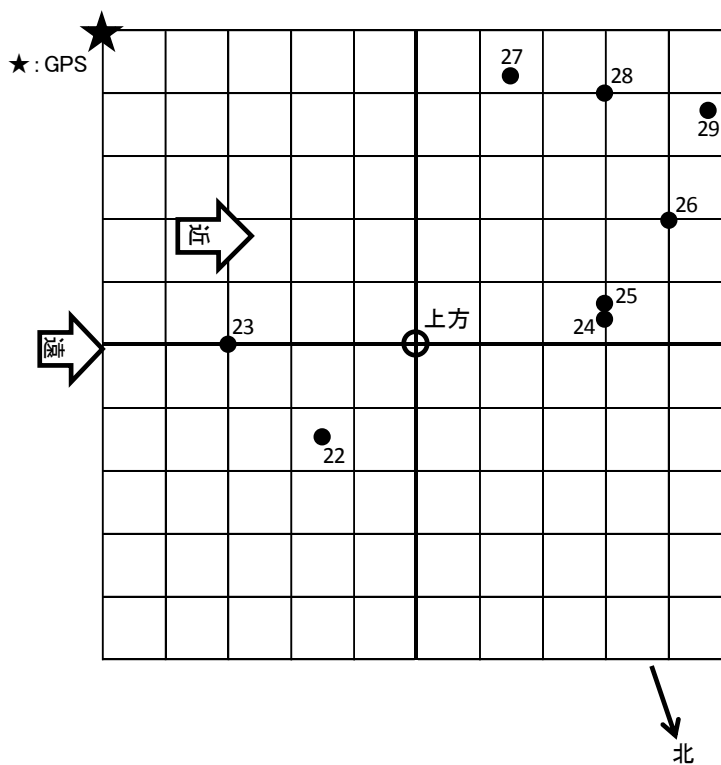


図 6-61

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではミズナラ、亜高木層ではイロハモミジ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では32種の植物が確認された。

木本実生は、サワフタギ、ツリバナ、ウワミズザクラ等11種が確認された。

表 6-82

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ミズナラ群落	高木層	ミズナラ	16~30	80
	亜高木層	イロハモミジ	10~13	30
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.4	5

備考：林内。数 cm の木本個体多い。低木層を欠く。

表 6-83

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	1	1	シロヨメナ	キク	
2	+		サワフタギ	ハイキ	5
3	+		ツリバナ	ニシキギ	5
4	+		ミヤコザサ	イネ	5
5	+		ウワミズザクラ	バラ	5
6	+		イタヤカエデ	カエデ	3
7	+		ウラジロモミ	マツ	3
8	+		ウリカエデ	カエデ	3
9	+		キハダ	ミカン	3
10	+		ズミ	バラ	3
11	+		ミズナラ	ブナ	3
12	+		ミヤマイボタ	モクセイ	3
13	+		イロハモミジ	カエデ	3
14	+		タチツボスミレ	スミレ	
15	+		イヌトウバナ	シソ	
16	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
17	+		ツルマサキ	ニシキギ	
18	+		コナスビ	サクラソウ	
19	+		キオン	キク	
20	+		オニタビラコ	キク	
21	+		ミヤマスミレ	スミレ	
22	+		ヨツバムグラ	アカネ	
23	+		シロバナノヘビイチゴ	バラ	
24	+		ツルニガクサ	シソ	
25	+		カニコウモリ	キク	
26	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
27	+		ヒメチドメ	セリ	
28	+		ミズ	イラクサ	
29	+		ミツバツチグリ	バラ	
30	+		サワギク	キク	
31	+		スゲ属の一種	カヤツリグサ	
32	+		フモトスミレ	スミレ	

ウラジロモミが多かった。

1112 林班 (No.13 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-84 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-62 に示す。

ウワミズザクラ 1 本、イロハモミジ 1 本、ミズナラ 1 本の合計 3 本がプロット内に確認された。

表 6-84

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	30	ウワミズザクラ	25.2	16.6	
2	31	イロハモミジ	16.0	12.7	
3	32	ミズナラ	105.1	24.0	

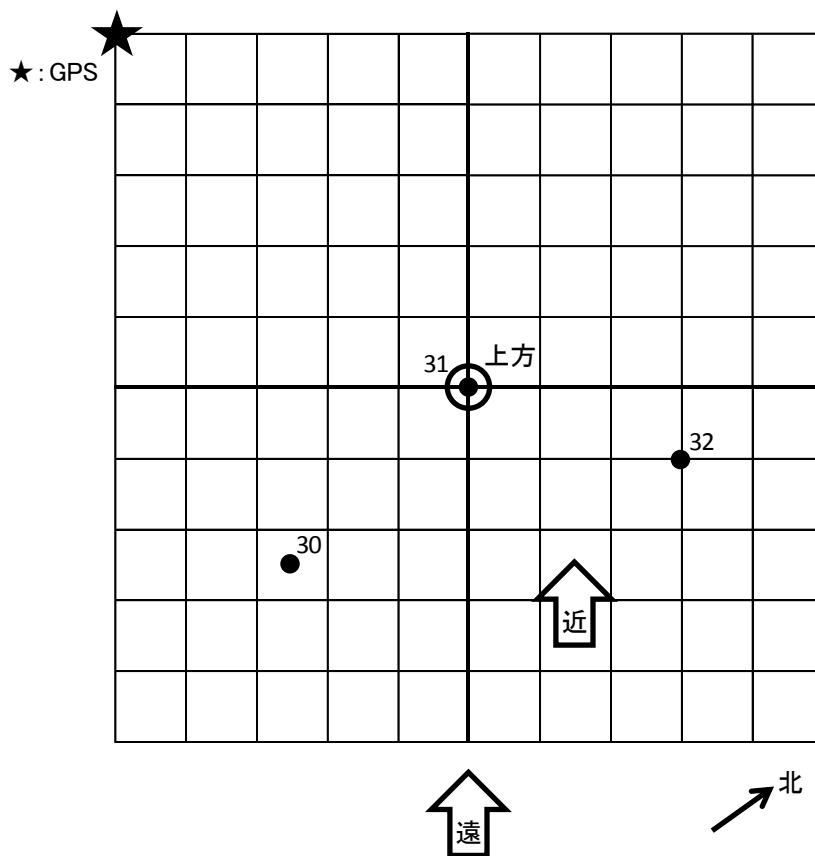


図 6-62

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではミズナラ、亜高木層ではイロハモミジ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では34種の植物が確認された。

木本実生は、ヒロハヘビノボラズ、ズミ、ミズナラ等13種が確認された。

表 6-85

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ミズナラ群落	高木層	ミズナラ	24~24	75
	亜高木層	イロハモミジ	13~13	30
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.4	10

備考：林内。数 cm の木本個体多い。低木層を欠く。

表 6-86

No.	被度	群度	種名	科名	高さ(cm)
1	1	1	シロヨメナ	キク	
2	+		ミヤコザサ	イネ	5
3	+		ヒロハヘビノボラズ	メギ	5
4	+		ズミ	バラ	5
5	+		ミズナラ	ブナ	5
6	+		ミヤマウグイスカグラ	スサナギ	5
7	+		イロハモミジ	カエデ	3
8	+		ウリカエデ	カエデ	3
9	+		ウワミズザクラ	バラ	3
10	+		サワシバ	カバノキ	3
11	+		キハダ	ミカン	3
12	+		サワフタギ	ハイノキ	3
13	+		ウラジロモミ	マツ	3
14	+		ツリバナ	ニシキギ	3
15	+		コシアブラ	ウコギ	3
16	+		ヤマカモジグサ	イネ	
17	+		キオン	キク	
18	+		コナスビ	サクラソウ	
19	+		ツボスミレ	スミレ	
20	+		アオスゲ	カヤツリグサ	
21	+		ヒメチドメ	セリ	
22	+		イワガラミ	ユキノシタ	
23	+		ツルウメモドキ	ニシキギ	
24	+		ミヤマスミレ	スミレ	
25	+		エナシヒゴクサ	カヤツリグサ	
26	+		ツタウルシ	ウルシ	
27	+		ツルマサキ	ニシキギ	
28	+		タニギキョウ	キキョウ	
29	+		サワギク	キク	
30	+		サルナシ	マタヒ	
31	+		ツルニガクサ	ソ	
32	+		スゲ属の一種	カヤツリグサ	
33	+		オオバコ	オオバコ	
34	+		カニコウモリ	キク	

■ 写真

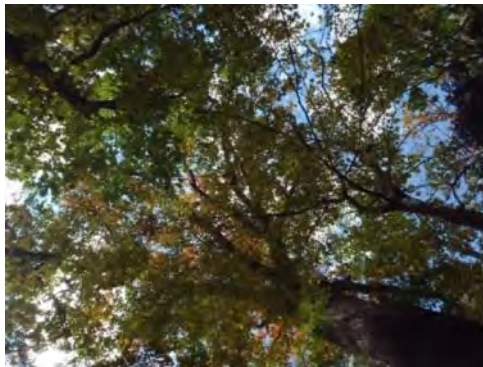
• 1112 林班



遠景



近景



中心部上方

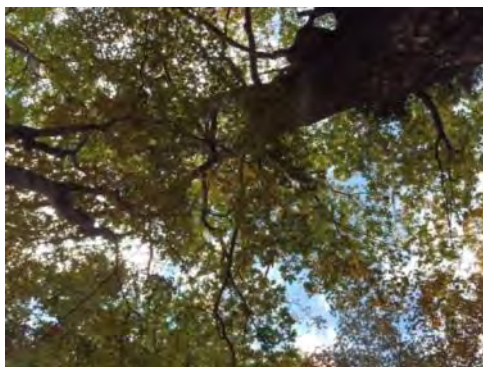
• 1112 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1113 林班 (No.14 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-87 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-63 に示す。

ウラジロモミ 2 本、ハルニレ 1 本、イタヤカエデ 1 本、コハウチワカエデ 1 本、サワシバ 1 本の合計 6 本がプロット内に確認された。

表 6-87

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	33	ハルニレ	47.6	19.5	
2	34	ウラジロモミ	51.1	23.5	
3	35	イタヤカエデ	7.0	7.3	
4	36	コハウチワカエデ	9.2	6.2	
5	37	サワシバ	8.5	10.2	
6	38	ウラジロモミ	42.0	17.3	

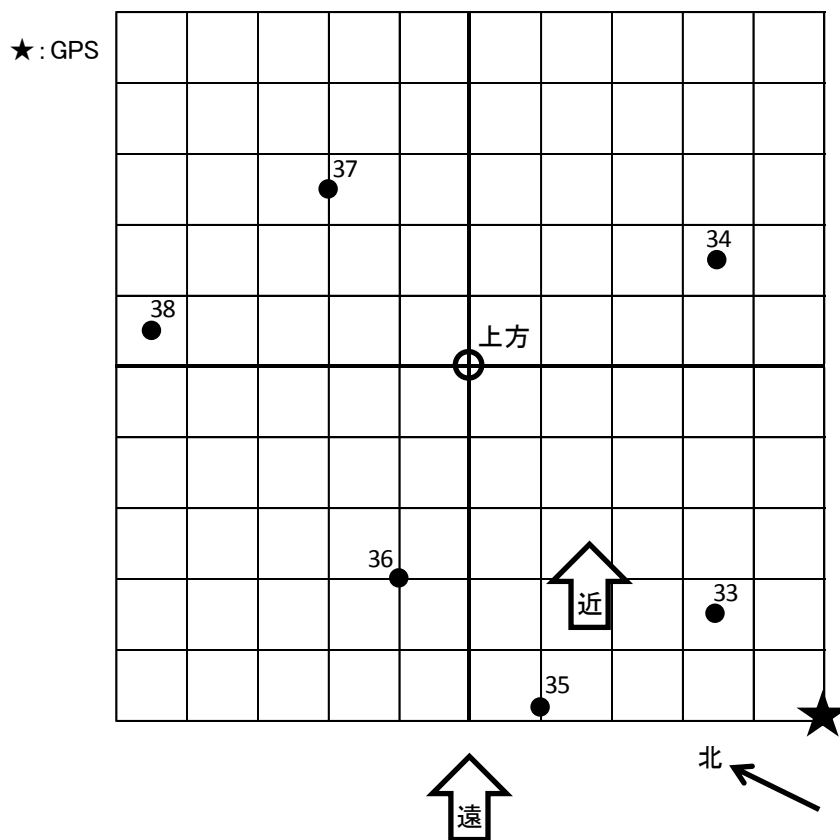


図 6-63

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではハルニレ、亜高木層ではサワシバ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では27種の植物が確認された。

木本実生は、コハウチワカエデ、ハウチワカエデ、アズキナシ等12種が確認された。

表 6-88

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ハルニレ・ウラジロモミ群落	高木層	ハルニレ	20~20	80
	亜高木層	サワシバ	10~10	30
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.6	20

備考：林内。針広混交林。数 cm の木本実生が多い。低木層を欠く。

表 6-89

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	2	2	シロヨメナ	キク	
2	1	2	セントウソウ	セリ	
3	1	2	ミヤマスマレ	スミレ	
4	1	1	コハウチワカエデ	カエデ	5
5	+		ハウチワカエデ	カエデ	5
6	+		アズキナシ	バラ	3
7	+		イヌシデ	カバノキ	3
8	+		イタヤカエデ	カエデ	3
9	+		ミヤマイボタ	モクセイ	3
10	+		ウリハダカエデ	カエデ	3
11	+		イロハモミジ	カエデ	3
12	+		サワグルミ	クルミ	3
13	+		サワフタギ	ハイキ	3
14	+		ウラジロモミ	マツ	3
15	+		ウリカエデ	カエデ	3
16	+		ツルマサキ	ニシキギ	
17	+		イヌトウバナ	シソ	
18	+		フシグロセンノウ	ナデシコ	
19	+		フデリンドウ	リンドウ	
20	+		ツマトリソウ	サクラソウ	
21	+		ツルアジサイ	ユキシタ	
22	+		サルナシ	マタビ	
23	+		フモトスマレ	スミレ	
24	+		サワギク	キク	
25	+		タニギキョウ	キキョウ	
26	+		ツルニガクサ	シソ	
27	+		サワシバ	カバノキ	

1113 林班 (No.14 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-90 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-64 に示す。

コハウチワカエデ 2 本、ハウチワカエデ 2 本、ハルニレ 1 本、ウラジロモミ 1 本の合計 6 本がプロット内に確認された。

表 6-90

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	39	ハルニレ	69.8	30.3	
2	40	コハウチワカエデ	11.0	10.5	
3	41	コハウチワカエデ	32.5	21.9	
4	42	ハウチワカエデ	21.9	17.5	
5	43	ハウチワカエデ	28.8	19.5	
6	44	ウラジロモミ	45.3	14.2	欠頂木

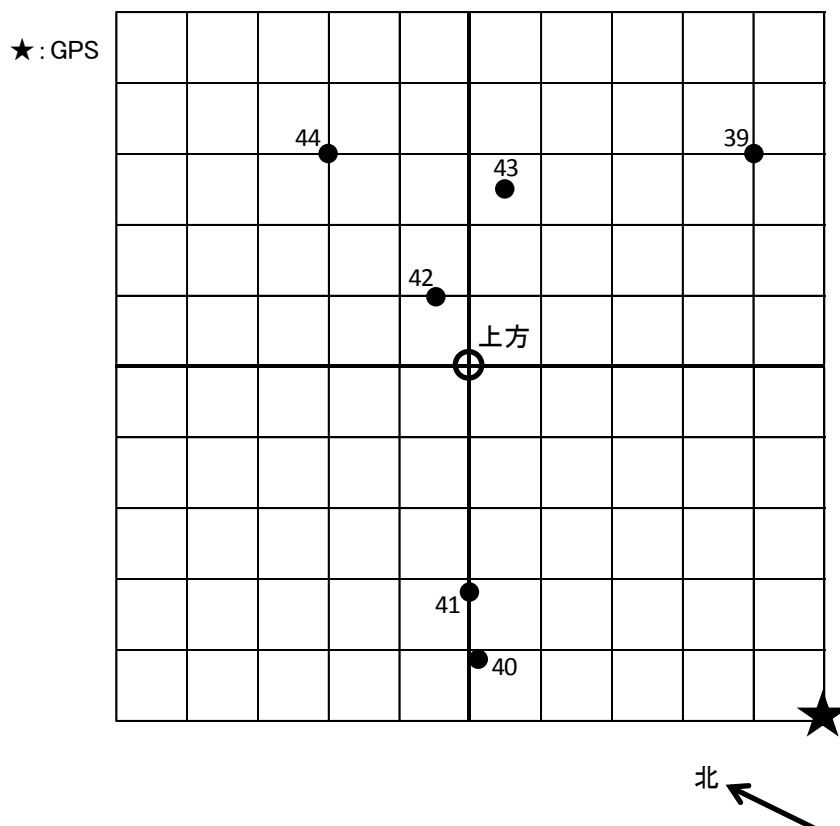


図 6-64

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではハルニレ、亜高木層ではウラジロモミ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では34種の植物が確認された。

木本実生は、コハウチワカエデ、サワグルミ、ハウチワカエデ等14種が確認された。

表 6-91

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ハルニレ・ウラジロモミ群落	高木層	ハルニレ	30~30	40
	亜高木層	ウラジロモミ	14~14	50
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.6	35

備考：林内。針広混交林。数 cm の木本実生が多い。低木層を欠く。

表 6-92

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	2	2	シロヨメナ	キク	
2	1	2	コハウチワカエデ	カエデ ^o	5
3	1	2	ミヤマスマレ	スレ	
4	1	1	ツルニガクサ	ソ	
5	+		サワグルミ	クルミ	5
6	+		ハウチワカエデ	カエデ ^o	5
7	+		イタヤカエデ	カエデ ^o	5
8	+		イロハモミジ	カエデ ^o	5
9	+		アズキナシ	バラ	3
10	+		ウラジロノキ	バラ	3
11	+		ウリカエデ	カエデ ^o	3
12	+		ウリハダカエデ	カエデ ^o	3
13	+		コシアブラ	ウコギ ^o	3
14	+		ミヤマイボタ	モクセイ	3
15	+		ハリギリ	ウコギ ^o	3
16	+		ウラジロモミ	マツ	3
17	+		サワシバ	カハノキ	3
18	+		タニギキョウ	キキョウ	
19	+		ツルマサキ	ニシキギ ^o	
20	+		ヤマハリソウ	ムラサキ	
21	+		セントウソウ	セリ	
22	+		イヌトウバナ	ソ	
23	+		ツマトリソウ	サクラソウ	
24	+		コチャルメルソウ	エキシタ	
25	+		ツルウメモドキ	ニシキギ ^o	
26	+		イワガラミ	エキシタ	
27	+		フデリンドウ	リンドウ	
28	+		フモトスマレ	スレ	
29	+		サワギク	キク	
30	+		コナスビ	サクラソウ	
31	+		ヘビノネゴザ	イワゲ ^o ンダ ^o	
32	+		センニンソウ	キンポウゲ ^o	
33	+		サルナシ	マタヒ ^o	
34	+		キオン	キク	

■ 写真

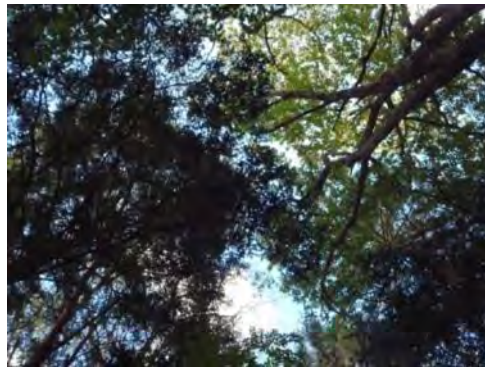
• 1113 林班



遠景



近景



中心部上方

• 1113 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

1114 林班 (No.15 調査区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-93 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-65 に示す。

サワフタギ 2 本、ハルニレ 1 本、コハウチワカエデ 1 本の合計 4 本がプロット内に確認された。

表 6-93

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	16	サワフタギ	14.5	6.8	
2	17	ハルニレ	71.5	27.4	
3	18	サワフタギ	13.9	3.1	
4	19	コハウチワカエデ	26.9	14.3	

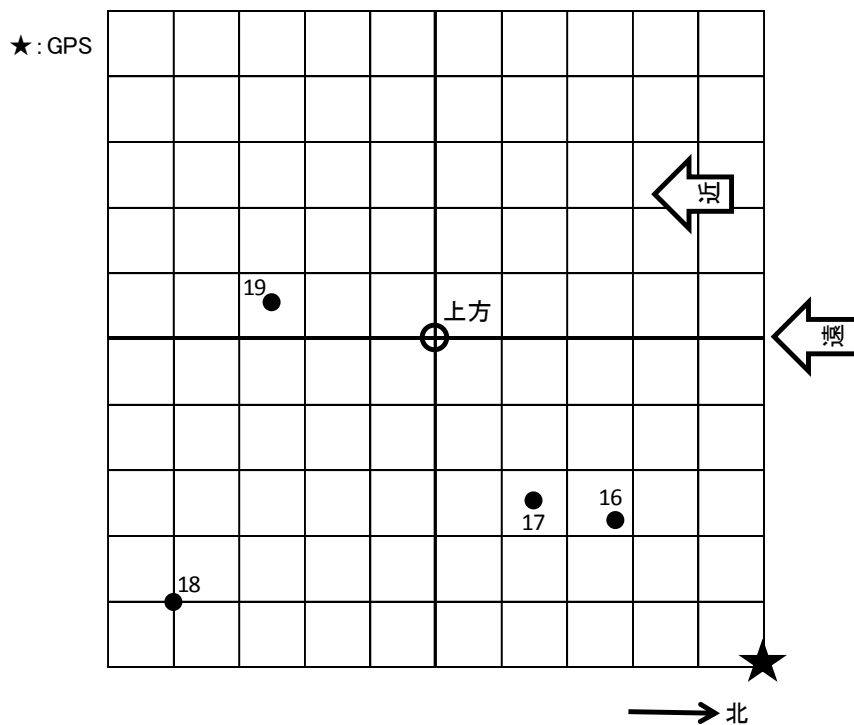


図 6-65

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではハルニレ、亜高木層、低木層ではサワフタギ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では26種の植物が確認された。

木本実生は、サワフタギ、サワグルミ、ミズナラ等9種が確認された。

表 6-94

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ハルニレ群落	高木層	ハルニレ	27~27	60
	亜高木層	サワフタギ	6~14	20
	低木層	サワフタギ	3~3	5
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	90

備考：林内。木本実生が多い。

表 6-95

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	5	5	シロヨメナ	キ	
2	2	2	ツルニガクサ	ソ	
3	1	1	サワギク	キ	
4	+		サワフタギ	ハイキ	20
5	+		サワグルミ	グルミ	10
6	+		ミズナラ	ブナ	10
7	+		ミヤマイボタ	モクセイ	10
8	+		ウラジロモミ	マツ	5
9	+		シナノキ	シナノキ	5
10	+		バイカツツジ	ツツジ	5
11	+		コハウチワカエデ	カエデ	5
12	+		サワシバ	カバノキ	5
13	+		カタバミ	カタバミ	
14	+		イヌトウバナ	ソ	
15	+		フデリンドウ	リンドウ	
16	+		フモトスミレ	スミレ	
17	+		ツルアジサイ	ユキノシタ	
18	+		イワガラミ	ユキノシタ	
19	+		ヘビノネゴザ	イワテンダ	
20	+		タニギキョウ	キョウ	
21	+		ミズ	イラクサ	
22	+		タマガワホトトギス	ユリ	
23	+		サルナシ	マタヒ	
24	+		ツルマサキ	ニシキ	
25	+		セントウソウ	セリ	
26	+		ツタウルシ	ウルシ	

サワフタギ、サワグルミ、コハウチワカエデの実生が多かった。

1114 林班 (No.15 対象区)

■ 毎木調査

毎木調査結果を表 6-96 に、立木位置、写真撮影位置（遠景、近景、上方）等を図 6-66 に示す。

コハウチワカエデ 1 本、ハルニレ 1 本の合計 2 本がプロット内に確認された。

表 6-96

NO.	NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高(m)	備考
1	20	コハウチワカエデ	28.7	20.2	
2	21	ハルニレ	82.7	26.4	

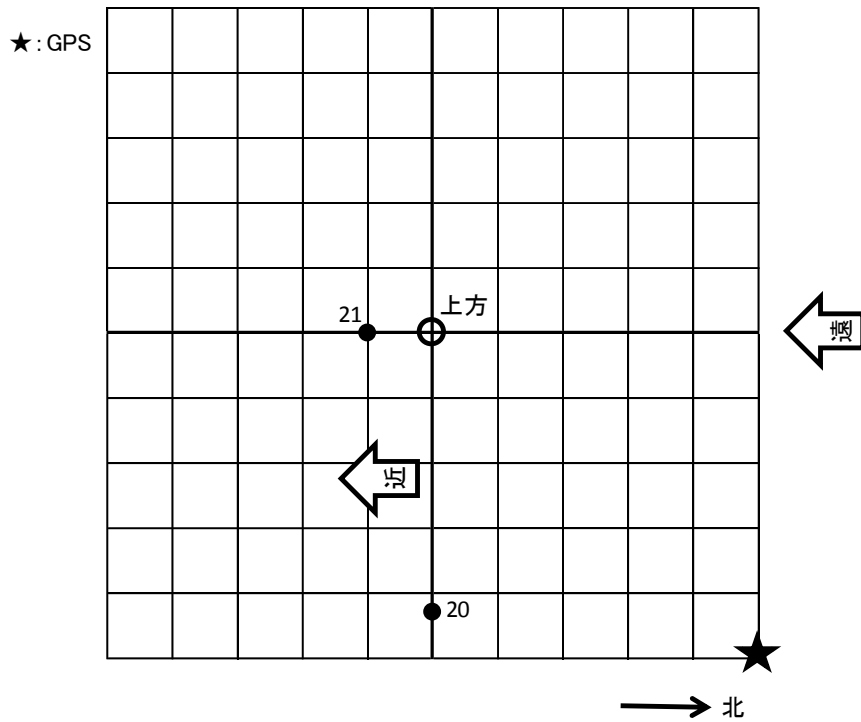


図 6-66

■植生調査

群落の概要、植生調査結果を下表に示した。

群落の優占種は、高木層ではハルニレ、亜高木層ではコハウチワカエデ、草本層ではシロヨメナだった。

植生調査では23種の植物が確認された。

木本実生は、コハウチワカエデ、サワフタギ、サワシバ等4種が確認された。

表 6-97

群落名	階層	優占種	高さ (m)	植 被 率 (%)
ハルニレ群落	高木層	ハルニレ	26~26	60
	亜高木層	コハウチワカエデ	20~20	40
	低木層	-	-	-
	草本層	シロヨメナ	0~0.8	95

備考：林内。低木層を欠く。

表 6-98

No.	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
1	5	5	シロヨメナ	キク	
2	1	1	サワギク	キク	
3	1	1	ツルニガクサ	シソ	
4	+		コハウチワカエデ	カエデ	5
5	+		サワフタギ	ハイキ	5
6	+		サワシバ	カハキ	3
7	+		サワグルミ	クルミ	3
8	+		ミズ	イラクサ	
9	+		ヘビノネゴザ	イワタバコ	
10	+		イワガラミ	ユキノシタ	
11	+		タニギキョウ	キョウ	
12	+		コチャルメルソウ	ユキノシタ	
13	+		フデリンドウ	リンドウ	
14	+		ダイコンソウ	バラ	
15	+		ヨツバムグラ	アサギ	
16	+		ホソバシケシダ	イワタバコ	
17	+		ツボスミレ	スミレ	
18	+		ツタウルシ	ウルシ	
19	+		イヌトウバナ	シソ	
20	+		セントウソウ	セリ	
21	+		イタドリ	タデ	
22	+		ヒメチドメ	セリ	
23	+		ツルマサキ	ニシキギ	

■ 写真

• 1114 林班



遠景



近景



中心部上方

• 1114 林班对照区



遠景



近景



中心部上方

表 6-99 植生、毎木調査箇所の緯度、経度等

ident	rinpanname	Latitude	Longitude	comment	altitude	model
350	1002	36.74277	139.391	2014/10/8 12:11	1336.108	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
351	1002T	36.74279	139.3911	2014/10/8 13:23	1346.682	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
352	1012	36.74472	139.3941	2014/10/8 14:03	1316.882	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
353	1012T	36.74457	139.3942	2014/10/8 14:29	1317.603	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
363	1013	36.75126	139.3926	2014/10/9 13:38	1372.397	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
364	1013T	36.75115	139.3927	2014/10/9 14:18	1367.831	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
361	1014	36.75384	139.3901	2014/10/9 11:31	1366.87	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
362	1014T	36.75375	139.3901	2014/10/9 12:18	1366.63	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
359	1022	36.75516	139.3906	2014/10/9 9:57	1376.483	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
360	1022T	36.75527	139.3905	2014/10/9 10:38	1371.677	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
365	1023	36.75062	139.3942	2014/10/9 15:08	1345.481	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
366	1023T	36.75054	139.3944	2014/10/9 15:37	1331.782	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
338	1024	36.7529	139.4015	2014/10/6 13:34	1320.246	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
339	1024T	36.75303	139.4016	2014/10/6 14:20	1331.782	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
367	1030	36.7611	139.4087	2014/10/10 9:25	1347.644	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
368	1030T	36.76114	139.4085	2014/10/10 9:28	1358.939	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
372	1031	36.76536	139.4143	2014/10/10 11:02	1372.157	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
373	1031T	36.76511	139.4143	2014/10/10 11:48	1388.019	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
357	1034	36.7674	139.4182	2014/10/8 16:23	1394.507	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
358	1034T	36.76711	139.4181	2014/10/8 16:34	1390.182	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
340	1036	36.75343	139.4056	2014/10/6 15:18	1304.625	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
341	1036T	36.75329	139.4055	2014/10/6 15:45	1301.981	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
348	1111	36.75053	139.4196	2014/10/7 16:04	1279.871	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
349	1111T	36.75056	139.4198	2014/10/7 16:12	1282.515	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
344	1112	36.74715	139.4181	2014/10/7 11:55	1298.617	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
345	1112T	36.74709	139.418	2014/10/7 13:33	1306.067	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
346	1113	36.74447	139.4127	2014/10/7 14:41	1296.454	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
347	1113T	36.74451	139.4126	2014/10/7 15:22	1297.896	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
342	1114	36.74238	139.4197	2014/10/7 10:06	1290.926	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20
343	1114T	36.74218	139.4197	2014/10/7 10:59	1284.918	garmin GPSMap60CSX Software Version 4.20

(注) Tは対照区を示す。

4. 黒河内の植生

4-1. 小黒川ウラジロモミ等林木遺伝資源保存林の状況

中部森林管理局の保護林モニタリング調査報告書（平成 23 年 3 月）から、黒河内モデル地域内にある「小黒川ウラジロモミ等林木遺伝資源保存林」の森林、植生状況を紹介します。

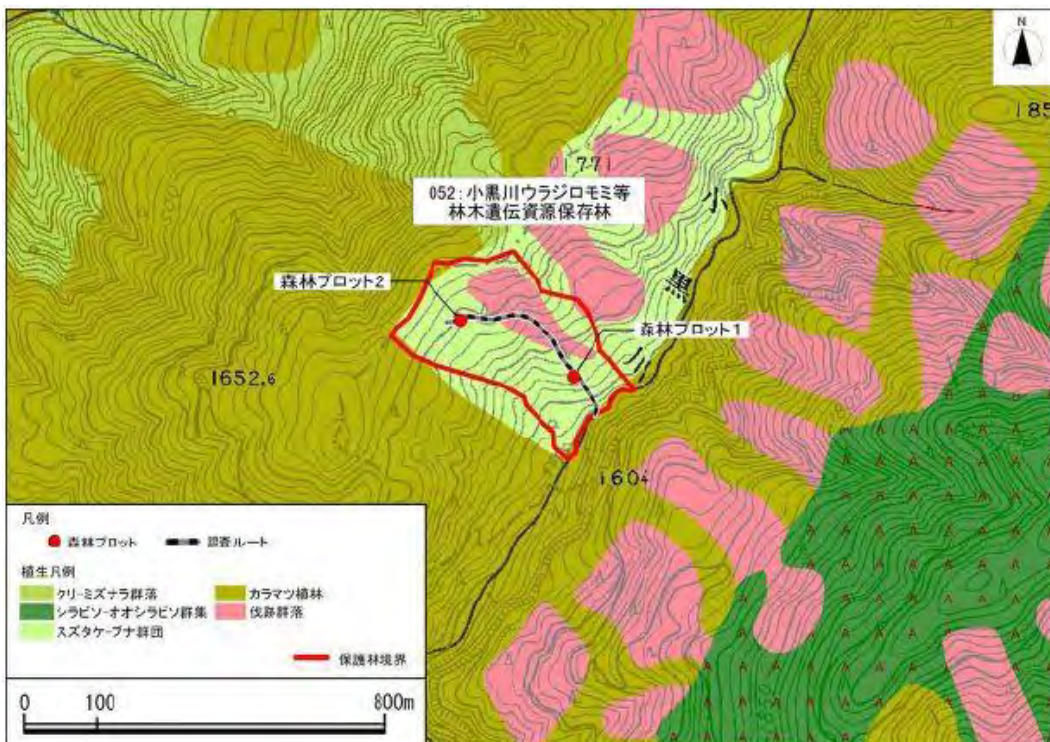


図 6-67 小黒川ウラジロモミ等林木遺伝資源保存林の植生図と位置

【保護林の設定目的】

温帯から亜高山帯への移行帯におけるウラジロモミ、イラモミ、ダケカンバを遺伝資源として保存する（図 6-67）。

【保護林の林況】

ウラジロモミ、イラモミ、ダケカンバ、コメツガ等から構成される天然林となっている。

【保護林調査の年月日】

森林調査(毎木調査・植生調査・定点写真)、植物相調査：平成 22 年 7 月 22 日。

【本項の引用・参考文献】

保護林モニタリング調査報告書（平成 23 年 3 月：中部森林管理局）

① 保護林プロット1

植生調査票

高木層(T1)		亜高木層(T2)		低木層(S)		草本層(H)		林床被覆率(%)
高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	
20 ~ 25	60	10 ~ 20	40	0.8 ~ 4.5	10	0 ~ 0.5	25	90

高木層(T1)		亜高木層(T2)		低木層(S)		草本層(H)	
種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度
ウラジロモミ	3	シナノキ	2	ウラジロモミ	1	ミヤマクマザサ	2
(ダケカンバ)	1	イタヤメイゲツ	+	(シナノキ)	1	ミヤマワラビ	1
		(コメツガ)	1			コミヤマカタバミ	1
		(クロベ)	1			タチツボスミレ	1
		(シウリザクラ)	1			ミヤマタニタデ	1
						シノブカグマ	+
						オシダ	+
						ミヤマシダ	+
						ウラジロモミ	+
						サワラ	+
						ダケカンバ	+
						ゼリハオウレン	+
						ミヤマザクラ	+
						ウリハダカエデ	+
						ミヤマスミレ	+
						シシヨウイチヤクソウ	+
						キオン	+
						アキノキリンソウ	+
						マイヅルソウ	+

中円部初出現の種: クジャクシダ、イラモミ、コメツガ、ヒノキ、クロベ、カバノキ科の一種、ゴトウツル、シウリザクラ、コミネカエデ、イトマキイタヤ、ツリバナ、イワセントウソウ、ケナツノタムラソウ、イボタヒョウタンボク、タニギキョウ、ヒメノガリヤス、テンナンショウ属の一種

大円部初出現の種: ヒメコメツガ、シラカンバ、ミスナラ、ウスバサイシン、ヤマタネツケバナ、ウワミズザクラ、ツルツゲ、コシアブラ、キンリョウソウ、ヒメウスノキ、オククルマムグラ、ツクバネウツギ属の一種、コキンレイカ、タケシマラン、スゲ属の一種、ヒメミヤマウスラ、ヒメムヨウラン

(+)は中円部、(+)は大円部まで範囲を広げたことを示す。

毎木調査(小円部は胸高直径10cm以上)

円部	樹種	本数	胸高直径(cm)			樹高(m)			枯損率(%)	剥皮率(%)	空洞率(%)	胸高断面積合計(m ² /ha)
			最小	平均	最大	最小	平均	最大				
小円部	ウラジロモミ	4	1.5	25.5	58.8	1.7	13.6	26.1	50	0	0	4.0
	ダケカンバ	1	22.7	22.7	22.7	11.5	11.5	11.5	100	0	0	0.4
中円部	コメツガ	9	7.1	32.1	56.6	4.4	16.8	26.9	11	0	0	8.7
	シナノキ	5	11.8	14.7	18.9	5.1	11.6	20.8	0	0	0	0.9
	ウラジロモミ	3	36.0	50.5	65.4	7.4	18.7	27.7	0	0	0	6.4
	ダケカンバ	3	23.8	27.0	32.7	16.3	19.6	23.9	0	0	0	1.8
	ヒノキ	2	35.5	41.6	47.7	23.7	24.3	24.8	0	0	0	2.8
	カバノキ科の一種	2	22.0	22.1	22.2	7.7	9.7	11.6	100	0	0	0.8
	シウリザクラ	2	24.2	26.7	29.2	15.8	19.1	22.4	0	0	0	1.1
	イトマキイタヤ	1	22.2	22.2	22.2	16.1	16.1	16.1	0	0	0	0.4
	イタヤメイゲツ	1	9.0	9.0	9.0	8.1	8.1	8.1	0	0	0	0.1
	樹種不明	1	43.1	43.1	43.1	23.5	23.5	23.5	100	0	0	1.5
大円部	コメツガ	6	18.3	29.6	42.5	10.0	16.1	22.2	17	0	0	4.6
	ダケカンバ	6	16.8	26.1	46.7	15.4	18.4	21.1	0	0	0	3.6
	樹種不明	6	18.0	19.2	21.4	2.0	8.0	15.5	100	0	0	1.7
	ウラジロモミ	4	22.4	44.6	67.6	13.9	22.2	26.5	0	0	0	7.1
	ミスナラ	4	19.4	24.7	36.9	14.0	18.6	25.2	0	0	0	2.1
	キタコヨウ	1	62.6	62.6	62.6	25.1	25.1	25.1	0	0	0	3.1
	シラカンバ	1	40.1	40.1	40.1	19.1	19.1	19.1	0	0	0	1.3
	ウワミズザクラ	1	34.5	34.5	34.5	23.8	23.8	23.8	0	0	0	0.9
	シウリザクラ	1	24.5	24.5	24.5	24.7	24.7	24.7	0	0	0	0.5
	イトマキイタヤ	1	23.1	23.1	23.1	19.1	19.1	19.1	0	0	0	0.4
イタヤメイゲツ	1	25.5	25.5	25.5	10.8	10.8	10.8	0	0	0	0.5	
合計	12種(不明種を除く)	66	1.5	29.0	67.6	1.7	16.4	27.7	21	0	0	54.5



プロット1 定点写真(北)



プロット1 定点写真(東)

保護林の斜面下部(1,620m)に位置する、ブナ帯のウラジロモミが優占する林分にプロットが設定されている。その他、コメツガ、シナノキ、ダケカンバ等が混生する。

② 保護林プロット2

植生調査票

高木層(T1)		亜高木層(T2)		低木層(S)		草本層(H)		草本第2層(H2)		林床被
高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	覆率(%)
18 ~ 23	60	10 ~ 15	30	1.5 ~ 5	5	0.2 ~ 1.5	5	0 ~ 0.2	10	100
高木層(T1)		亜高木層(T2)		低木層(S)		草本層(H1)		草本層(H2)		
種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度	
ダケカンバ	2	サルナシ	2	ウラジロモミ	1	ミヤマクマザサ	1	タチツボスミレ	1	
シラカンバ	1	シナノキ	2	ネジキ	+			ミヤマクマザサ	1	
(コメツガ)	2	ハリギリ	2					シラネウラボ	+	
		ミヤマザクラ	1					ウラジロモミ	+	
		(カツラ)	2					コメツガ	+	
								ミヤマザクラ	+	
								ヤマモミジ	+	
								ウリハダカエデ	+	
								イタヤメイゲツ	+	
								イワセトウソウ	+	
								ケナツノタムラソ	+	
中円部初出現の種		ヘビノゴザ、ミズナラ、カツラ、ウスバサイシン、コシアブラ、コナスピ、オククルマムグラ、ヨツバヒヨドリ、フクオウソウ、マイヅルソウ、タケシマラン、イチヨウラン								
大円部初出現の種		シノブカクマ、ミヤマウラボ、ミヤマシダ、キタゴヨウ、ヒノキ、イヌブナ、オオバメキ、スダヤクシユ、コミネカエデ、ミヤマタニタデ、ギンリョウソウ、イケマ、タニギキョウ、サワギク、ユキザサ、スゲ属の一種								

()は中円部、(()は大円部まで範囲を広げたことを示す。

毎木調査(小円部は胸高直径1cm以上)

円部	樹種	本数	胸高直径(cm)			樹高(m)			枯損率(%)	剥皮率(%)	空洞率(%)	胸高断面積合計(m ² /ha)
			最小	平均	最大	最小	平均	最大				
小円部	シラカンバ	4	22.0	28.2	34.3	8.9	16.7	24.4	50	0	0	2.6
	サルナシ	3	2.5	3.5	5.5	14.7	15.9	16.5	0	0	0	0.0
	樹種不明	3	2.0	8.2	20.1	1.4	5.9	13.8	33	0	0	0.3
	ウラジロモミ	2	2.0	2.8	3.5	1.6	2.1	2.5	50	0	0	0.0
	ハリギリ	2	5.5	10.5	15.5	7.5	10.3	13.1	0	0	0	0.2
	ダケカンバ	1	32.5	32.5	32.5	21.8	21.8	21.8	0	0	0	0.8
	ミヤマザクラ	1	15.7	15.7	15.7	11.2	11.2	11.2	0	0	0	0.2
	シナノキ	1	20.3	20.3	20.3	11.0	11.0	11.0	0	0	0	0.3
中円部	ネジキ	1	4.2	4.2	4.2	3.5	3.5	3.5	0	0	0	0.0
	ダケカンバ	7	12.5	24.0	35.0	8.9	17.5	22.3	0	0	0	3.5
	コメツガ	6	10.0	25.8	47.0	6.8	13.3	20.5	0	17	0	4.0
	シラカンバ	5	28.0	38.1	50.5	19.1	23.0	29.3	20	0	0	5.9
	ミヤマザクラ	2	16.4	16.7	17.0	10.8	11.6	12.4	0	0	0	0.4
	樹種不明	2	7.7	10.8	13.9	4.2	4.8	5.3	100	0	0	0.2
大円部	ウラジロモミ	1	11.2	11.2	11.2	7.6	7.6	7.6	0	0	0	0.1
	カツラ	1	13.7	13.7	13.7	10.6	10.6	10.6	0	0	0	0.1
	ダケカンバ	9	19.8	29.2	55.2	15.9	21.1	25.1	0	0	0	6.8
	コメツガ	7	18.5	33.9	51.2	13.4	17.6	21.4	14	0	0	7.0
	シラカンバ	6	19.0	26.9	45.5	14.0	17.2	21.6	17	0	0	3.8
	ヒノキ	2	18.3	23.0	27.7	13.1	14.6	16.1	0	0	0	0.9
	ミヤマザクラ	2	18.0	20.7	23.3	11.3	14.9	18.4	0	0	0	0.7
	イタヤメイゲツ	2	19.1	20.8	22.5	13.2	13.4	13.6	0	0	0	0.7
	ウラジロモミ	1	32.6	32.6	32.6	18.9	18.9	18.9	0	0	0	0.8
	キタゴヨウ	1	58.6	58.6	58.6	23.1	23.1	23.1	0	0	0	2.7
シナノキ	1	23.6	23.6	23.6	17.3	17.3	17.3	0	0	0	0.4	
合計	13種(不明種を除く)	73	2.0	23.9	58.6	1.4	15.5	29.3	12	1	0	42.6



プロット2 定点写真(南)



プロット2 定点写真(西)

保護林の斜面上部(1,700m)に位置する、ダケカンバが優占する林分にプロットが設定されている。ダケカンバの他、シラカンバ、シナノキ、ウラジロモミ等が混生する。

③ 保護林の下層植生等の状況



シカ 糞



シカ つのこすり



獣道



帰化植物(シロツメクサ)



帰化植物(ナガハグサ)



帰化植物(セイヨウノコギリソウ)

小黒川に接した南東向き斜面に位置し、保護対象種であるウラジロモミの大径木が多く、コメツガやダケカンバも多く混生する林分である。

この他、ブナの大径木も多く確認されている。林床植生はシカによる食害を受けており貧弱である。保護林は、小黒川林道から川を渡った対岸に位置し、人の出入りがほとんどはない。保護林境界の河川沿いの林縁にはシロツメクサ等の帰化植物も見られる。

4-2. 植生、毎木調査結果

プロットNo.①

a 調査区

表 6-100 プロットNo.①調査区の植生調査結果

No. 桐1 Date 4-26
年月日 11.13

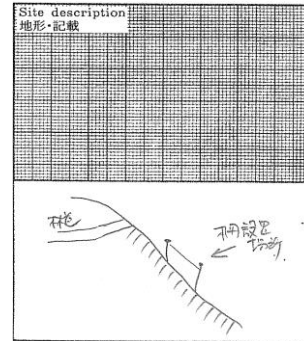
Location 上昇斜面(凸型) Inclination 20 度
地形 上昇斜面(凸型) 傾斜 20 度

Direction S30E Altitude 1675 m
方位 S30E 標高 1675 m

Residual/Colluvial Parent material
堆積様式 残積 母材・地質 珪岩 4ヤ十

Land use モミ林
利用来歴・現況 近年、南成実流湧水(周囲/環)

Surveyor 元島清人
調査者 元島清人



Community table		Community symbol				Area
群落組成表		群落名 <u>ツツジロミ</u>				
Layer	Dominant	Height	D.B.H	P.C.V.	Spp Nos.	面積 (10 × 10) 100 m ²
階層	優占種	高さ m	胸径 cm	植被率%	種数	
I 高木層 (T ₁)	<u>ウラジロミ</u>	<u>12-17, 16-27</u>	~	<u>90</u>	<u>4</u>	Species' numbers 出現種数 <u>16</u> 種
II 亜高木層 (T ₂)	~	~	~	~	~	
III 低木層 (S)	~	~	~	~	~	
IV 草本層 (H)	<u>サナギイコ</u>	<u>0-0.4</u>	~	<u>2</u>	<u>13</u>	
V 蘇苔層 (M)	~	~	~	~	~	

P.C.V. : Percentage of vegetational cover
D.B.H. : Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	備考
T ₁	3	2	ウラジロミ	マツ	
	1	1	ミスナラ	ブナ	
	1	1	ダケカンバ	カバノキ	
	1	1	ヤマサクラ	バラ	
H	+	1	ウスバスミレ	スミレ	
	+	1	ミヤマウラジロイコ	バラ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	イヌトウバナ	シソ	
	+	1	ウラジロミ	マツ	
	+	1	サクラ	バラ	
	+	1	キタゴヨウ	マツ	
	+	1	スゲ属	カヤツリグサ	
	+	1	オククルマグサ	アカネ	
	+	1	ヒゲノガリヤス	イネ	
	+	1	ウリハダカエテ	カエテ	
	+	1	ミスギ	ミスギ	
	+	1	サナギイコ	バラ	

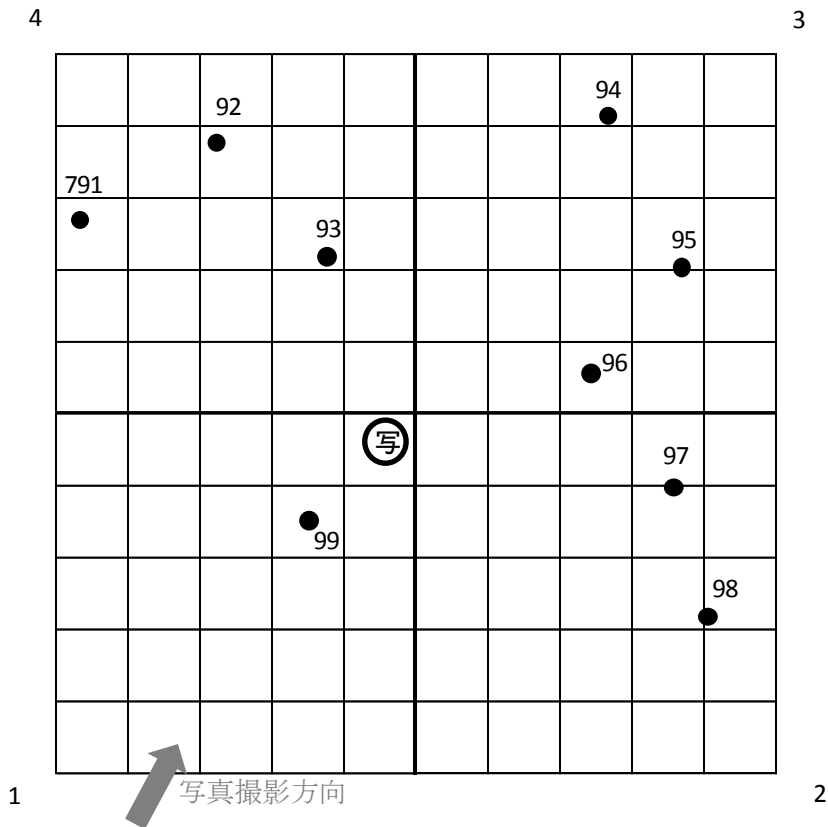


図 6-68 プロットNo.①調査区の毎木位置

表 6-101 プロットNo.①調査区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
791	ウラジロモミ	15.6	12.9	皮ハギ
792	ウラジロモミ	17.3	12.7	
793	ミスナラ	20.5	13.8	
794	ウラジロモミ	23.9	14.9	
795	ウラジロモミ	22.6	16.0	
796	ウラジロモミ	21.2	14.9	カメラ設置
797	サクラ (不明)	20.6	15.1	
798	ダケカンパ	20.6	17.3	
799	ウラジロモミ	27.1	16.9	

No.①の現地写真（調査区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林205林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.①調査区のコメント】

高木層は、ウラジロモミが優占しミズナラ、ダケカンバなどが混生する。

下層植生は、シカによる食害等を受け、まばらで少ないが、僅かにウラジロモミやミズキ等の稚樹も見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサはまったく見られない。

b 対照区

表 6-102 プロットNo.①対象区の植生調査結果

No. 21 Date 11/26
年月日 11.26

Location 地形 上甲種(凸型) Inclination 傾斜 20 度

Direction 方位 S8E Altitude 標高 1675 m

Residual/Colluvial 堆積様式 残積 Parent material 母材・地質 礫層 4ヤト

Land use 利用来歴・現況 近年、自然林(周囲は人工林)

Surveyor 調査者 元島清人

Site description
地形・記載

Layer 階層	Dominant 優占種	Height 高さ m	D.B.H 胸径 cm	P.C.V. 植被率%	Spp Nos. 種数	Area 面積 10×10 (100) m ²	Species' numbers 出現種数 20 種
I 高木層(T ₁)	ウラジロモミ	15~18, 25~36	80	1			
II 亜高木層(T ₂)	~	~	~	~	~		
III 低木層(S)	~	~	~	~	~		
IV 草本層(H)	0~0.6	~	~	10	20		
V 蘇苔層(M)	~	~	~	~	~		

Community table 群落組成表 / Community symbol 群落名 ヲラジロモミ

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	4	4	ウラジロモミ	マツ	
H	2	2	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	ミヤマウラジロイチゴ	バラ	
	+	1	モミジイチゴ	バラ	
	+	1	ヤマオタマキ	キンポウゲ	
	+	1	ヤマヨモギ	キク	
	+	1	ヨツバヒヨドリ	キク	
	+	1	アオハダ	モチノキ	
	+	1	オククルマグサ	アカネ	
	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	ウグイスカグラ	スイカズラ	
	+	1	アカマツ	マツ	
	+	1	ウリカエテ	カエテ	
	+	1	カラマツ	マツ	
	+	1	アキグミ	グミ	
	+	1	スゲ属 (不明)	カヤツクグサ	
	+	1	コウゾリナ	キク	
	+	1	ヤマホタルブクロ	キキョウ	
	+	1	ヒゲノガリヤス	イネ	
	+	1	エゾハタサオ	アブラナ	
	+	1	マルハコソロンソウ	アブラナ	

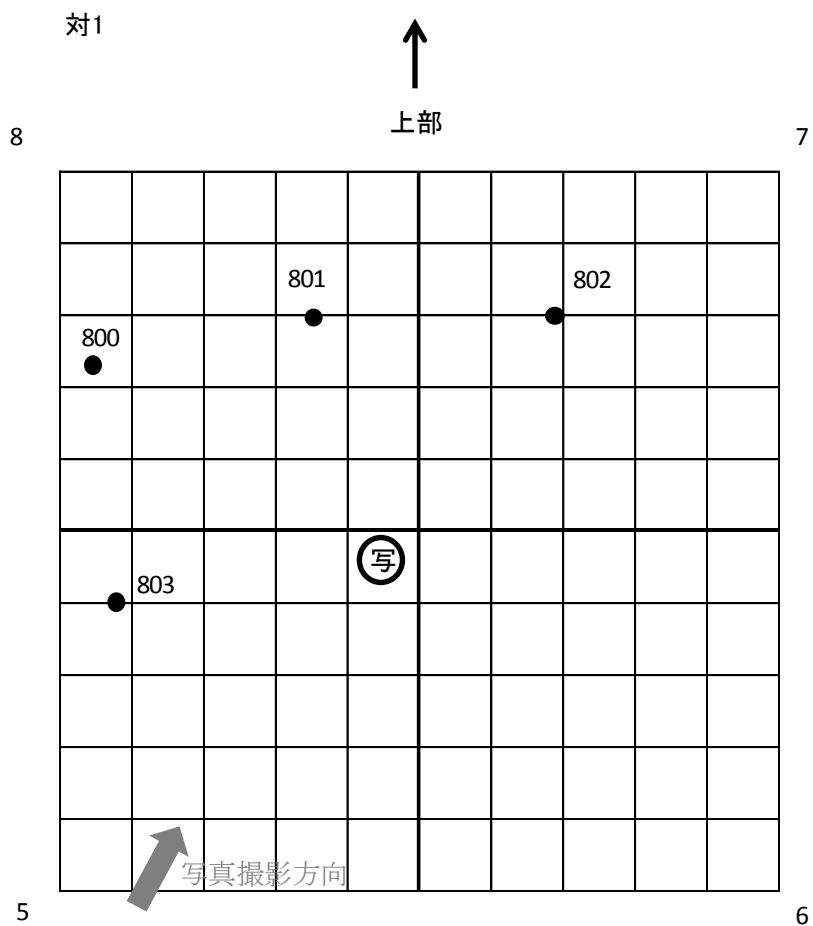


図 6-69 プロットNo.①対象区の毎木位置

表 6-103 プロットNo.①対象区区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
800	ウラボシ	24.5	14.9	
801	ウラボシ	36.3	16.8	
802	ウラボシ	35.7	17.8	くされ有り
803	ウラボシ	30.8	16.8	

No.①の現地写真（対象区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林205林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.①対象区のコメント】

高木層は、ウラジロモミが優占し、その他の樹種は見られない。

下層植生は、シカによる食害等を受け少ないが、タチスボスミレが比較的多くみられる。その他、ウラジロモミ、アカマツ、カラマツ、アオハダ等の稚樹も見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが僅かに見られるがシカによる食害等により消滅寸前である。

プロットNo.②

a 調査区

表 6-104 プロットNo.②調査区の植生調査結果

No. 柵2 Date 14
年月日 26.9.29

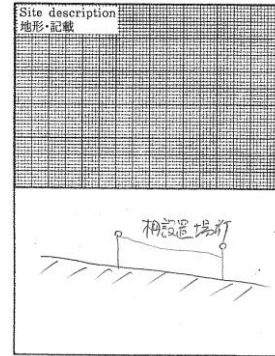
Location 平衡斜面 Inclination 4 度
地形 傾斜

Direction S45E Altitude 1682 m
方位 標高

Residual/Colluvial 砂礫 Parent material 母材・地質 砂礫層 粘板岩
堆積様式 母材・地質

Land use 人工林と自然林
利用来歴・現況

Surveyor 元島清人
調査者



Layer 階層	Dominant 優占種	Height 高さ m	D.B.H 胸径 cm	P.C.V. 植被率%	Spp Nos. 種数	Area 面積 (10 × 10) m ²	Species numbers 出現種数 12 種
I 高木層 (T ₁)	シラハ、カンバ	20 ~	~	100	5		
II 亜高木層 (T ₂)	コシアブラ、ヤマモミジ	10 ~	~	20	4		
III 低木層 (S)	—	~	~	0	—		
IV 草本層 (H)	ウリハダカエテ	0 ~ 0.1 ~	~	0	5		
V 蘇苔層 (M)	—	~	~	—	—		

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	2	2	ミスナラ	ブナ	
	2	2	ウラジロモミ	マツ	
	2	2	シラカンバ	カバノキ	
T ₂	1	1	コシアブラ	ウコギ	
	+	1	キタゴヨウ	マツ	
	1	1	ヤマモミジ	カエデ	
	1	1	コシアブラ	ウコギ	
H	+	1	イタヤカエデ	カエデ	
	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	ウリハダカエテ	カエデ	
	+	1	マイヅルソウ	ユリ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	ミスナラ	ブナ	
	+	1	イタヤカエデ	カエデ	

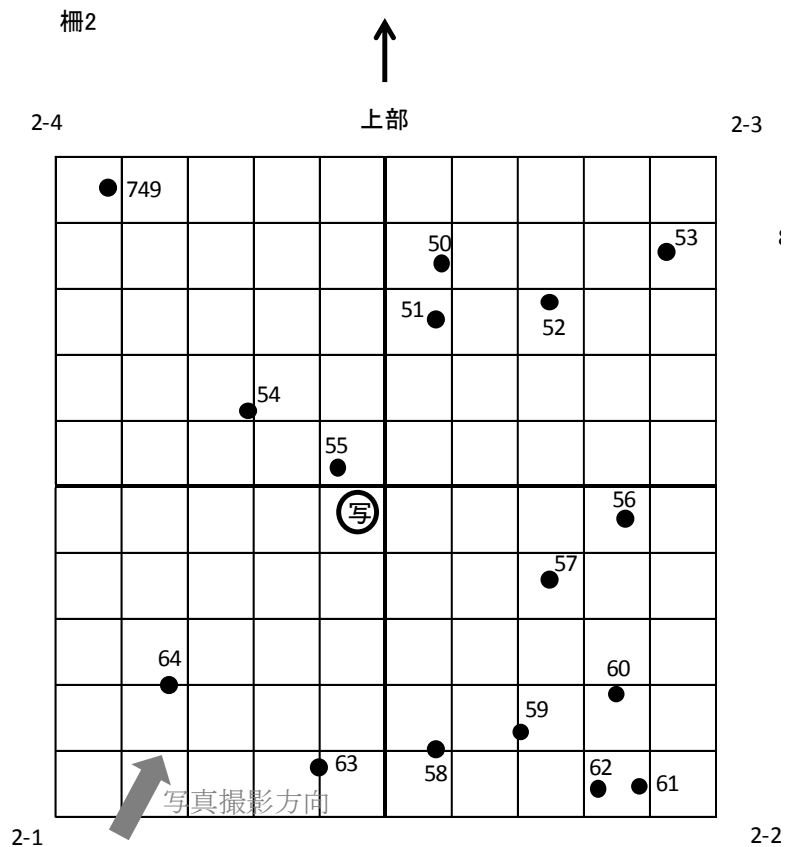


図 6-70 プロットNo.②調査区の毎木位置

表 6-105 プロットNo.②調査区の毎木調査結果

N0 テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
749	キタゴヨウ	12.8	19.9	皮ハギ
750	ミスナラ	13.3	17.5	
751	ウラジロモミ	17.6	18.4	
752	ウラジロモミ	22.0	18.5	
753	シラカンバ	52.7	21.1	
754	コシアブラ	25.3	17.6	角研
755	ミスナラ	21.0	21.6	
756	ヤマモジ	4.6	5.8	
757	ヤマモジ	4.0	6.1	
758	コシアブラ	18.1	20.9	皮ハギ
759	シラカンバ	19.4	19.9	
760	ミスナラ	16.8	15.0	
761	コシアブラ	9.3	10.6	
762	ウラジロモミ	6.1	6.3	皮ハギ
763	ヤマモジ	9.8	9.9	皮ハギ
764	イタヤカエデ	3.1	4.4	皮ハギ

No.②の現地写真（調査区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林204林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.②調査区のコメント】

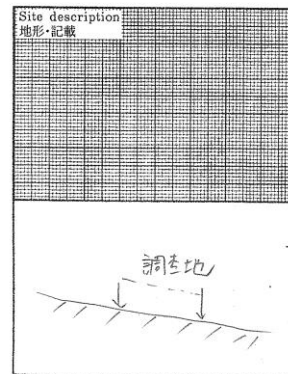
高木層は、ミズナラとウラジロモミが優占し、シラカンバ、コシアブラ、イタヤカエデ、キタゴヨウマツなどが見られ、ヤマモミジ、コシアブラ、イタヤカエデ等の亜高木層も見られる。

下層植生は、上層木の被覆に伴う照度不足と、シカによる食害を受け少ないが、ミズナラ、イタヤカエデ、ウリハダカエデ等の稚樹も見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが、この場所では見られない。

b 対照区

表 6-106 プロットNo.②対象区の植生調査結果

No. 対2 Date H26.9.29
 Location 平衡斜面 Inclination 1 度
 Direction S30E Altitude 1680 m
 Residual/Colluvial 残積 Parent material 古生層粘板岩
 Land use 人工林に因る天然林
 Surveyor 元島清人



Layer	Dominant	Height	D.B.H	P.C.V.	Spp Nos.	Area
階層	優占種	高さm	胸径cm	植被率%	種数	面積
I 高木層 (T ₁)	ウラジロモミ	13~21/15	37	100	6	10 × 10 m ²
II 亜高木層 (T ₂)	ミスナラ	~12	~12	10	1	Species' numbers
III 低木層 (S)		~	~			出現種数 // 種
IV 草本層 (H)	ウリハタカエテ	0~0.1	~	0	8	
V 蘇苔層 (M)		~	~			

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
 D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	2	1	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	アカマツ	マツ	
	1	1	ミスナラ	ブナ	
	1	1	キタゴヨウ	マツ	
	1	1	コシアブラ	ウコギ	
	1	1	シラカンバ	カバノキ	
T ₂	+	1	ミスナラ	ブナ	
H	+	1	ウリハタカエテ	カエテ	
	+	1	キタゴヨウ	マツ	
	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	ツルウメトキ	ニシキギ	
	+	1	ヤマモジ	カエテ	
	+	1	ミスナラ	ブナ	
	+	1	マイヅルソウ	ユリ	

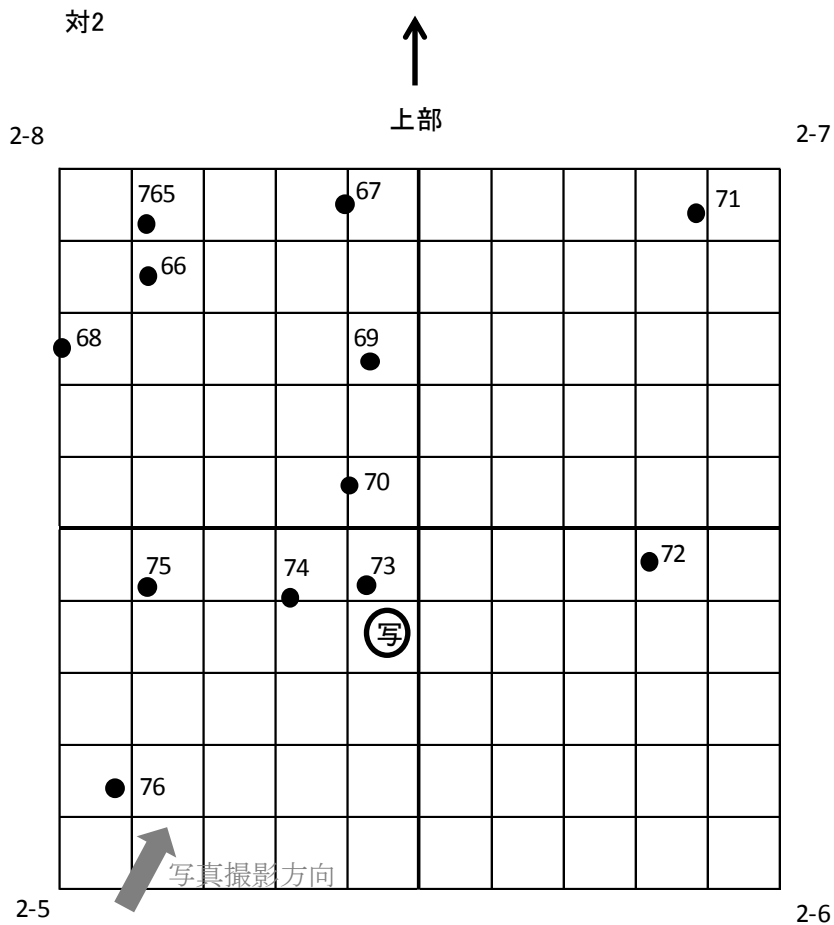


図 6-71 プロットNo.②対象区の毎木位置

表 6-107 プロットNo.②対象区区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
765	ウラジロモミ	16.1	18.9	
766	ウラジロモミ	33.8	21.3	
767	アカマツ	37.7	22.4	
768	ミスナラ	12.5	12.4	
769	ウラジロモミ	13.9	14.2	
770	ミスナラ	21.2	19.3	
771	キタゴヨウ	20.4	19.2	
772	シラカンバ	19.4	20.1	
773	コシアブラ	26.5	18.1	
774	コシアブラ	18.8	16.8	
775	ミスナラ	14.8	19.5	
776	シラカンバ	15.7	18.7	

No.②の現地写真（対象区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林204林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.②対象区のコメント】

高木層は、ウラジロモミが優占し、アカマツ、ミズナラ、キタゴヨウマツ、シラカンバ、コシアブラなどが見られ、ミズナラの亜高木層が僅かに見られる。

下層植生は、上層木の被覆に伴う照度不足と、シカによる食害を受け少ないが、ミズナラ、キタゴヨウマツ、ウリハダカエデ等の稚樹が見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが、この場所では見られない。

プロットNo.③

a 調査区

表 6-108 プロットNo.③調査区の植生調査結果

No. 柵子 Date 年月日 26. 11. 13

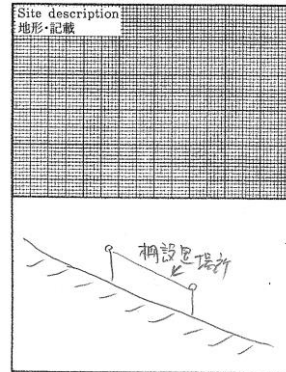
Location 地形 平衡斜面 Inclination 傾斜 10 度

Direction 方位 S40W Altitude 標高 1735 m

Residual/Colluvial 堆積様式 残積 Parent material (母材) 蛇紋岩

Land use 利用来歴・現況 人工林に囲まれた天然林

Surveyor 調査者 元 智 清 人



Community table 群落組成表 / Community symbol 群落名 ウラジロモミ

Layer 階層	Dominant 優占種	Height 高さ m	D.B.H 胸径 cm	P.C.V. 植被率%	Spp Nos. 種数
I 高木層 (T ₁)	ウラジロモミ	13 ~ 19	18 ~ 42	60	5
II 亜高木層 (T ₂)	ウラジロモミ	6 ~ 12	4 ~ 9	60	5
III 低木層 (S)	ウラジロモミ	2 ~ 6	4 ~ 7	5	1
IV 草本層 (H)	ウラジロモミ	0 ~ 0.1	~	0	2
V 蘇苔層 (M)	~	~	~	~	~

Area 面積 (10 × 10) (100) m²

Species' numbers 出現種数 10 種

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	2	1	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	センノキ(ハリギリ)	ウコギ	
	1	1	イタヤカエデ	カエデ	
	1	1	キタコヨウ	マツ	
	1	1	ミスナラ	ブナ	
T ₂	2	1	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	コシアブラ	ウコギ	
	1	1	サクラ	バラ	
	1	1	ウリハダカエデ	カエデ	
	1	1	ヤマモシロ	カエデ	
S	1	1	ウラジロモミ	マツ	
H	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	キタコヨウ	マツ	

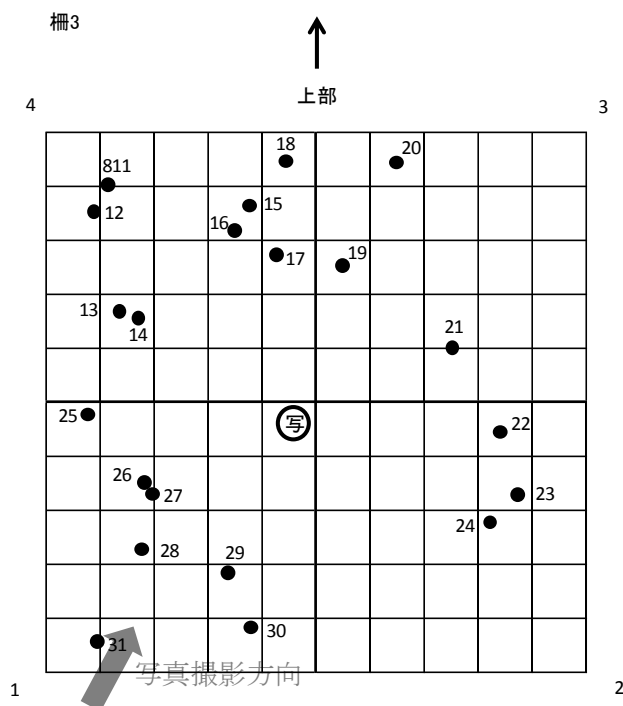


図 6-72 プロットNo.③調査区の毎木位置

表 6-109 プロットNo.③調査区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
811	ウラジ`ロモミ	16.2	15.5	
812	ヤマモジ`	3.5	4.7	
813	センノキ(ハリギリ)	41.9	18.5	
814	ウラジ`ロモミ	6.8	5.3	
815	ウラジ`ロモミ	23.3	18.9	皮ハギ
816	ウラジ`ロモミ	9.0	7.6	皮ハギ
817	コシアブラ	7.5	8.1	皮ハギ
818	ウラジ`ロモミ	6.9	5.7	皮ハギ
819	ウラジ`ロモミ	5.8	3.7	皮ハギ
820	ウラジ`ロモミ	6.2	5.5	皮ハギ
821	イタヤカエテ`	11.2	12.8	皮ハギ
822	ウラジ`ロモミ	6.3	6.7	皮ハギ
823	ウラジ`ロモミ	12.2	14.0	角研
824	ウラジ`ロモミ	9.4	9.9	皮ハギ
825	ウラジ`ロモミ	5.4	4.2	皮ハギ
826	キタコ`ヨウ	20.0	17.0	皮ハギ
827	ウラジ`ロモミ	7.0	7.5	皮ハギ
828	サクラ (種不明)	12.1	12.3	
829	ウリハタ`カエテ`	8.7	11.9	皮ハギ
830	ミス`ナラ	9.1	13.1	
831	ヤマモジ`	3.6	6.3	

No.③の現地写真（調査区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林203林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.③調査区のコメント】

高木層は、ウラジロモミが優占し、ハリギリ、イタヤカエデ、キタゴヨウマツ、ミズナラなどが見られ、ウラジロモミ、コシアブラ、ヤマザクラ、ウリハダカエデ等の亜高木層が見られる。

下層植生は、上層木の被覆に伴う照度不足と、シカによる食害を受けそれほど多くないが、ウラジロモミの低木層が見られ、また草本層にはキタゴヨウマツの稚樹が見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが、この場所では見られない。

b 対照区

表 6-110 プロットNo.③対象区の植生調査結果

No. 対3 Date 426
年月日 11/13

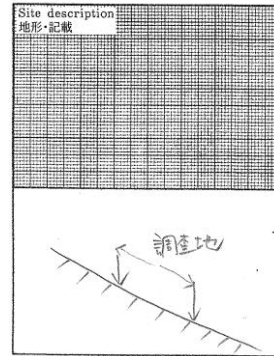
Location 地形 平衡斜面 Inclination 傾斜 12 度

Direction 方位 S40W Altitude 標高 1735 m

Residual/Colluvial 堆積様式 残積 Parent material (古土層) 母材・地質 蛇紋岩

Land use 利用来歴・現況 人工林に開いた天然林

Surveyor 調査者 元島清人



Community table 群落組成表 / Community symbol 群落名 ウラジロモミ~ダケカンバ

Layer 階層	Dominant 優占種	Height 高さ m	D.B.H 胸径 cm	P.C.V. 植被率%	Spp Nos. 種数
I 高木層 (T ₁)	ウラジロモミ	18.5~25		40	4
II 亜高木層 (T ₂)	サクラ	7~12.3~6		20	5
III 低木層 (S)	ウラジロモミ	2~5.4~5		10	3
IV 草本層 (H)	—	0~0.1		0	0
V 蘇苔層 (M)	—	~			

Area 面積 10m x 10m (100 m²)

Species' numbers 出現種数 12 種

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	2	2	ダケカンバ	カンバ科	
	2	2	ミズナラ	ブナ	
	1	1	トノキ	ヤナギ	
	1	1	ウラジロモミ	マツ	
T ₂	2	2	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	サクラ	バラ	
	1	1	ヤマモシロ	カエデ	
	1	1	アオハダ	モチノキ	
S	1	1	ウリハダカエデ	カエデ	
	1	1	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	アオハダ	モチノキ	
H	1	1	ウグイスカグラ	スイカズラ	
	+	1	キタコヨウ	マツ	
	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	

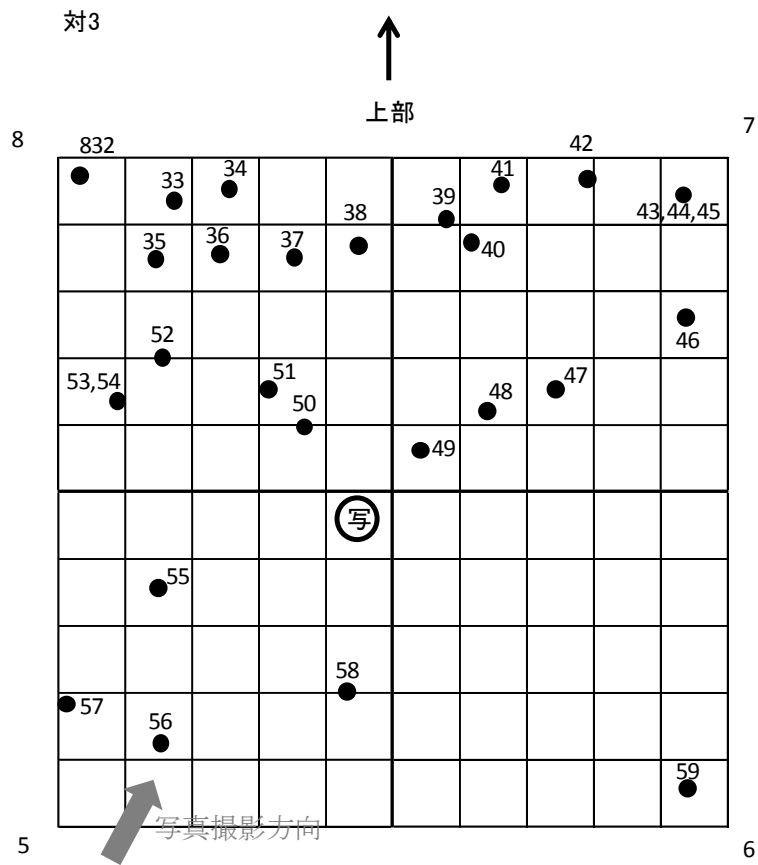


図 6-73 プロットNo.③対象区の毎木位置

表 6-111 プロットNo.③対象区区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径(cm)	樹高 (m)	備考
832	ミズナラ	25.4	18.1	
833	ウラジロモミ	6.8	8.2	皮ハギ
834	ウラジロモミ	5.8	7.3	皮ハギ
835	ウラジロモミ	12.1	11.1	
836	トノキ	19.9	13.3	
837	ウラジロモミ	11.0	10.1	皮ハギ
838	ウラジロモミ	5.6	5.4	皮ハギ
839	ダケカンバ	16.1	15.8	
840	ウラジロモミ	7.5	7.6	皮ハギ
841	ウラジロモミ	12.0	10.3	皮ハギ
842	ウラジロモミ	3.5	3.2	皮ハギ
843	ヤマモミジ	4.1	7.0	角研
844	ヤマモミジ	3.4	7.1	
845	ヤマモミジ	6.1	9.8	
846	ウグイスカグラ(不明)	3.5	4.3	皮ハギ
847	ウラジロモミ	5.3	4.5	皮ハギ
848	ウラジロモミ	4.4	4.3	皮ハギ
849	ダケカンバ	21.8	17.9	
850	サクラ(不明)	6.3	6.8	
851	サクラ(不明)	6.9	9.0	
852	ウラジロモミ	4.2	3.8	皮ハギ
853	アオハダ	8.5	10.3	皮ハギ
854	アオハダ	4.1	6.5	皮ハギ
855	サクラ(不明)	11.4	13.2	
856	ミズナラ	13.1	15.2	
857	ウリハダカエデ	9.0	12.9	
858	ダケカンバ	7.8	13.4	
859	ウラジロモミ	15.1	16.1	

No.③の現地写真（対象区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林203林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.③対象区のコメント】

高木層は、ダケカンバとミズナラが優占し、ウラジロモミやドロノキが混生する。亜高木層にウラジロモミ、ヤマザクラ、アオハダ、ヤマモミジ、アオハダなどが見られる。

下層植生は、上層木の被覆に伴う照度不足と、シカによる食害を受け、ほとんど見られないが、ウラジロモミやアオハダ等の低木層が見られ、また草本層にはキタゴヨウマツ、ウラジロモミ等の稚樹が見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが、この場所では見られない。

平成26年度森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業
(関東・中部)
報告書

平成27年(2015年)3月

発注者 林野庁

受託者 株式会社野生動物保護管理事務所